

デジタルレペーパー

取扱説明書

ソフトウェアバージョン 1.4

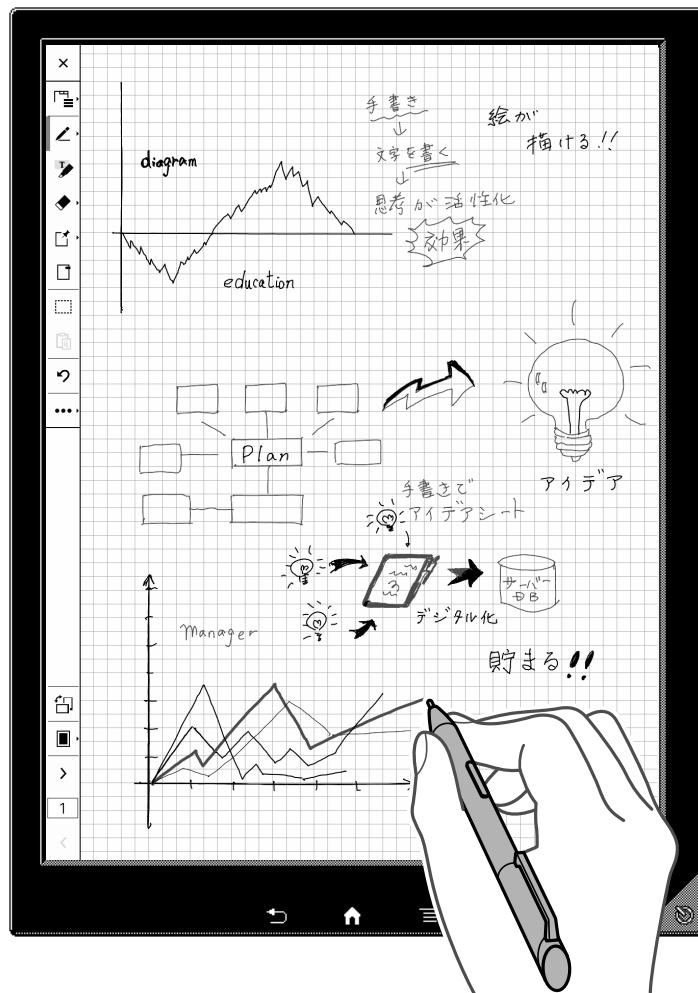
はじめに、同梱（紙）の「ご使用になる前に」を必ずお読みください。

基本操作ガイド（本機に収録）は、基本的な使いかたを説明しています。

この取扱説明書には、「デジタルレペーパー」の操作方法や機能、

ドキュメントの転送方法などが記載されています。

本機を使用する前に、本書（取扱説明書）をよくお読みください。



目次

はじめに

バージョンアップの履歴と詳細

Ver.1.4で追加された主な機能	4
Ver.1.4で追加された主な機能の改善	4
Ver.1.3で追加された主な機能	4
Ver.1.3で追加された主な機能の改善	5

本機を使用する前に

本機の特長	6
取扱説明書(本書)について	6
本機でできること	7

充電方法

充電する	8
電池を長持ちさせる	9

電源

電源を入れる／切る	10
-----------	----

各部の説明

全体図	11
ボタンについて	12
専用のスタイラスペンについて	12
microSDメモリーカードスロットについて	13
本機のセキュリティについて	13

基本操作

タッチパネルの操作	15
ホームメニュー	16
ホームメニューとアプリケーション	16
スクリーンキーボード	19

ドキュメント(PDF)の追加

ドキュメント(PDF)の追加	21
本機にドキュメント(PDF)を転送する	21

ドキュメント一覧の操作

ドキュメント一覧

ドキュメント一覧を操作する	23
ドキュメント一覧のツールアイコン	24
一覧の表示を切り換える	24
キーワードでドキュメント名を検索する	24
メニューを使用する	25
コンテンツのオプションメニュー	26
コンテンツを選択してメニューを表示する	26
複数のコンテンツをまとめて削除する	26

読む

ドキュメントを読む

ドキュメントを選択して開く	28
複数のドキュメントをまとめて開く	28
ページを操作する	29
ページコントロールボックスを使用する	30
4ページ／9ページ表示にする	30
表示を拡大／縮小する	31
タブを操作する	32
ブックマークを付ける	33
キーワードでドキュメント内の文字列を検索する	33
メニューを使用する	34

ワークスペースを活用する

ワークスペースとして保存する	34
ワークスペースを開く／削除する／名前を変更する	35

書く

ドキュメントに注釈を付ける

ツールバーを使用する	36
ページに直接手書きをする	37
手書きの注釈の移動／コピー／貼り付け／切り取りをする	38
ハイライトを付ける	38
消しゴムを使う	39
直前の操作の取り消し／やり直しをする	40

ジェスチャーを無効にする	40	各種設定	
手書き付箋メモを付ける	41	設定変更	66
テキスト付箋メモを付ける	42	設定を変更する	66
注釈の一覧を表示して検索する	43	一般設定	66
他人の書いた注釈を編集／削除		ワイヤレスネットワークの設定	66
できないように設定する	44	サーバーの設定	66
ペンのボタンを設定する	44	アプリケーションの設定	67
ペン先の位置を調整する	45	日付と時刻の設定	67
ペンの持ちかたを設定する	46	システム設定	68
PDFフォームを利用する	46	リセット	69
ノートを活用する	47	本体情報	69
ノートを作成する	47	シャットダウン	69
ノートのファイル名を変更する	48	その他	
ノートにページを追加する	49	困ったときは	70
ノートのページを削除する	49	困ったときは	70
ノートのテンプレートを設定する	49	ペンホルダーを再装着する	70
ノートのテンプレートを追加する	49	ペン先を交換する	70
ノートの保存先を選択する		本機の症状	71
(サーバーとの同期)	50	ネットワークの症状	72
ネットワーク		ドキュメントについて	73
Wi-Fiネットワークの設定	51	コンピューターとの接続に関する症状	74
Wi-Fi機能をオンにする	51	microSDメモリーカードについて	74
設定方法を選択する	51	ご使用上の注意	75
ネットワークドライブの利用	57	同梱のACアダプター使用上の注意	78
本機とネットワークドライブの設定をする	57	商標について	78
本機とネットワークドライブを同期する	58	主な仕様	79
同期ドキュメントを本機で開く	59	主な仕様	79
同期ドキュメントを削除する	59	サポートしているファイル形式	80
本機からネットワークドライブにドキュメントを		動作環境	81
送信する	59	保証書とアフターサービス	81
メニューを使用する	61	保証書	81
ブラウザー	61	アフターサービス	81
Webページを表示する	61		
Webページの表示を拡大する	62		
ダウンロードする	62		
複数のウィンドウを使用する	63		
お気に入りや表示履歴を使用する	63		
ブラウザーの設定をする	64		
メニューを使用する	65		

バージョンアップの履歴と詳細

Ver.1.4で追加された主な機能

Ver.1.4では、以下の機能が追加されました。

ペンの太線を追加

手書きのペンでより太い線幅を追加しました(37ページ)。

消しゴムのサイズ調整

消しゴムのサイズを調整できるようになりました(39ページ)。

拡大時のページ送り

拡大している状態でページの移動ができるようになりました(31ページ)。

手書き注釈の移動／コピー／貼り付け／切り取り

ペンを利用した、手書き注釈の移動／コピー／貼り付け／切り取りができるようになりました(38ページ)。

ドキュメント・ノートのファイル名変更

開いているドキュメントやノートのファイル名を変更できるようになりました(34、48ページ)。

ノートの保存先選択

ネットワークドライブまたはデジタルペーパーソリューションをご利用の場合、新規に作成するノートの保存先としてネットワークドライブまたはソリューションサーバーのフォルダーを指定できるようになりました(67ページ)。

ノート作成時のテンプレート選択

ノート作成時にテンプレートの選択ができるようになりました。テンプレートを固定にした場合には、すばやくノートを作成することができるようになりました(47ページ)。

Ver.1.4で追加された主な機能の改善

ペンの種類表示の改善

ペンの色と種類の選択をわかりやすいメニューに変更しました(37ページ)。

ペン先の位置調整

ペン先の位置調整の画面仕様が改善されました(45ページ)。

ソフトウェアアップデートの制限

デジタルペーパーソリューションをご利用の場合に、ソフトウェア更新の有効／無効を設定できるようになりました。

- 詳しくはデジタルペーパーソリューションのヘルプガイドをご覧ください。

手書き中のハードウェアボタンロック

ペンで手書きをしているときは、本機の  (バック)、 (ホーム)、 (メニュー)、 (電源) ボタンを押しても無効になります(37ページ)。

固定幅文字の表示改善

MS明朝・MSゴシック相当(同じ書体デザイン)であるフォントを搭載したため、MS明朝・MSゴシックを埋め込んでいないPDFの表示品位が改善されました。

Ver.1.3で追加された主な機能

Ver.1.3では、以下の機能が追加されました。

ツールバー

ツールバーをドキュメントの外側に常時表示できるようになりました(29ページ)。

ツールバーの初期設定は[左に表示]ですが、お好みで表示位置を[右に表示]に変更することができます(67ページ)。

読むことに集中するための[ツールバー非表示]モード(28ページ)にすることもできます。

ペンのボタンで消しゴム操作が可能

専用のスタイラスペンのボタンを押すだけで消しゴム操作に切り替えられるようになりました(39ページ)。

画面の拡大状態での書き込み

画面を拡大している状態で書き込みができるようになりました(31ページ)。

取り消し／やり直し機能

ツールバーに取り消し／やり直しアイコンが追加され、手書きや消しゴムを誤って操作した場合も簡単に元に戻せるようになりました(37ページ)。

ジェスチャーの無効化

手書きの記入時に誤って袖や手が触れてページ送りや拡大などのモードに入らないよう、ジェスチャー機能を無効にできるようになりました(40ページ)。

ノートの保存先選択

ホームメニューの[ドキュメント]→[フォルダー]タブをタップし、ノートを作成したいフォルダーに移動して[このフォルダーにノートを新規作成]をタップすると、指定したフォルダーにノートを作成することができるようになりました(47ページ)。

ノートのページ挿入／追加／削除

ノートに新規ページの挿入や、現在のページの削除ができるようになりました(49ページ)。

ノートのテンプレート変更

ノートのテンプレートを変更したり、お客様ご自身で準備されたテンプレートを利用できるようになりました(49ページ)。

注釈の編集／削除制限

別のユーザーが作成した注釈の編集や削除を制限できるようになりました(44ページ)。

ファイルの複製

ドキュメントやノートの一覧画面でファイルを複製できるようになりました(26ページ)。

フォルダーの作成／削除

フォルダーの新規作成や削除ができるようになりました(25、26ページ)。

タブ一覧

ツールバーのタブリストアイコンをタップするだけで、開いているドキュメントのタブを一覧で表示できるようになりました(32ページ)。

本機のロックのパスワード強化

ロックのパスワードとして、1桁から20桁まで使用できるようになりました(13ページ)。

内蔵メモリーの暗号化

本機の内蔵メモリーを暗号化し、電源を入れるときにパスワードの入力が必要になるように設定できるようになりました(14ページ)。

PDFフォームの利用

本機でPDFフォームを利用したファイルの入力ができるようになりました(46ページ)。

Ver.1.3で追加された主な機能の改善

ページ操作

ページめくりアイコンやページ数表示がツールバーに常時表示され、ページの移動が簡単にできるようになりました(29ページ)。

画面の回転

ツールバーの回転アイコンをタップするだけで、画面を簡単に回転できるようになりました(29ページ)。

手書きの赤ペン表示改善

赤ペンで書いた後にすぐにグレー表示ができるようになりました(37ページ)。

電池残量アラートの追加

電池残量が□になったときに、充電を勧めるアラートが表示されるようになりました(9ページ)。

本機を使用する前に

本機の特長

・大型13.3型薄型軽量電子ペーパーを採用

画面はA4サイズ相当で、フレキシブル電子ペーパーを採用しているため、大型でも軽量です。

・細かい文字が書ける専用のスタイラスペンを付属

電磁誘導方式のペンを採用しているため、細かい文字が書けます。

・指での操作とペンでの書き込みが併用できるハイブリッドタッチパネルを採用

光学式と電磁誘導式タッチパネルにより、指でページをめくったり、メニューを操作したりすることに加え、専用のスタイラスペンで文字や絵を書くこともできます。

・大容量のドキュメントをらくらく持ち運ぶ

大容量のオリジナルドキュメント(PDFファイル)をコンピューターから本機に転送して持ち運べます。本機の内蔵メモリーには約2,800ファイル*を保存できます。最大32GBのmicroSDメモリーカードに対応しているため、保存容量を増やせます。

* 1ファイルを1 MBとした場合のファイル数です。

・電子ノートの感覚で文字や絵を書く

手書き文字や絵を専用のスタイラスペンでドキュメントに詳細に書けます。ブックマークやハイライト、テキスト付箋メモ、手書き付箋メモを付けることもできます。また新規ノート作成時にフォルダーやテンプレートを自由に選択することができます。

・本機のロック

最大20桁の英数字のパスワードで本機にロックをかけられます。電源を入れてもパスワードを入力しなければ内部のドキュメントは読めません。

・ページビューを切り換えて視覚による高速検索

1画面に表示するページを4ページ/9ページに切り替え、多くのページを目視で高速検索できます。テキスト付箋メモや手書き付箋メモはページ上にアイコンで表示されます。

また、ページをめくるときに、めくる側に動かした指を離さずに止めておくと、高速でページをめくることができます。

・USB接続で本機↔コンピューター間で簡単に転送

USBケーブルで本機とコンピューターを接続し、ドキュメントを転送できます。本機で付けた注釈はPDFファイルの中に埋め込まれるため、コンピューターで読んだり編集したりすることができます。

・Wi-Fiを利用し、ネットワークドライブとの同期が可能

特定のネットワークドライブにアクセスして本機とネットワークドライブのドキュメントを同期することができます。

・デジタルペーパーソリューションサーバーと合わせての利用

本機をデジタルペーパーソリューションサーバーと組み合わせて利用することにより、資料のやり取りや管理の負担を軽減し、ドキュメント管理の効率化を実現できます。

取扱説明書(本書)について

本機を使用する前に、同梱されている「ご使用になる前に」や、本機に収録されている「基本操作ガイド」をお読みください。

本書には、本機の各種機能の説明や操作方法などが記載されています。

ご注意

- 本書に掲載されている本機の画面やイラストは実際の製品と異なることがあります。
- デジタルペーパーソリューションサーバーと合わせて利用される場合は、操作方法や画面が異なることがあります。詳しくはデジタルペーパーソリューションの各ヘルプガイドをご覧ください。

本書で特定のページを探す

目次から該当のページを表示できます。

本書を表示中に≡(メニュー)ボタンを押し、[目次]をタップします。

本書内のリンク先に移動する

点線(下線)が付いた箇所をタップすると、そのページに移動できます。

直前のページに戻るには、ページコントロールボックスで[直前のページに戻る]をタップします(30ページ)。

本機でできること

ドキュメントを転送する

コンピューターから本機にドキュメントを転送できます(21ページ)。

本機を使いこなす

表示の変更

- ピンチイン(2本の指で画面にタッチして閉じる)で4ページ／9ページ表示にする(30ページ)
ピンチイン1回 ➔ 1画面に4ページを表示
ピンチイン2回 ➔ 1画面に9ページを表示
1画面に複数のページを表示すると、注釈をすばやく探せて便利です。
- 拡大／縮小する(31ページ)
ドキュメントを標準サイズで表示中にピンチアウト(2本の指で画面にタッチして開く)で拡大し、ピンチイン(2本の指で画面にタッチして閉じる)で元に戻ります。

タブの操作(32ページ)

注釈機能

- ブックマークを付ける(33ページ)
- ページに直接手書きをする(37ページ)
線の太さや色を選択できます。また、手書きの注釈の移動／コピー／貼り付け／切り取りもできます(38ページ)。
- ハイライトを付ける(38ページ)
- テキスト付箋メモを付ける(42ページ)
- 手書き付箋メモを付ける(41ページ)
- 消しゴムを使う(39ページ)
- 消しゴムのサイズを変える(40ページ)
- 取り消し／やり直し機能(40ページ)

検索

- キーワードでドキュメント内の文字列を検索する(33ページ)
- 注釈を検索する(43ページ)
- ドキュメントを検索する(24ページ)

リンク先に移動(6ページ)

ワークスペース(34ページ)

現在開いているすべてのタブをワークスペースとして保存し、あとからまとめて開けます。

ノート(47ページ)

本機のどのフォルダーでもノートを新規に作成できます。また、お好みのPDFをテンプレートとして利用することができます。

ネットワーク

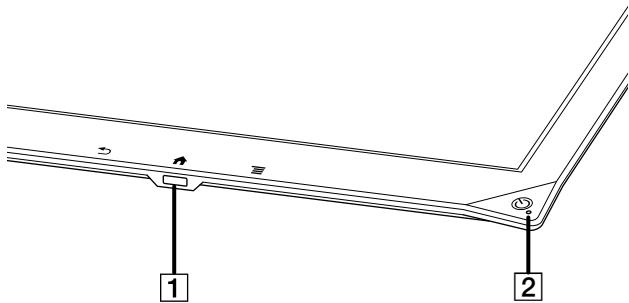
- ネットワークドライブを利用する(57ページ)
- ブラウザーでインターネットに接続する(61ページ)

充電方法

充電する

充電状態はステータスバー右側の電池アイコンで確認できます(9ページ)。

電池の残量が少なくなったときは、次のいずれかの方法で充電してください。



① マイクロUSB端子

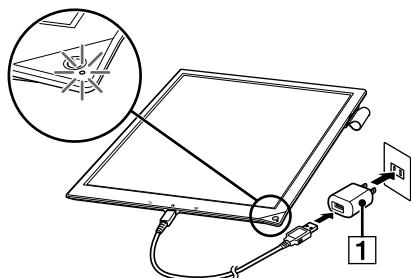
② 充電ランプ

ACアダプターで充電する

1 付属のUSBケーブルを、本機のマイクロUSB端子とACアダプターに接続する。

2 ACアダプターをコンセントにつなぐ。

充電中は電池アイコンが  になり、充電ランプが赤色に点灯します。充電が完了すると電池アイコンが  になり、充電ランプが消灯します。



① ACアダプター

ご注意

- 推奨温度の範囲内(5°C ~ 35°C)で充電してください。推奨温度の範囲外のため充電できないときは、本機からUSBケーブルを取りはずし、推奨温度の範囲内に戻してから、再度USBケーブルを接続して充電してください。

ヒント

- 充電完了まで約2.5時間かかります。

コンピューターに接続して充電する

1 お使いのコンピューターの電源を入れる。

2 付属のUSBケーブルで、本機とコンピューターを接続する。

充電中は電池アイコンが  になり、充電ランプが赤色に点灯します。充電が完了すると電池アイコンが  になり、充電ランプが消灯します。

3 充電が完了したら、本機とコンピューターからUSBケーブルを取りはずす。

ご注意

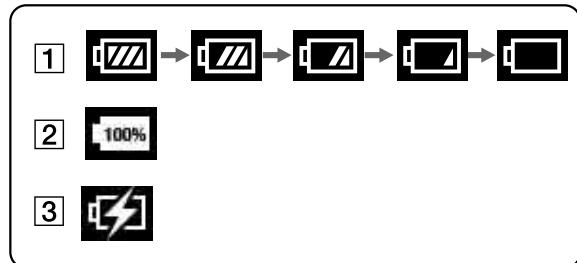
- 充電するときは、接続しているコンピューターの電源が入っていることを確認してください。コンピューターの電源が切れていると充電されません。電源が入っていてもスリープモードやスタンバイモード、休止状態のときは充電されません。充電中はコンピューターがスリープモードなどにならないようにしてください。
- コンピューターに接続しているときは、本機の  (電源) ボタンは使用できません。

ヒント

- 充電完了まで約3.5時間かかります。

電池の残量を確認する

電池の残量や充電状態は電池アイコンで確認できます。



番号	説明
1	アイコンのバーが4本のときはフル充電、またはフル充電に近い状態です。電池を消費するとバーの数が減り、電池の残量がほとんどなくなるとバーは0本になります。
2	充電が完了した状態です。
3	充電中です。

ご注意

- 電池アイコンが になると、充電が必要であることを通知する画面が表示されます。その場合は「OK」をタップしてから、充電を開始してください。
- 電池アイコンが になると、編集中のドキュメントはいったん保存された後、読み取り専用となり、編集ができなくなることを通知する画面が表示されます。その場合は「OK」をタップしてから、充電を開始してください。

電池を長持ちさせる

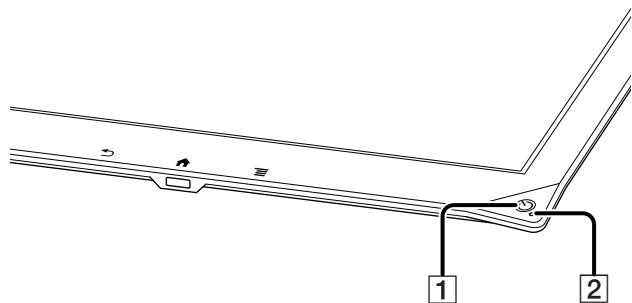
- 本機を使用しないときは、電源を完全に切ってください。
- 本機を充電せずに長時間放置しないでください。電池の性能が低下する可能性があります。
- 推奨温度の範囲内(5°C ~ 35°C)で本機を使用・収納してください。
- ネットワークに接続する必要がないときは、Wi-Fi機能をオフにしてください。
- 電池を長持ちさせるには[ワイヤレススタンバイ]をオンに設定してください。
- ネットワークドライブと自動同期する必要がないときは[自動同期]をオフにしてください。

次の場合には電池の消費が早くなります

- Wi-Fi機能でネットワークにアクセスする。
- [Wi-Fi設定]画面を表示したままにする。
- 画像が多いドキュメントやWebページを表示する。
- microSDメモリーカード内のドキュメントを表示する。
- microSDメモリーカードを頻繁に抜き差しする。
- 大量のドキュメントが保存されているmicroSDメモリーカードを読み込む。
- 注釈やキーワード検索を頻繁に使用する。
- 頻繁に手書きをする。
- [ワイヤレススタンバイ]をオフに設定している。
- [自動同期]をオンに設定している。

電源

電源を入れる／切る



① ⌂ (電源) ボタン

② 充電ランプ

電源を入れる

1 ⌂ (電源) ボタンを押す。

⌂ (電源) ボタンを押したときに充電ランプが赤色で3回点滅した場合は、電池の残量がない状態です。付属のACアダプターを本機に接続、または付属のUSBケーブルで本機をコンピューターに接続し、充電してください。

電源を切る(シャットダウン)

1 ⌂ (電源) ボタンを約3秒長押しする。

2 [はい]をタップする。

スリープモードにするより電源を切ったほうが電池の消費を抑えられます。本機を長期間使用しないときは、電源を切ることをおすすめします。

ヒント

- [設定]から電源を切ることもできます。

1 ◎ (ホーム) ボタンを押し、[設定] → [シャットダウン] → [はい]の順にタップする。

スリープモード

スリープモードにすることにより、電池の消費を抑え、意図せず画面にふれて誤動作するのを防ぎます。

電源が入った状態で ⌂ (電源) ボタンを押すと、スリープモードになります。スリープモード時はスタンバイ画面が表示されます。

スリープモード時に ⌂ (電源) ボタンを押すと、スリープモードが解除されます。

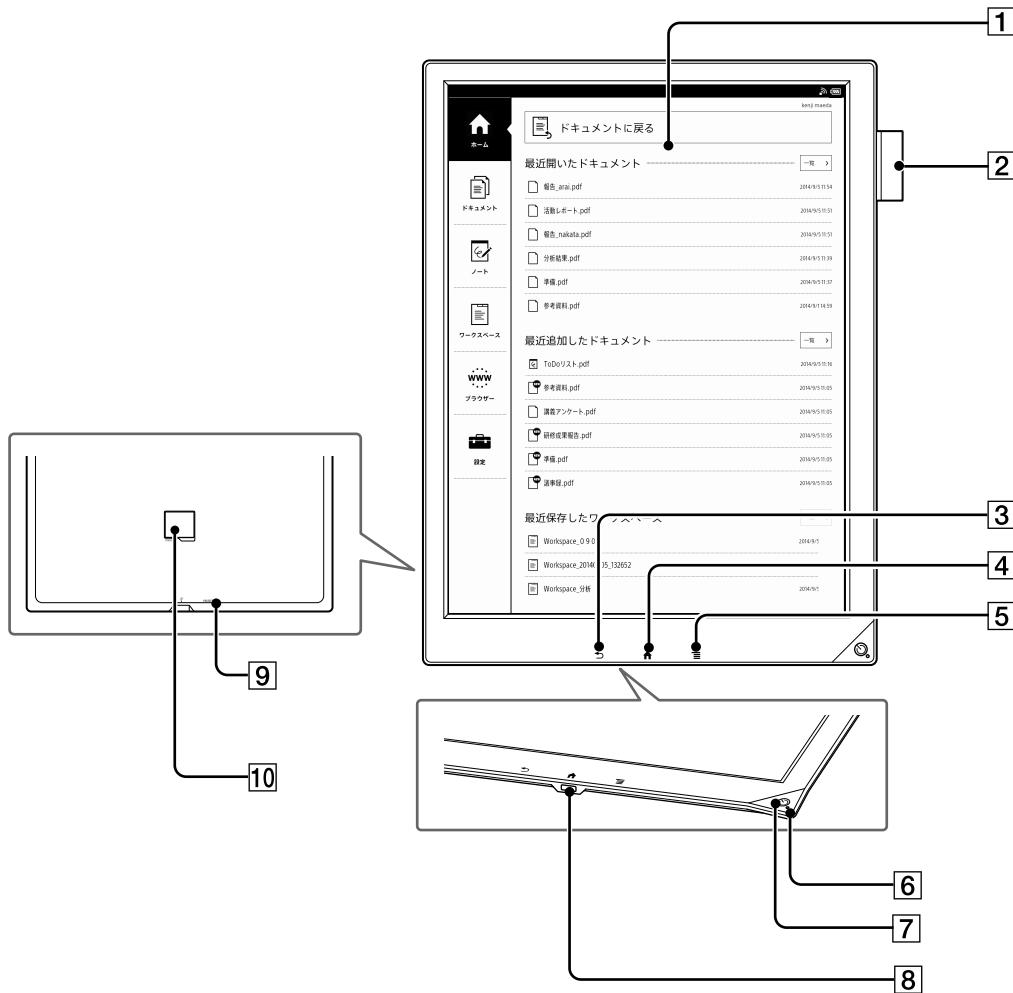
省電力機能

約1時間操作をしないと、省電力機能により自動的にスリープモードになります。さらに3日間操作をしないと、電源が完全に切れます(シャットダウン)。省電力機能はオフにできません。

各部の説明

全体図

本機のボタンなどを説明します。



① タッチパネル

② ペンホルダー

③ ⇢ (バック) ボタン

④ ⌂ (ホーム) ボタン

⑤ ≡ (メニュー) ボタン

⑥ 充電ランプ

⑦ ⌁ (電源) ボタン

⑧ ⌂ マイクロUSB端子

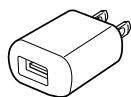
⑨ RESET (リセット) ボタン

⑩ microSDメモリーカードスロット*

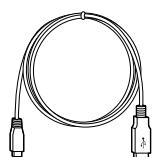
* ソリューション利用時は、microSDメモリーカードを使用できません。

付属品

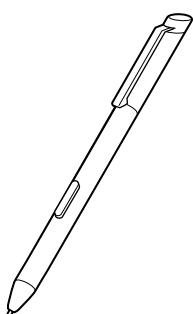
- ACアダプター×1



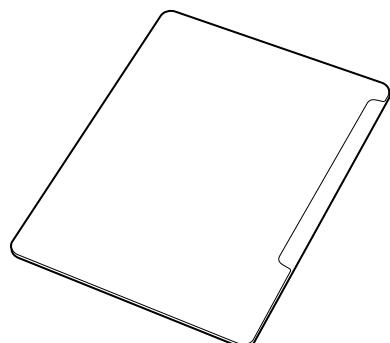
- USBケーブル×1



- スタイラスペン×1



- スリープケース×1



- 替え芯*



- 芯抜き×1



* 替え芯の詳しい内容は、「ご使用になる前に」をご覧ください。

ボタンについて

○ (電源) ボタン

電源の入／切や、スリープモードにします(10ページ)。

▲ (ホーム) ボタン

ホームメニューを表示します。

↔ (バック) ボタン

前の画面、またはドキュメント一覧に戻ります。

≡ (メニュー) ボタン

各アプリケーションで使用可能なオプションメニューを表示します。

専用のスタイラスペンについて

専用のスタイラスペンを使用して、ドキュメントに手書きでメモを書いたり、ハイライトや付箋メモを付けたりすることができます。

ペンのボタンを押しながら手書きの注釈やハイライトをなぞると、消しゴムで消すことができます。*

* ペンのボタン機能は、本機の設定メニューから変更することができます(44ページ)。

ご注意

- 本機に付属の専用のスタイラスペンのみをご使用ください。その他のスタイラスペンでは正しく機能しないことがあります。
- スタイラスペンを使用しないときは、本機のペンホルダーに入れてください。ペン先が押された状態で保管した場合、ペン先の感度が悪化する可能性があります。

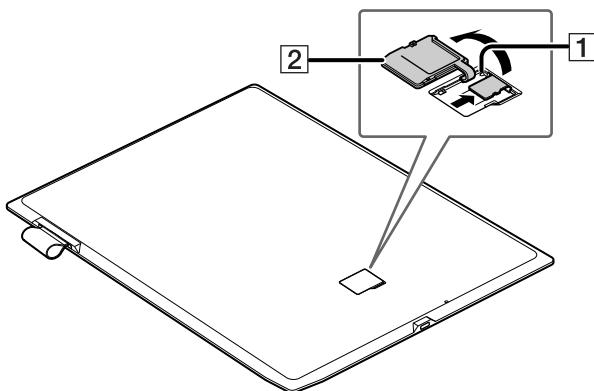
microSDメモリーカードスロットについて

microSDメモリーカードスロットは本機裏面にあります。microSDメモリーカードの端子部を下にして、スロット内に記載されている矢印の向きに合わせて挿入します。本機がmicroSDメモリーカードにアクセス中は、microSDメモリーカードアクセスランプがオレンジ色に点灯します。microSDメモリーカードの使用中はスロットカバーを閉じてください。microSDメモリーカードの初期化については、69ページをご覧ください。

ご注意

- microSDメモリーカードアクセスランプが点灯しているときは、microSDメモリーカードを抜かないでください。

microSDメモリーカードを取り出すときは、一度奥に押した後、指の腹でゆっくりスライドさせてください。



① microSDメモリーカードアクセスランプ

② スロットカバー

本機のセキュリティについて

セキュリティ保護のため、本機にロックをかけたり内蔵メモリーを暗号化したりすることができます。

ご注意

- 設定したパスワードは忘れないようにしてください。
- 英字と数字を組み合わせた最低6桁以上のパスワードを使用することをおすすめします。
- 第三者が推測しやすいパスワードを付けないでください。また、パスワードは定期的に変更してください。

本機にロックをかける

本機にロックをかけることで、本機内のデータを他人から見られないように設定できます。

- 1 **Home**(ホーム)ボタンを押し、[設定]をタップする。
- 2 [システム設定] → [本機のロック] → [本機のロック] → [有効] → [OK]の順にタップする。
- 3 パスワードを入力する。
パスワードは1桁以上20桁までの英数字と記号が入力可能です。
- 4 確認用に再度パスワードを入力し、[OK]をタップする。
ロックをオンにすると、本機の起動後やスリープモードからの復帰時にパスワードの入力画面が表示されます。
ロックを解除するには設定したパスワードを入力し、[OK]をタップします。

ご注意

- パスワードを忘れてしまったときは、ソニーの相談窓口にご相談ください。
ロック解除のために、本機のドキュメントがすべて削除されることがありますのでご注意ください。

内蔵メモリーを暗号化する

本機の内蔵メモリーを暗号化できます。暗号化をオンにすると、電源を入れるときにパスワードの入力が必要になります。

- 1**  (ホーム) ボタンを押し、[設定] をタップする。
- 2** [システム設定] → [内蔵メモリーの暗号化] → [内蔵メモリーの暗号化] → [有効] → [OK] の順にタップする。
本機が再起動します。
- 3** パスワードを入力する。
パスワードは6桁以上20桁までの英数字と記号が入力可能です。
- 4** 確認用に再度パスワードを入力し、[OK] をタップする。

ご注意

- 暗号化の操作を行うと、それまでに内蔵メモリーに保存されていたデータがすべて消去されてから、暗号化が有効になります。また、内蔵メモリー内のユーザーが使用できる容量が約300MB少くなります。
- microSDメモリーカードは暗号化できません。
- パスワードを忘れてしまったときは、ソニーの相談窓口にご相談ください。
暗号化解除のために、本機のドキュメントはすべて削除されます。
また、削除されたドキュメントの復元はできません。
- 暗号化を行うと、ノートのテンプレートやプリロードされている取扱説明書を含む、内蔵メモリーのデータがすべて削除されますのでご注意ください。

ヒント

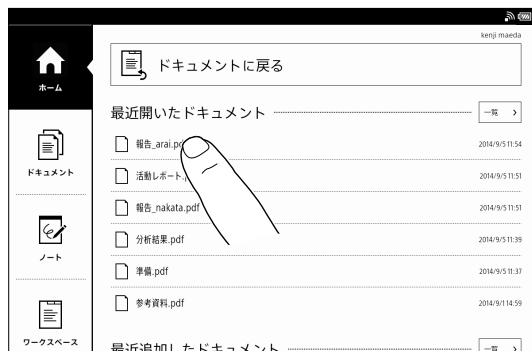
- 本機のロックと内蔵メモリーの暗号化を両方設定している場合は、電源を入れたときに暗号化のパスワード入力、起動後にロックのパスワード入力が必要です。
- 内蔵メモリーを暗号化する前に、残したいドキュメントはコンピューターにバックアップすることをおすすめします。

タッチパネルの操作

タッチパネルでは次の操作ができます。指のかわりにペンを使用することもできます。小さな項目や文章内の特定の部分を選ぶときなど、細かい操作はペンを使用すると便利です。

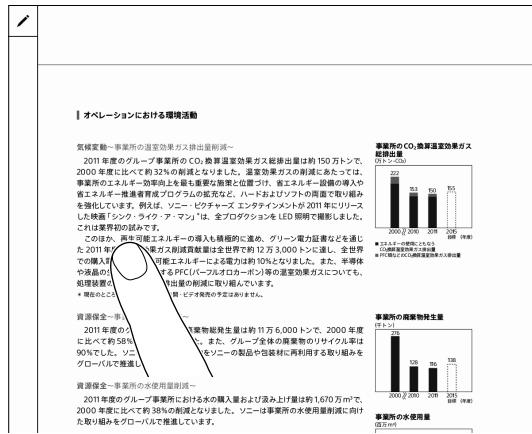
タップ(軽くたたく)

画面上のアイコンやメニュー項目などを指で軽くたたいて選択したり開いたりします。



タップ&ホールド(長押しする)

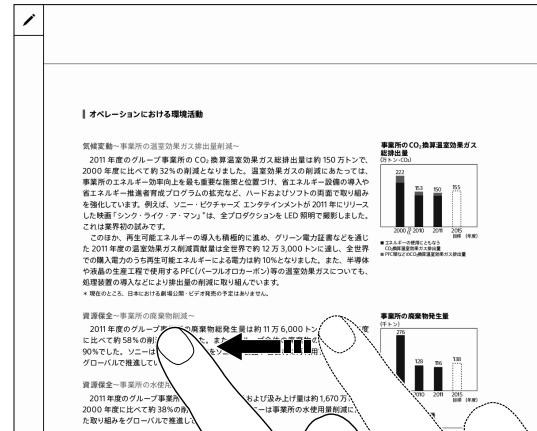
タッチした指を画面から離さずに長押しすると、そのときにできる操作がポップアップで表示されます。ドキュメント一覧で長押しすると、ファイルのオプションメニューが表示されます。



スワイプ(軽くなぞる)

ページをめくります。ドキュメントの表示中は、なぞる方向によって、前／次のページに移動します。ページをめくる方向は≡(メニュー)ボタンを押し、[ページ方向]をタップしてドキュメントごとに左開き／右開きを設定できます。

ドキュメント一覧で上下になぞると、前／次のページに移動します。



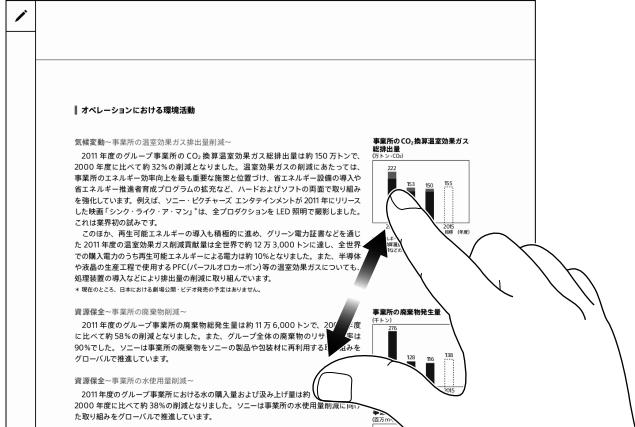
スワイプ&ホールド(スワイプして、画面から指を離さない)

ドキュメントを表示中に、スワイプした指を画面から離さずに長押しすると、ページを連続でめくります。指を離すと、ページめくりが止まります。

ピンチ(指を2本使って開いたり閉じたりする)

ドキュメントを標準サイズで表示しているとき、2本の指で画面にタッチして閉じると1画面に4ページ表示、再度2本の指で閉じると9ページ表示に切り替わります(30ページ)。2本の指で画面にタッチして開くと、ひとつ前のサイズに戻ります。

ドキュメントを標準サイズで表示しているとき、2本の指で画面にタッチして開くと拡大表示となります。再度2本の指で画面をタッチして閉じる、または➡(バック)ボタンで標準サイズに戻ります(31ページ)。



ヒント

- 4ページ／9ページ表示中に読みたい1つのページをタップすると、1ページ表示に切り換わり、そのページが全画面で表示されます。

ドラッグ(タップした指を離さず動かす)

拡大表示時に指でドラッグすると表示位置の移動ができます(31ページ)。

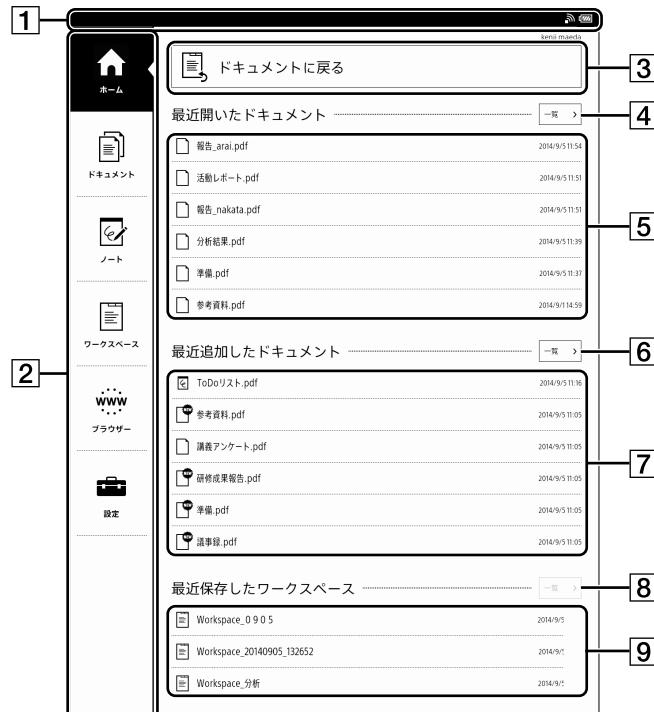
ご注意

- 画面にペンが近付くと、指でのタッチパネル操作が無効になります。
- [ジェスチャーを無効にする]に設定すると、スワイプでのページめくりや、ピンチイン／ピンチアウトでのページ表示変更などのタッチ操作が無効になりますのでご注意ください(40ページ)。

ホームメニュー

ホームメニューとアプリケーション

① (ホーム)ボタンを押すと、ホームメニューが表示されます。ホームメニューにはアプリケーションも表示されます。



① ステータスバー

ユーザー名を設定すると、ステータスバーの下に表示されます。

② アプリケーション

③ [ドキュメントに戻る]

④ 最近開いたすべてのドキュメントの一覧へ

⑤ 最近開いたドキュメント

⑥ 最近追加したすべてのドキュメントの一覧へ

⑦ 最近追加したドキュメント

⑧ 最近保存したすべてのワークスペースの一覧へ

⑨ 最近保存したワークスペース

ヒント

- ホームメニューの[最近開いたドキュメント]欄には、直近に開いたドキュメントが表示されます。ドキュメントをタップすると、前回のページを表示します。
- ホームメニューの[最近追加したドキュメント]欄には、直近に追加したドキュメントが表示されます。タップすると、ドキュメントが開きます。

アプリケーション

各アイコンをタップすると、次の画面に切り替わります。

アプリケーション	説明
[ホーム]	ホームメニューを表示します。
[ドキュメント]	ドキュメント一覧を表示します(23ページ)。
[ノート]	ノートの一覧を表示し、ノートの新規作成などができます(47ページ)。
[ワークスペース]	現在開いているすべてのタブとページ位置をワークスペースとして保存し、あとからまとめて開けます(34ページ)。
[ブラウザー]	ブラウザーを起動します(61ページ)。
[設定]	本機の各種設定を行います(66ページ)。

ご注意

- デジタルペーパーソリューションサーバーと合わせて利用される場合は、操作方法や画面が異なることがあります。詳しくはデジタルペーパーソリューションの各ヘルプガイドをご覧ください。

ステータスバー

Wi-Fi機能の電波状況や電池の残量、ダウンロード状況などの各種情報が表示されます。

アイコン	説明
	インターネットにアクセス中です。
	Wi-Fi機能の電波状況が表示されます(51ページ)。
	電池の残量が表示されます(9ページ)。
	本機が新しいソフトウェアアップデート情報を入手したときに表示されます。
	ドキュメントやアップデート用ソフトウェアのダウンロード中です。
	ドキュメントやアップデート用ソフトウェアのダウンロードが完了すると表示されます。ダウンロードに失敗すると、 が表示されます。
	アイコンを消去するには通知パネルを表示して[通知を消去]をタップします。通知パネルでダウンロードしたドキュメントをタップしてアイコンを消去することもできます。
	本機の情報を更新中です。
	本機とネットワークドライブのドキュメントを同期中です。
	本機とネットワークドライブの同期が完了すると表示されます。同期に失敗すると、 が表示されます。
	アイコンを消去するには通知パネルを表示して[通知を消去]をタップします。

ご注意

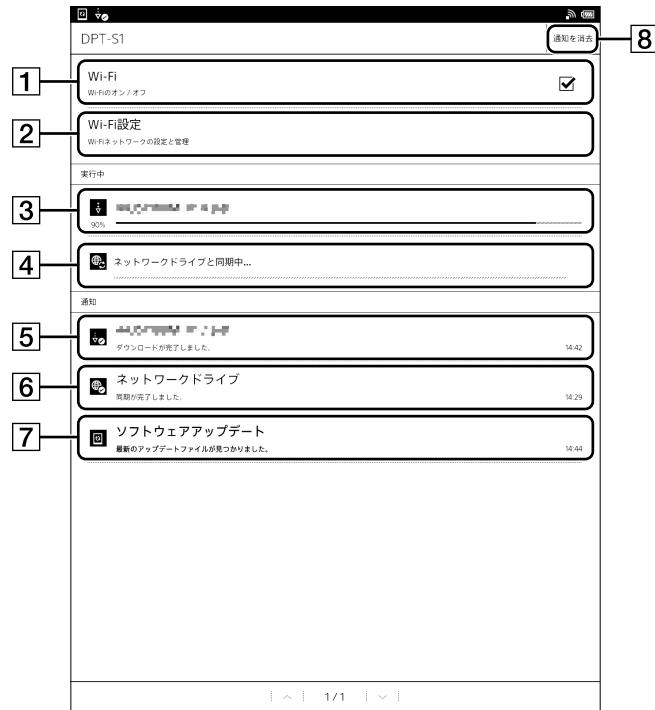
- お使いの状況によって、同時に複数のアイコンが表示されないことがあります。

ヒント

- ホームメニューで (メニュー) ボタンを押すと、ステータスバーの左側に約5秒間時刻が表示されます。

通知パネル

ステータスバーをタップすると、通知パネルが表示されます。Wi-Fi機能のオン／オフやWi-Fi設定、ダウンロード状況などが確認できます。



番号	説明
①	Wi-Fi機能のオン／オフを切り替えます(51ページ)。
②	[Wi-Fi設定]画面を表示します(51ページ)。
③	ダウンロード中のドキュメントが表示されます。プログレスバーなどで進行状況を確認できます。
④	本機とネットワークドライブのドキュメント同期中に表示されます。
⑤	ダウンロードが完了したドキュメントが表示されます。タップすると、ドキュメントを開けます。
⑥	本機とネットワークドライブのドキュメント同期結果が表示されます。同期に失敗したときはタップすると理由を確認できます。
⑦	本機が新しいソフトウェアアップデート情報を入手したときに表示されます。
⑧	通知情報があるときのみ表示されます。タップすると、通知情報が削除されます。ステータスバーの (ダウンロード完了)アイコンや (ソフトウェアアップデート)アイコンなども消去されます。

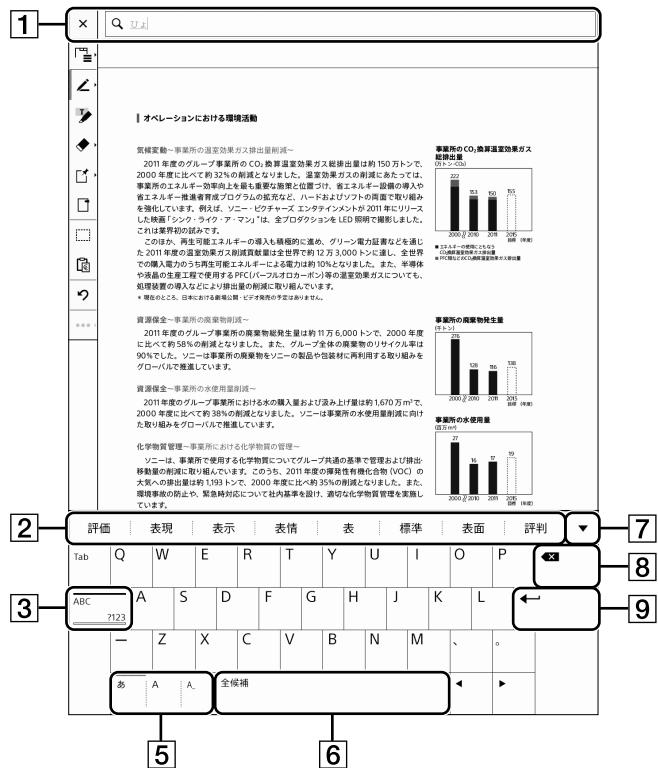
本機の使用状況によって、上記以外の項目が通知パネルに表示されることがあります。

通知パネルを閉じるには (バック)ボタンを押すか、ステータスバーをタップしてください。

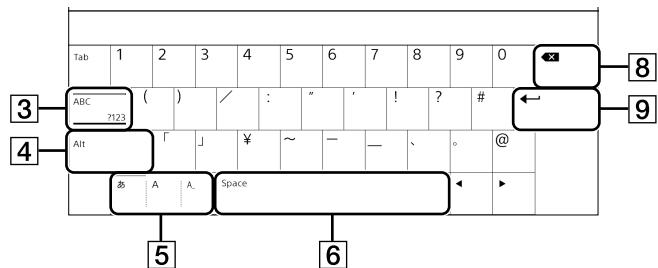
スクリーンキーボード

文字を入力するときに使用します。スクリーンキーボードが自動的に表示されないときは、文字入力エリアをタップしてください。

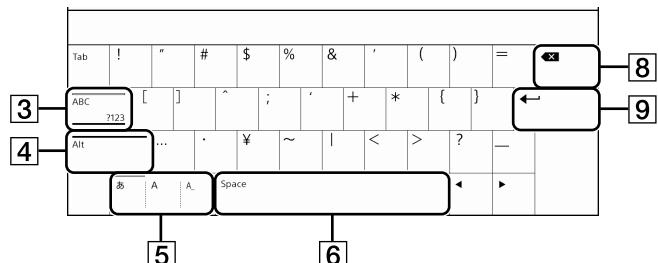
例)検索結果画面のかな／漢字入力モードのレイアウト ([ABC])



例)数字／記号入力モードのレイアウト ([?123])



例)記号入力モードのレイアウト ([?123] + [Alt])



① 文字入力エリア

② 変換候補

③ [ABC]／[?123]キー

④ [Alt]キー

⑤ [あ]・[A]・[A_]キー

⑥ [全候補]／[Space]キー

⑦ 変換候補一覧へ

⑧ 削除キー

⑨ Enterキー

やりたいこと	方法
入力	文字入力エリアをタップしてからスクリーンキーボードで入力します。
入力モードの切り替え	かな漢字または全角英数モードに切り換えるには、スクリーンキーボード最下段の[あ]または[A]、[A_]をタップします。
変換	かな漢字モードのとき、入力した文字から始まる変換候補が表示されます。変換候補に目的の候補がないときは▼または[全候補]をタップし、変換候補一覧を表示して探します。ひらがな入力した文字を変換しないときは←をタップします。
削除	✖をタップします。
改行	←をタップします。文字入力エリアが複数行に対応しているときのみ有効です。
数字／記号	[ABC]／[?123]キーをタップします。他の記号を入力するには[ABC]／[?123]キーをタップしてから[Alt]キーをタップします。かな漢字／英数入力モードに戻すには再度[ABC]／[?123]キーをタップします。
大文字／小文字	英数入力モードで↑／▲をタップします。
カーソルの移動	移動したい位置をタップするか、◀または▶をタップします。

ご注意

- 表示されるキーボードの種類や入力方法はアプリケーションによって異なります。
- 大文字の入力モードは、1文字ごとに解除されますのでご注意ください。

ヒント

- 入力履歴や変換学習結果を削除するには  (ホーム) ボタンを押し、[設定] → [リセット] → [キーボード入力履歴] の順にタップします。

ドキュメント(PDF)の追加

ドキュメント(PDF)の追加

本機にドキュメント(PDF)を転送する

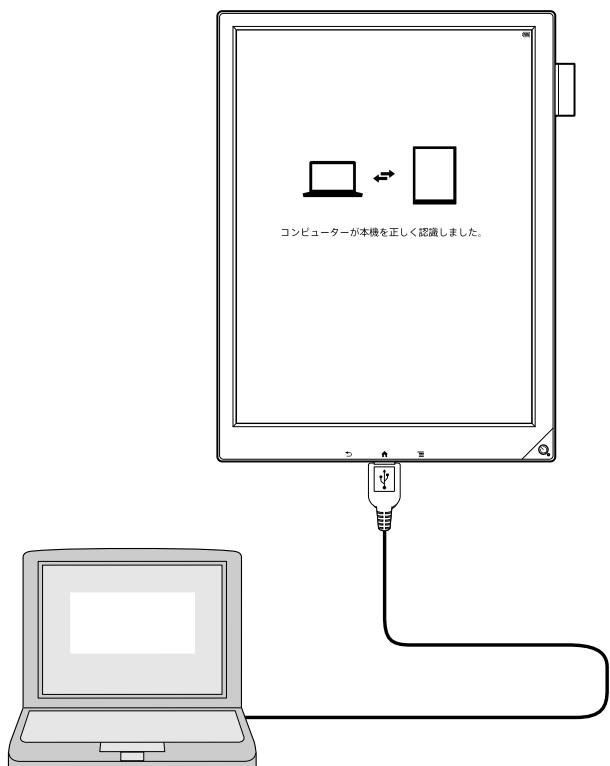
お使いのコンピューターから本機にドラッグ&ドロップでドキュメントを転送します。

ヒント

- PDF以外のファイルも転送できますが、本機で表示できるのはPDFファイル(.pdf)のみです。

1 付属のUSBケーブルで、本機とコンピューターを接続する。

本機の画面に「コンピューターが本機を正しく認識しました。」と表示されます。



2 コンピューターから本機にドキュメントを追加する。

Windowsユーザーの場合:

「スタート」メニューから「コンピューター」または「コンピュータ」をクリック(Windows 8/8.1の場合はエクスプローラーを起動) ➔ 「DPT-S1」ドライブをダブルクリック ➔ 転送したいドキュメントをドラッグ&ドロップの順に操作します。

Macintoshユーザーの場合:

デスクトップに表示されている「DPT-S1」をダブルクリックし、転送したいドキュメントをドラッグ&ドロップします。

コンピューターから本機にフォルダーを作成すると、本機のドキュメント一覧の[フォルダー]に表示されます。ドキュメントをお好みのフォルダーごとに整理したい場合に便利です。

3 転送が完了したらコンピューターで接続を解除した後、USBケーブルを本機とコンピューターから取りはずす。

転送したドキュメントはホームメニューの[ドキュメント]で表示できます。

コンピューターにドキュメントを転送する

1 付属のUSBケーブルで、本機とコンピューターを接続する。

本機の「DPT-S1」ドライブが外部機器としてコンピューターに表示されます。

2 本機からコンピューターに転送したいドキュメントをドラッグ&ドロップする。

ご注意

- 「DPT-S1」ドライブ内の「database」、「.dps_device_system」、「note_template」のフォルダーは削除しないでください。また、microSDメモリーカードをご利用の場合は、microSDメモリーカード内にある「PRIVATE/SONY/Digital_Paper」フォルダーを削除しないでください。

- ソリューションサーバーをご利用の場合は、「DPT-S1」の内蔵メモリー内に、サーバーのドメイン名のフォルダーが作成されます。そのフォルダーの削除はしないでください。
また、そのフォルダーの下に作成されている[.activity]のフォルダーおよび、[.activity]フォルダーにあるファイルを削除すると、ソリューションサーバーとの同期に影響が出ますのでご注意ください。
- ホームメニューの[設定]→[システム設定]→[画面の外部出力]がオンに設定されている場合は、ファイルの転送はできません。ファイルを転送する際には、必ずオフに設定を変更してからUSB接続をしてご利用ください(68ページ)。
- ドキュメント転送中にUSBケーブルを抜くと、データが破損する恐れがあります。本機をコンピューターから取りはずすときは、以下の手順で行ってください。

Windowsユーザーの場合:

「ハードウェアの安全な取り外し」を行ってからUSBケーブルを抜いてください。

Macintoshユーザーの場合:

イジェクトアイコンをクリックして、取りはずしを完了してからUSBケーブルを抜いてください。

- 本機やmicroSDメモリーカードをコンピューターで初期化しないでください。ドキュメントが表示されないことがあります。本機の[メモリーの初期化]で初期化してください(69ページ)。
- 万一の誤操作による誤消去や破損に備え、コンピューターにドキュメントをバックアップすることをおすすめします。
- 本機およびコンピューターの不具合により、ドキュメントのダウンロードや転送ができなかった場合、およびドキュメントや付箋メモのデータが破損または消去された場合、データの内容の補償についてはご容赦ください。
- 一部の特殊文字をフォルダーネームまたはファイル名に使用すると、正しく表示できないことがあります。
- ファイル名の文字数制限は、日本語では84文字まで、半角英数字では254文字までです。

ヒント

- microSDメモリーカードを使用して、ドキュメントを転送することもできます。
- コンピューターからmicroSDメモリーカードにドキュメントを転送するときは、microSDメモリーカードを本機に挿入してからコンピューターに接続し、microSDメモリーカードにドキュメントをドラッグ & ドロップしてください。
- 本機に転送できるファイルについては、80ページをご覧ください。

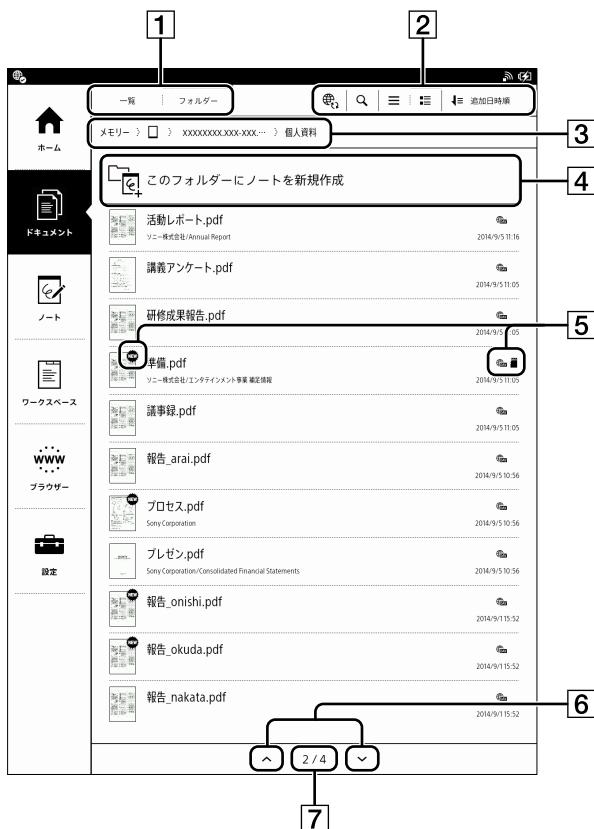
ドキュメント一覧

本機で読み書きができるファイルをドキュメントと呼んでいます。

ホームメニューの[ドキュメント]をタップし、本機のドキュメント一覧表示から開きたいドキュメントをタップすると「ドキュメント表示画面」が表示されます。ドキュメント一覧には、本機で作成されたノートも含まれます。

ドキュメント一覧を操作する

[ドキュメント]では本機に収録されているドキュメントを一覧で表示し、ドキュメントの並べ換えや検索できます。



1 表示切り換え

2 ツールアイコン

3 フォルダーのパス表示

現在表示しているフォルダーのパスを表示します。
タップして移動することもできます。

4 ノートを新規作成

5 ステータスアイコン

6 ページめくりアイコン

7 ページ数表示

ステータスアイコン

アイコン	説明
SD	microSDメモリーカードに保存されているドキュメントです。
NEW	未読のドキュメントです。
DAV	ネットワークドライブと同期するドキュメントです(57ページ)。
WPS	ソリューションサーバーと同期するドキュメントです。詳しくは、デジタルペーパーソリューションの各ヘルプガイドをご覧ください。

ページ操作

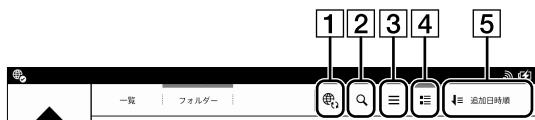
表示	説明
ページ数表示	現在のページが表示されます。
▲ (ページめくりアイコン)	前ページを表示します。
▼ (ページめくりアイコン)	次ページを表示します。

ヒント

- ページめくりアイコンをタップ＆ホールドすると、10ページずつ連続でめくれます。

ドキュメント一覧のツールアイコン

[ドキュメント]の一覧では次のツールアイコンが使用できます。



番号	アイコン	説明
1	🌐*	本機とネットワークドライブを同期します (58ページ)。
2	🔍	キーワードでドキュメント名を検索します (24ページ)。
3	☰	ファイル形式のアイコンを表示します (24ページ)。
4	☰☰	ドキュメントのサムネイルを表示します (24ページ)。
5	↓☰	ファイル名や作成者、追加日などで一覧の並び順を変更します。

* ネットワークドライブのドキュメントをフォルダー形式で表示している場合のみ、[フォルダー]の右側に表示されます。

一覧の表示を切り換える

リスト形式またはフォルダー形式でドキュメントを表示できます。

1 **ホーム**ボタンを押し、[ドキュメント]をタップする。

2 表示したい形式をタップする。

- ・[一覧]：リスト形式に切り替えます。
- ・[フォルダー]：フォルダー形式に切り替えます。

ヒント

- ・フォルダー形式の表示中に、☰（メニュー）ボタンを押し [フォルダーを新規作成] をタップし、フォルダーを新規作成してください。

サムネイルを表示する

ドキュメントのサムネイルを表示できます。

1 **ホーム**ボタンを押し、[ドキュメント]をタップする。

2 ☰または☰をタップする。

☰をタップするとファイル形式を示すアイコンが表示され、☰をタップするとドキュメントのサムネイルが表示されます。

ヒント

- ・☰をタップすると、ドキュメントのタイトルと作成者名が表示されます。

キーワードでドキュメント名を検索する

キーワードを入力して一覧からドキュメントを検索します。

1 **ホーム**ボタンを押し、[ドキュメント]をタップする。

2 🔎をタップする。

キーワード入力エリアとスクリーンキーボードが表示されます。

3 キーワードを入力し、➡をタップする。

検索されたドキュメントが表示されます。

検索を終了するには画面上部の ✕ (閉じる) をタップするか、⬅ (バック) ボタンを押します。

ヒント

- ・フォルダー形式で画面表示しているときは、表示中のフォルダーおよびサブフォルダー内のドキュメントのみ検索されます。

メニューを使用する

[ドキュメント]の[一覧]表示で≡(メニュー)ボタンを押すと、次の項目が表示されます。



① 開く

② 削除

[ドキュメント]の[フォルダー]表示で≡(メニュー)ボタンを押すと、次の項目が表示されます。



① 送信

本機からネットワークドライブの送信先フォルダーにドキュメントを送信します(59ページ)。

ネットワークドライブのフォルダーを表示している場合のみ表示されます。

② 開く

③ 削除

④ フォルダーを新規作成

コンテンツのオプションメニュー

コンテンツを選択してメニューを表示する

ドキュメント一覧やノート一覧でオプションメニューを表示して、コンテンツ(ドキュメント、フォルダーおよびノート)の開きかたや名前の変更、削除などの操作ができます。

1 **ホーム** ボタンを押し、[ドキュメント]または

[ノート]をタップする。

2 編集したいコンテンツをタップ&ホールドする。

オプションメニューが表示されます。

項目	説明
[新しいタブで開く]	新しいタブにドキュメントやノートを開きます。
[現在のタブで開く]	現在のタブにドキュメントやノートを開きます。
[他のタブを閉じて開く]	他のすべてのタブを閉じてからドキュメントやノートを開きます。
[削除]*	ドキュメントやフォルダー、ノートを削除します。
[名前変更]	ドキュメントやノートの名前を変更します。
[複製]	ドキュメントやノートを複製します。
[送信]	本機からネットワークドライブにドキュメントやノートを選択して送信します(59ページ)。この項目は[ネットワークドライブの設定]を完了しているときのみ表示されます。
[返信]	送信者にドキュメントを返信します(61ページ)。この項目は[ネットワークドライブの設定]を完了していて、本機がドキュメント名から送信者を判別できるときのみ表示されます。

* フォルダー形式表示でフォルダーをタップ&ホールドしたときは、[削除]のみ表示されます。

ご注意

・本機から直接削除する前に、残したいコンテンツはコンピューターにバックアップすることをおすすめします。

複数のコンテンツをまとめて削除する

本機の空き容量を増やしたいときに便利です。

ここでは[ドキュメント]を例に説明します。

1 **ホーム** ボタンを押し、[ドキュメント]をタップする。

2 **メニュー** ボタンを押す。

3 [削除]をタップする。

ドキュメントの左側にチェックボックスが表示されます。



1 チェックボックス オフ

2 チェックボックス オン(削除対象)

3 [すべて]

4 [実行]

5 [キャンセル]

4 削除したいドキュメントをタップしてチェックボックスをオンにする。

すべてのチェックボックスをオンにしたいときは、[すべて]をタップします。

5 [実行]をタップする。

確認画面が表示されます。

6 [はい]をタップする。

選択したドキュメントが本機から削除されます。

ご注意

- 本機から直接削除する前に、残したいドキュメントはコンピューターにバックアップすることをおすすめします。

ドキュメントを読む

ドキュメントを選択して開く

1 ホーム (ホーム) ボタンを押し、[ドキュメント] をタップする。

ドキュメント一覧が表示されます(23ページ)。

2 読みたいドキュメントをタップする。

ドキュメントが開きます。

ドキュメントをタップ & ホールドして開くこともできます。

ページ操作については、29ページをご覧ください。

ヒント

- ドキュメントの表示中に ≡ (メニュー) ボタンを押して [ツールバー非表示] をタップすると、ツールバーが非表示(全画面表示)になります。集中して読むモードにすることができます。以降、ツールバーの表示／非表示の設定は変更しないかぎり保持されます。
- レターサイズのドキュメントは、ツールバーを非表示にすることで、ページ全体が拡大され読みやすくなります。

複数のドキュメントをまとめて開く

1 ホーム (ホーム) ボタンを押し、[ドキュメント] をタップする。

2 ≡ (メニュー) ボタンを押す。

3 [開く] をタップする。

確認画面に[現在開いているタブをすべて閉じてから、ドキュメントを開きます。続けますか?]と表示されます。

4 [はい] をタップする。

ドキュメントの左側にチェックボックスが表示されます。



1 チェックボックス オフ

2 チェックボックス オン(開く対象)

3 [すべて]

4 [実行]

5 [キャンセル]

5 開きたいドキュメントをタップしてチェックボックスをオンにする。

すべてのチェックボックスをオンにしたいときは、[すべて]をタップします。

6 [実行] をタップする。

選択したドキュメントが開き、タブに表示されます。

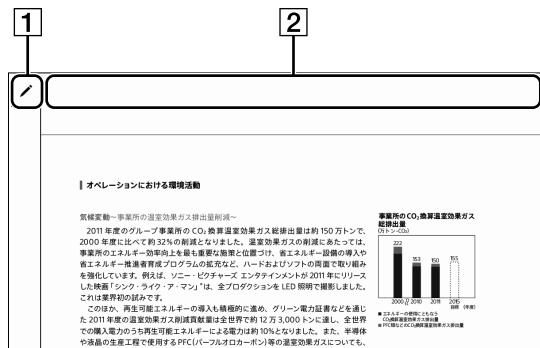
ドキュメント一覧に戻るには ↪ (バック) ボタンを押します。

ご注意

- 複数のドキュメントをまとめて開いた場合は、それまでに複数のタブで開いていたドキュメントはすべて閉じられます。

ページを操作する

ページ上ではさまざまな操作ができます。



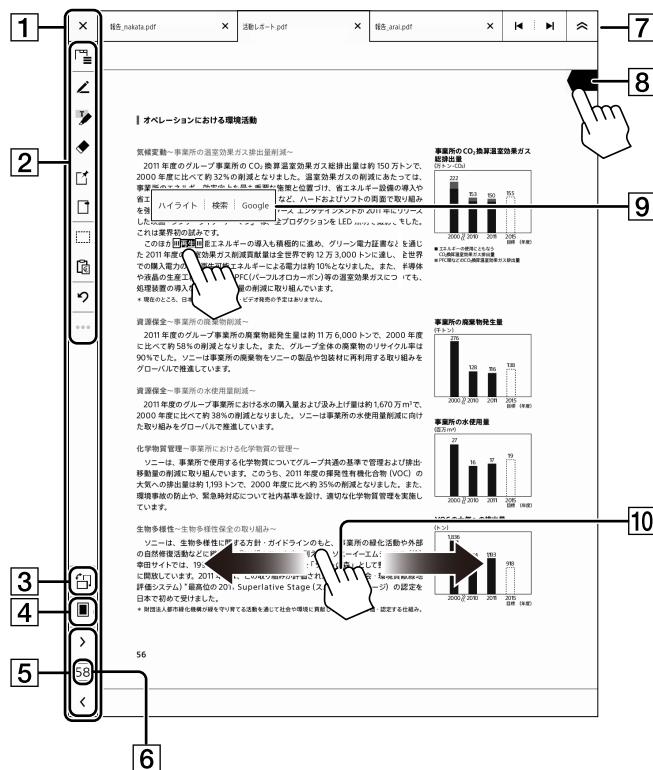
① ツールバーアイコン表示

タップするとツールバーアイコンが表示されます。

② タブパネル表示

このエリアをタップするとタブパネルが表示されます。

ツールバー／タブパネルの表示画面



① ツールバー

ツールバー全体を非表示にして、ドキュメントを全画面表示にすることもできます(34ページ)。

ツールバーの初期設定は[左に表示]ですが、お好みで表示位置を[右に表示]に変更することができます(67ページ)。

② ツールバーアイコン(36ページ)

ドキュメントに注釈を付けたり、ノートにページを追加／削除できます。

③ 画面の回転

④ 4ページ／9ページ表示に切り換え(30ページ)

⑤ ページめくialiアイコン

前／次のページを表示します。

ヒント

- ページをめくる方向は≡(メニュー)ボタンを押し、[ページ方向]をタップしてドキュメントごとに左開き／右開きを設定できます。
- ページめくialiアイコンをタップ＆ホールドすると、ページを連続でめくれます。

⑥ ページ数表示

タップするとページコントロールボックスを表示します(30ページ)。

⑦ タブパネル(32ページ)

⑧ このエリアをタップしてブックマークを追加(33ページ)

ブックマークのオン／オフはツールバーアイコンでも切り換えできます。

⑨ ポップアップメニュー(33ページ)

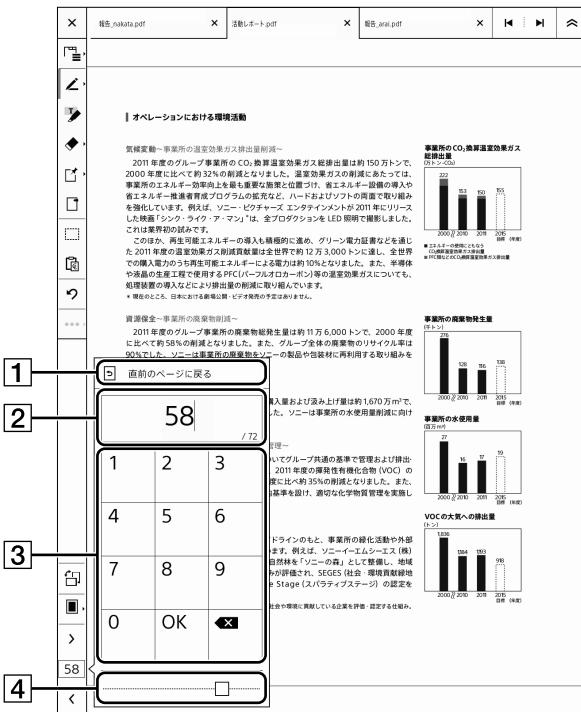
指で文字列をタップ＆ホールドすると、ハイライトや検索のポップアップメニューが表示されます。

⑩ スワイプでページめくり

ページコントロールボックスを使用する

1 ドキュメントを表示中に、ページ数表示をタップする。

ページコントロールボックスが表示されます。



1 直前のページに戻る

リンク付きのPDFでリンクを利用してページ移動した場合のみ表示されます。

2 ページ数表示

3 数字入力キー

4 スライダー

2 数字入力キーをタップしてページ番号を入力する。

3 [OK]をタップする。

指定したページへ移動します。

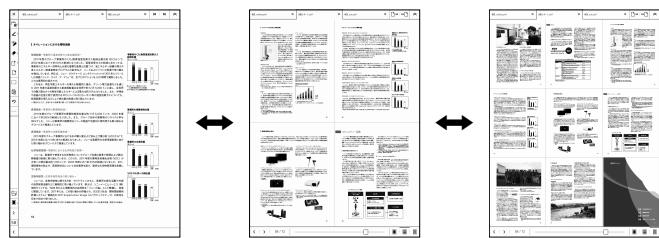
4ページ/9ページ表示にする

1画面に4ページ/9ページ表示できます。表示設定はドキュメントごとに有効になります。

ピンチインで4ページ/9ページ表示にする

1 ドキュメントを標準サイズで表示中に、画面をピンチイン(2本の指で画面にタッチして閉じる)する。

1回ピンチインすると4ページ表示、再度ピンチインすると9ページ表示に切り換わります。



ヒント

• 4ページ/9ページ表示中に以下の操作を行うと、標準サイズ表示に戻ります。

– ピンチアウト(2本の指で画面にタッチして開く)する*

– 画面右下の [■] をタップする

– どれか1つのページをタップする

* 9ページ表示から標準サイズ表示に戻すには、2回ピンチアウトします。

ツールバーで4ページ/9ページ表示にする

1 ドキュメントを表示中に、[■] (ページ表示切り換え)をタップする。

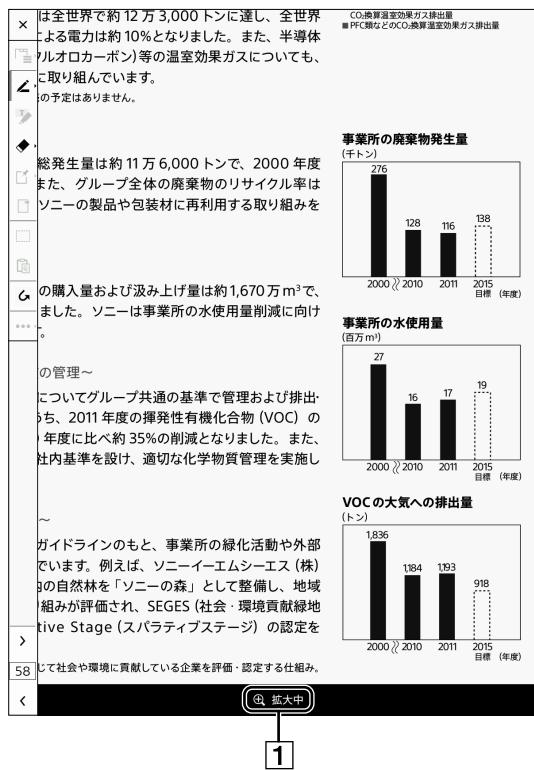
2 表示したいページ数のアイコンをタップする。

アイコン	説明
[■]	1画面に1ページ表示します。
[■■]	1画面に4ページ表示します。
[■■■]	1画面に9ページ表示します。

表示を拡大／縮小する

1 ドキュメントを標準サイズで表示している状態で、ピンチアウト(2本の指で画面にタッチして開く)する。

表示が拡大し、画面下部に[拡大中]と表示されます。再度ピンチアウトでさらに拡大、ピンチイン(2本の指で画面にタッチして閉じる)で縮小します。



1 拡大状態のステータス表示

2 位置を移動するには、指でドラッグする。

拡大表示を保ったまま画面が移動します。

ヒント

- 標準サイズに戻すには ↪ (バック)ボタンを押します。

表示を拡大している状態で利用できる操作

表示を拡大している状態で、ツールバーで利用できる機能は以下の通りです。

- 手書きペンの選択(37ページ)
- 消しゴム
- 直前の操作の取り消し／やり直し
- ページの移動

拡大時のページ送り

表示を拡大している状態で、表示位置と拡大倍率をそのままページ送りができます。

ページ送りは、ページめくりアイコンをタップするか、ページコントロールボックスでページ番号を指定してください。

ご注意

- ノートの最終ページで、ページめくりアイコンの》(次ページ)をタップした場合、拡大はそのまでノートのページが追加されます。
- 表示を拡大している状態では、指でのドラッグは表示位置の移動になりますのでご注意ください。

ヒント

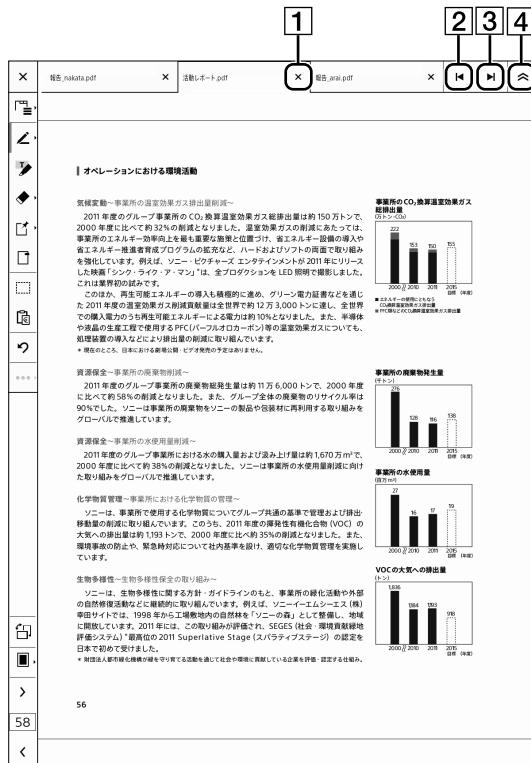
- ツールバーアイコンおよびツールバーが非表示(全画面表示)の場合は、表示の拡大前に設定していたペンの種類で手書きができます。
- 表示を拡大している状態では、ペンのボタンをハイライトに設定していても、ハイライトの機能を使うことはできません。消しゴム機能のみ有効となります。
- 表示の拡大は約2.5倍まで可能です。

タブを操作する

複数のドキュメントをタブで切り換えることができます。

1 ドキュメントを表示中に画面上部をタップする。

タブパネルが表示されます。



1 タブを閉じるアイコン

タップするとドキュメントを閉じます。

タブが閉じられると、右側にあったタブが左に移動します。

2 左スクロールアイコン

左側のタブのドキュメントを表示します。

3 右スクロールアイコン

右側のタブのドキュメントを表示します。

4 タブパネルの閉じるアイコン

タブパネルを閉じます。再表示するにはタブパネル表示エリアをタップします。

ヒント

- タブにはドキュメント名が表示されます。
- 1画面には最大3つのタブを表示できます。

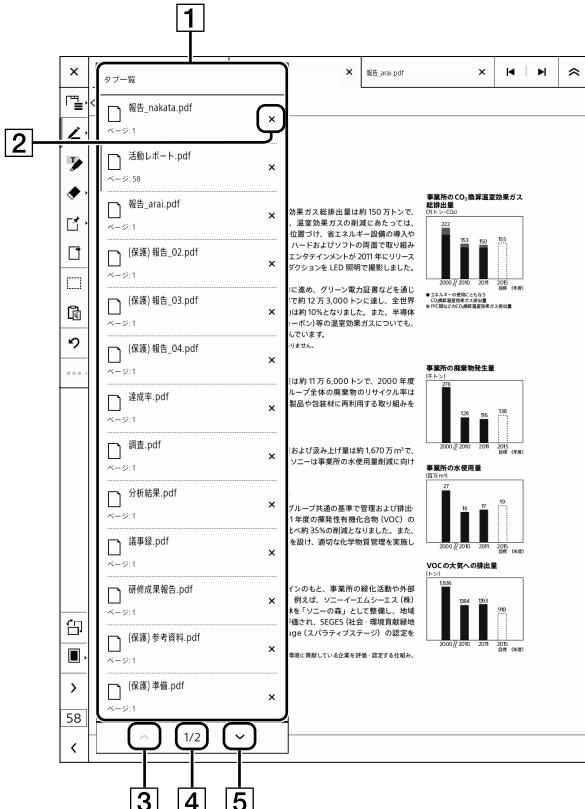
- ドキュメントを開いているときにコンピューターからドキュメントの削除、microSDメモリーカードの取り出し(microSDメモリーカードに保存されているドキュメントの場合)などを行うと、タブのみが残ることがあります。その場合は、タブを閉じるアイコンで不要なタブを閉じてください。

タブリストを表示する

すべてのタブを表示してドキュメントを選択できます。

1 ツールバーの「≡ (タブリスト)」をタップする。

タブリストが表示されます。



1 タブリスト

2 タブを閉じるアイコン

対象のタブを閉じます。

3 前のリスト表示アイコン

4 ページ数表示

5 次のリスト表示アイコン

2 タブリストから開きたいドキュメントをタップする。

選択したドキュメントが表示されます。

タブをコピーして追加する

1つのドキュメントをもう1つのタブで表示できます。現在表示中のタブの横に、新しいタブが追加されます。

1 ≡(メニュー)ボタンを押し、[同じ文書を並べて表示]をタップする。

新しく追加されたタブに、同じドキュメントが表示されます。

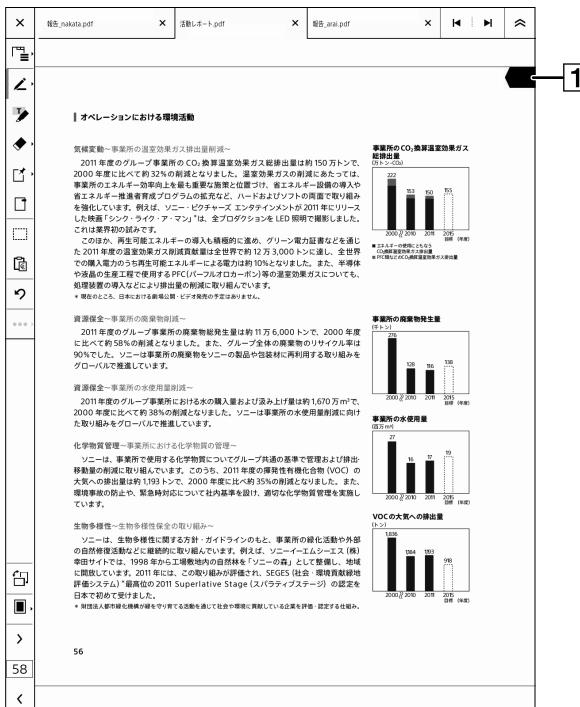
ヒント

- 1つのドキュメントを2つのタブで表示しているので、ドキュメントの内容は同一になります。

ブックマークを付ける

ページにブックマーク(しおり)を付けることができます。

1 ツールバーの「」(ブックマーク)をタップする。



1 ブックマーク

ヒント

- ページの右上をタップしてブックマークを付けることができます。
- 表示中のドキュメントのブックマークを検索するには ≡(メニュー)ボタンを押し、[注釈一覧]をタップします(43ページ)。

- 画面を縦／横に回転すると、ブックマークの位置や大きさが変わることがあります。

ブックマークを削除する

1 ツールバーの「」(ブックマーク)をタップする。

ヒント

- ブックマークをタップして削除することもできます。

キーワードでドキュメント内の文字列を検索する

ドキュメント内の文字列を選択して検索します。

1 検索したい文字列の最初の単語を指でタップ&ホールドする。

2 検索したい文字列まで、グリップを選択して広げる。

3 ポップアップメニューの[検索]をタップする。

文字列を含むページが表示されます。

4 画面上部の検索ボックスで「」または「」をタップする。

文字列を含む前／次のページに移動します。

検索を終了するには画面上部の「」(閉じる)をタップします。

ヒント

- リンク文字を選択するとグリップは表示されません。
- ドキュメント内の文字列をGoogleでWeb検索できます。Web検索するには、検索したい文字列を選択し、ポップアップメニューの[Google]をタップします。[ブラウザ]が起動し、Googleで文字列が検索されます。(この機能を使用するにはWi-Fiネットワークの接続が必要です(51ページ)。)ドキュメントに戻るには ≡(メニュー)ボタンを押し、[ドキュメントに戻る]をタップしてください。

キーワードを入力して検索する

- ≡(メニュー)ボタンを押し、[検索]をタップし、スクリーンキーボードでキーワードを入力する。

ご注意

- アルファベットの大文字と小文字はキーワード検索で区別されません。

メニューを使用する

ドキュメント表示中に≡(メニュー)ボタンを押すと、次の項目が表示されます。

項目	説明
[送信]*	表示中のドキュメントを本機からネットワークドライブに送信または返信します(59ページ)。
[ワークスペースの保存]	ワークスペースを新規保存または上書き保存します(34ページ)。
[ファイル名の変更]	表示中のドキュメントのファイル名を変更します。
[同じ文書を並べて表示]	1つのドキュメントを他のタブに重複して表示します(33ページ)。
[注釈一覧]	注釈一覧を表示します(43ページ)。
[目次]	目次を表示します。
[検索]	キーワードでドキュメント内の文字列を検索します(33ページ)。
[ページ方向]	ページをめくる方向をドキュメントごとに左開き／右開きに設定します。
[ジェスチャーを無効にする]／[ジェスチャーを有効にする]	スワイプでのページめくりや、ピンチイン／ピンチアウトでのページ表示変更の操作の無効／有効を切り替えます。
[ツールバー非表示]／[ツールバー表示]	ツールバーの表示／非表示を切り替えます。ツールバーを非表示にすると画面が拡大され(全画面表示)、ドキュメントを集中して読むことができます。

* ネットワークドライブが未設定の場合は、表示されません。

ヒント

- レターサイズのドキュメントは、ツールバーを非表示にすることで、ページ全体が拡大され読みやすくなります。
- A4サイズの場合は、左右均等に表示されます。表示サイズは変わりません。

ワークスペースを活用する

机の上に広げたドキュメントのイメージを作業ごとに名前をつけて保存できます。その作業で開いたタブとページ位置が保存できるので、ワークスペースからいつでもまとめて開くことができ、作業を再開することができるです。

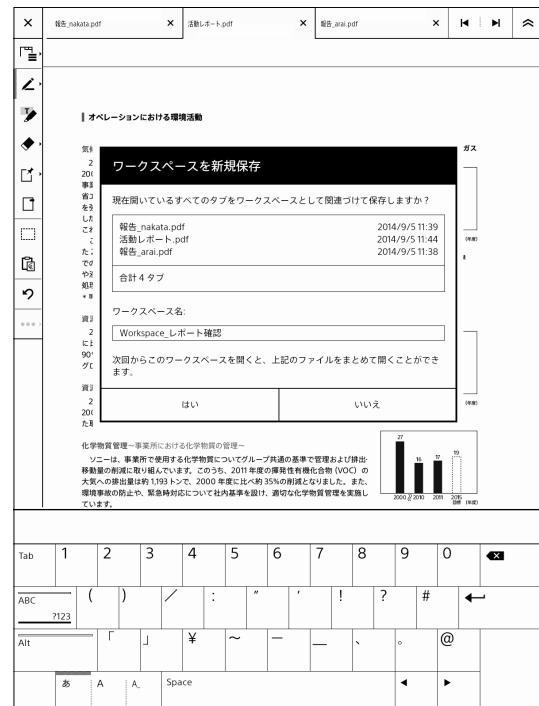
ワークスペースとして保存する

現在開いているすべてのドキュメントを1つのワークスペースとして保存できます。

- ↑(ホーム)ボタンを押し、[ドキュメント]をタップして、複数のドキュメントを開く。
- 開いているドキュメントの表示画面で≡(メニュー)ボタンを押し、[ワークスペースの保存]をタップする。

ワークスペース新規保存画面が表示されます。

すでに保存済みのワークスペースがある場合は、[新規保存]／[上書き保存]を選択するポップアップが表示されますので、保存方法を選択してください。



- 入力エリアをタップし、スクリーンキーボードでワークスペースの名前を入力し、[はい]をタップする。

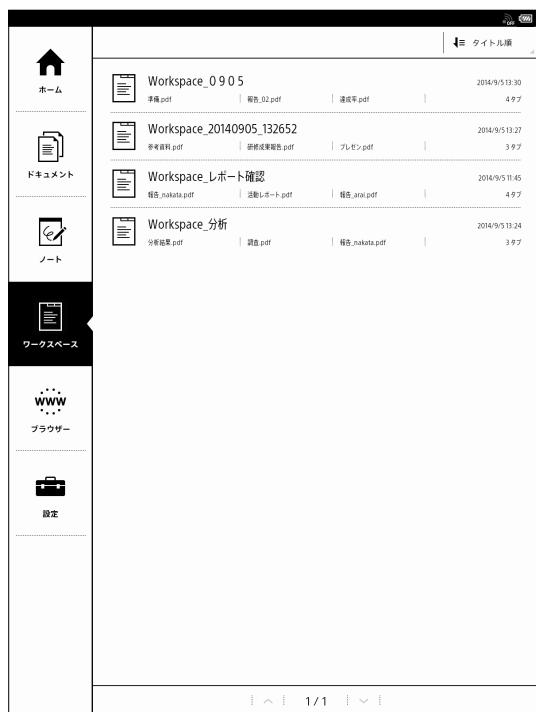
開いているすべてのドキュメントのタブの状態がワークスペースとして保存されます。

ヒント

- 保存したワークスペースの名前を変更するには、ホームメニューの[ワークスペース]をタップして表示されるワークスペース一覧でタップ＆ホールドし、オプションメニューから[名前変更]をタップします。
- ワークスペースを開いた状態で、新しいドキュメントの追加やドキュメントの削除などの操作を行った場合は、≡(メニュー)ボタンを押し、[ワークスペースの保存]→[上書き保存]の順にタップするとワークスペースを上書き保存できます。

ワークスペースを開く／削除する／名前を変更する

- ホームボタンを押し、[ワークスペース]をタップする。



- 編集したいワークスペースをタップ＆ホールドし、オプションメニューから[開く]／[削除]／[名前変更]をタップする。

ご注意

- 他のワークスペースを開くと、それまでに開いていたワークスペースは閉じられます。

ドキュメントに注釈を付ける

ドキュメントに直接手書きをしたり、ハイライトやテキスト付箋メモ、手書き付箋メモを追加するなど、さまざまな注釈*を付けることができます。

- * 注釈とは、PDFに挿入することができるマークアップのことです。本機では、手書き、ハイライト、手書き付箋メモ、テキスト付箋メモ、ブックマークなどになります。

注釈を付けたドキュメントは、以下の場合に自動保存されます。

- ドキュメントやノートを閉じたとき
 - タブを切り換えたとき
 - スタンバイモードに入るとき

ご注意

- 電池アイコンが □ になると、充電が必要であることを通知する画面が表示されます。その場合は「OK」をタップしてから、充電を開始してください。
 - 電池アイコンが □ になると、編集中のドキュメントはいったん保存された後、読み取り専用となり、編集ができなくなることを通知する画面が表示されます。その場合は「OK」をタップしてから、充電を開始してください。
 - セキュリティが設定されているPDFでは、詳細設定で注釈が許可されていない場合、本機ではタブ表示のファイル名の先頭に(保護)と表示され、ツールバーの注釈アイコンが利用不可能となり、すべての注釈を書き込むことができません。

詳しくは、お使いのPDF Viewerの説明書をご確認ください。

ヒント

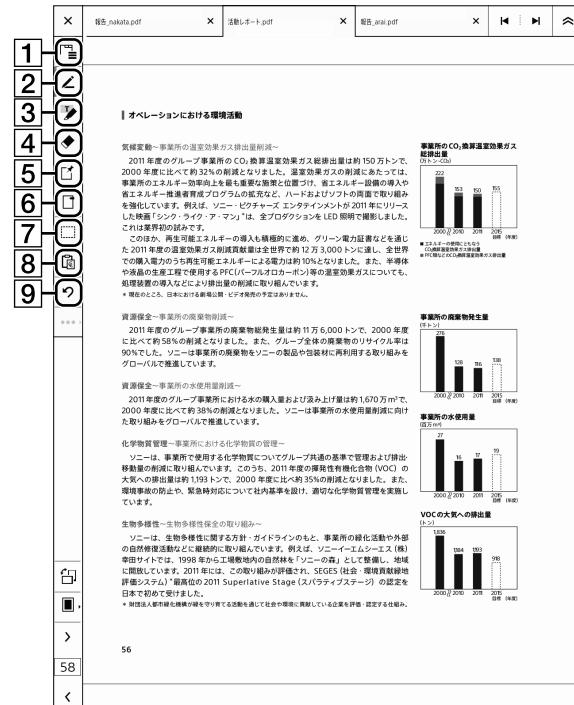
- 電源ボタンを押してスタンバイモードに入ると、そのタイミングで編集中のドキュメントが保存されます。

ツールバーを使用する

注釈を追加するときは、ツールバーアイコンを使用します。

ヒント

- 初期設定では、ツールバーアイコンは非表示になります。画面左上の  をタップすると表示されます。以降、ツールバーアイコンの表示／非表示の設定は  をタップしない限り保持されます。



- ① タブリスト表示アイコン (32ページ)
 - ② 手書きアイコン (37ページ)
 - ③ ハイライトアイコン (38ページ)
 - ④ 消しゴムアイコン (39ページ)
 - ⑤ 手書き付箋メモアイコン (41ページ)／テキスト付箋メモアイコン (42ページ)
 - ⑥ ブックマークアイコン (33ページ)
 - ⑦ 範囲選択アイコン (38ページ)
 - ⑧ 貼り付けアイコン (38ページ)
 - ⑨ 取り消し／やり直しアイコン (37ページ)

ヒント

- ツールバーの初期設定は[左に表示]ですが、好みで表示位置を[右に表示]に変更することができます(67ページ)。

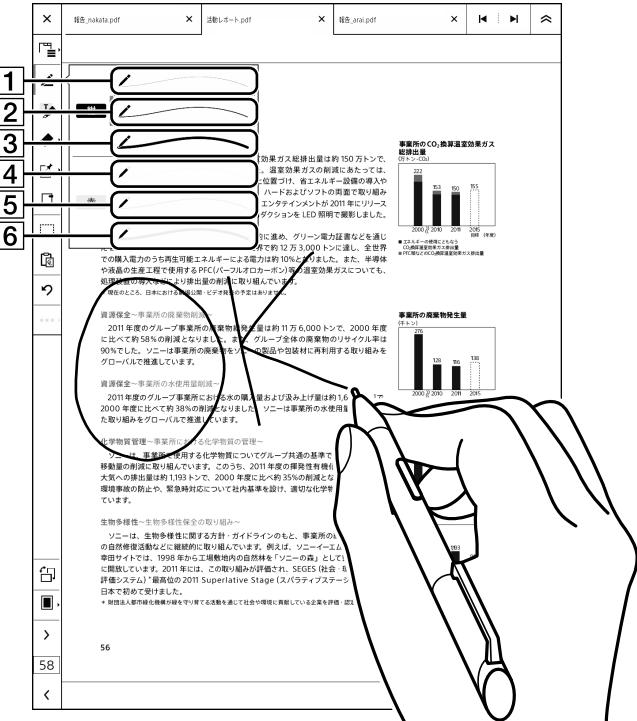
ページに直接手書きをする

ペンを使用して、ページに直接手書きをすることができます。

1 ツールバーの／(手書き)をタップして、表示されるペンの種類からタップして選択する。

一度設定したペンの種類は、変更しない限り保持されます。

2 ペンで手書きをする。



① 紺・細線

② 紺・中線

③ 紺・太線

④ 赤・細線

⑤ 赤・中線

⑥ 赤・太線

ご注意

・設定メニューの[システム設定] → [ペンの設定] → [ペンのボタン機能]で、ペンのボタンを押しているときの機能を選択できます(68ページ)。

初期設定では[オン(消しゴム)]に設定されています。ハイライトにするには[オン(ハイライト)]、押しても手書きのままにするには[オフ(手書き)]を選択します。お好きなモードでご利用ください。

・赤ペンの表示は、本機の画面上ではグレーで表示されますが、コンピューターに転送したファイル上では赤で表示されます。

・ペンで手書きをしているときは、本機のボタン(⬅(バック)、➡(ホーム)、☰(メニュー)、⌞(電源))を押しても無効になります。

ただし、ペンを長い間画面に接したままにしている場合、一定時間が経過すると無効が解除されます。

ヒント

・画面上に手を置いた状態でペンでの操作(手書き)ができます。

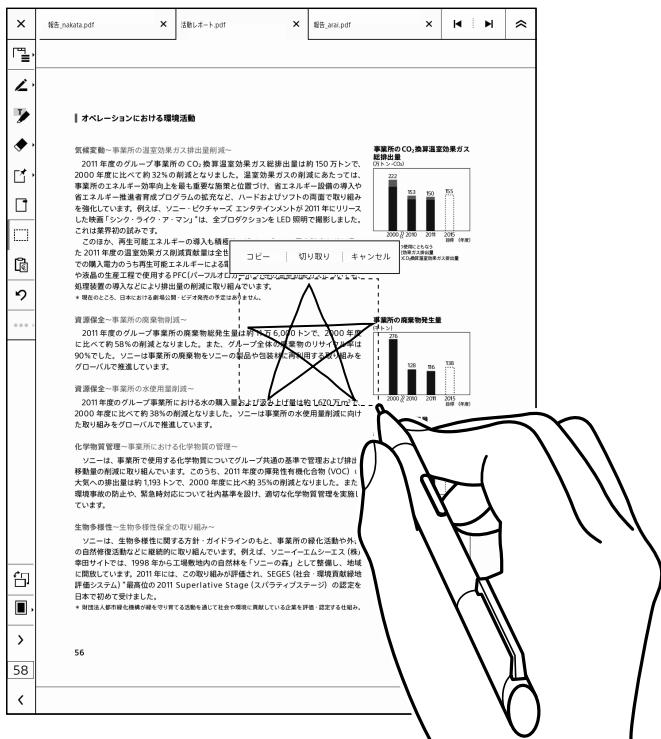
・直前の手書きの取り消し／やり直しをするには、ツールバーの⬅(取り消し)または➡(やり直し)をタップします。

手書きの注釈の移動／コピー／貼り付け／切り取りをする

ペンを利用して、手書きの注釈の移動／コピー／貼り付け／切り取りをすることができます。

手書きの注釈を移動する

1 ツールバーの (範囲選択) をタップし、手書きの注釈をペンでドラッグして範囲を選択する。



2 ポップアップメニューには触れずに、移動したい位置まで注釈の点線四角()をペンでドラッグする。

3 ポップアップメニューの [確定] をタップする。

ご注意

- 手書きの注釈の範囲選択やドラッグはペンでのみ操作できます。
- 画面を拡大している状態では移動／コピー／貼り付け／切り取りはできません。

手書きの注釈のコピー／切り取りをする

1 ツールバーの (範囲選択) をタップし、手書きの注釈をペンでドラッグして範囲を選択する。

2 ポップアップメニューの [コピー]／[切り取り] をタップする。

ご注意

- 手書きの注釈の範囲選択やドラッグはペンでのみ操作できます。
- 画面を拡大している状態では移動／コピー／貼り付け／切り取りはできません。

ヒント

- [切り取り] で範囲選択をすると、広範囲で手書きの削除をすることができます。

手書きの注釈を貼り付ける

1 ツールバーの (貼り付け) をタップする。

直前の [コピー] または [切り取り] の操作でクリップボードに保存されている手書きの注釈が画面に表示されます。

2 表示したい位置まで注釈の点線四角()をペンでドラッグし、ポップアップメニューの [確定] をタップする。

ヒント

- 手書きの注釈を他のページやドキュメントに貼り付けることもできます。
- 他人の書いた注釈を編集／削除できないように設定した場合(44ページ)は、他人の注釈の移動、コピー、切り取りはできません。
- 貼り付けた注釈には、貼り付けを操作した人の属性が付きます。
- クリップボードには注釈のデータが1つだけ保存されています。続けての貼り付けも可能です。

ハイライトを付ける

ペンや指を利用して、ハイライトを付けることができます。

ペンでハイライトを付ける

1 ツールバーの (ハイライト) をタップし、ハイライトを付けたいテキストをなぞる。

なぞった文章にハイライトが付きます。

ご注意

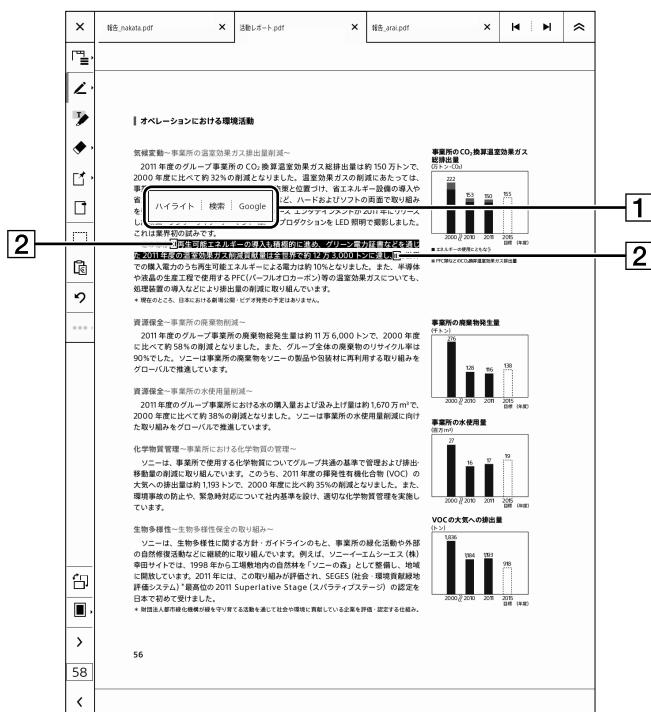
- [ペンの設定]の[ペンのボタン機能]を[オン(ハイライト)]に設定すると、ペンのボタンを押しながらハイライトを付けることができます(68ページ)。
 - 手書きの注釈には、ハイライトを付けることができません。
 - ノートにテキストが含まれていない場合は、ハイライトを付けることはできません。

ヒント

- 表示中のドキュメントのハイライト箇所を検索するには
≡ (メニュー) ボタンを押し、[注釈一覧] をタップします
(43ページ)。
 - 注釈一覧で  (filtrating) をタップして、注釈の種類を絞り込んで表示することができます。

指でハイライトを付ける

1 ハイライトを付けたい文章の最初の単語を指でタップ＆ホールドする。



1 ポップアップメニュー

2 範囲調整グリップ

2 ハイライトを付けたい範囲まで、グリップを選択して広げる。

3 ポップアップメニューの[ハイライト]をタップする。

文章にハイライトが付きます。

ヒント

- ポップアップメニューの[ハイライト]以外では、以下の操作が可能です。

[検索] : ドキュメント内の文字列検索

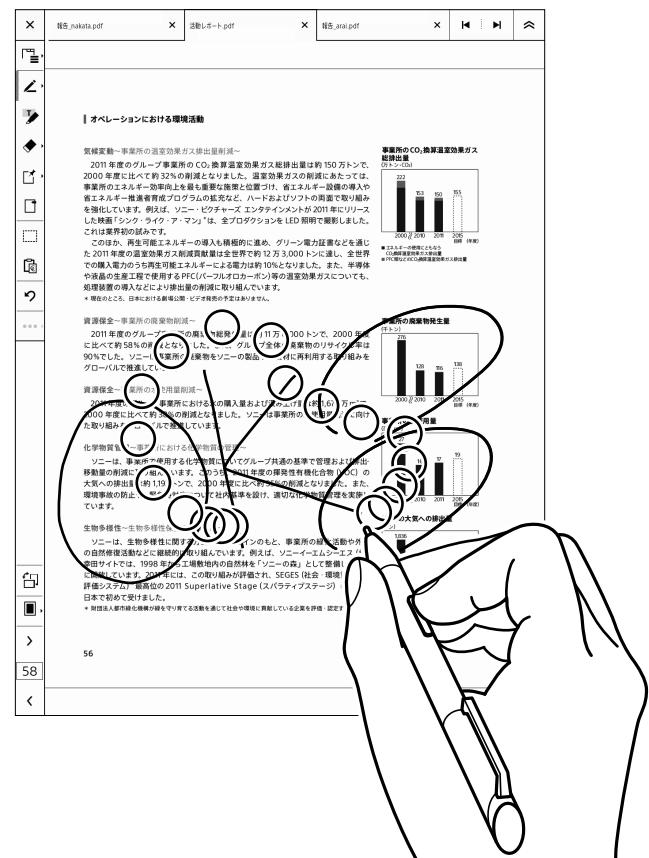
[Google]: ブラウザでのGoogle文字列検索

消しゴムを使う

ペンのボタンを押しながら消す

1 ペンのボタンを押しながら手書きやハイライトを横切るように選択し、画面からペンを離す。

横切った手書きやハイライトが削除されます。手書きは線分単位で削除されます。



ツールバーで消しゴムモードにする

ツールバーの ◆ (消しゴム) をタップし、消しゴムモードに変更することもできます。

ご注意

- 付箋メモは消しゴムで消すことはできません。

消しゴムのサイズを変更する

ツールバーの◆(消しゴム)をペンまたは指でタップし、消しゴムのサイズを[小]/[中]/[大]から選択してください。

初期設定は[中]になっています。

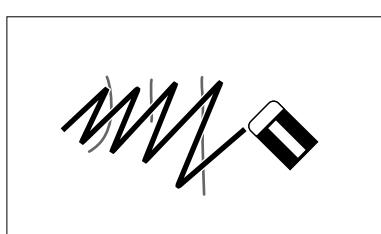
ご注意

- 消しゴムのサイズを変更した後は、モードが消しゴムになっています。ペンに戻すには手書きアイコンを選択してください。
- ペンのボタンを押して消しゴムを使用できるのは、[ペンのボタン機能]を[オン(消しゴム)]に設定している場合のみです(68ページ)。

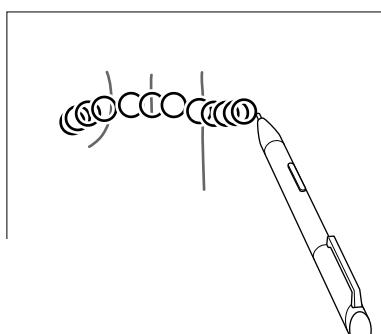
ヒント

- 線の一部を横切るように選択して画面からペンを離すと、線が消えます。本機の消しゴムは線の一部を選択することで含まれたデータを消すことができます。通常の紙に鉛筆で書いた線を消すときのように、消したい箇所全体をごしごしと選択する必要はありません。線を意識して複数選択すると、一度に消すことができます。

紙に書いたものを消す場合



本機で消す場合



- 消える範囲は、初期設定では円の表示に設定されています。円表示をオフにすることもできます(68ページ)。

直前の操作の取り消し/やり直しをする

直前の手書きや消しゴム操作の取り消し/やり直しをすることができます。

1 ツールバーの(取り消し)をタップする。

直前の手書きや消しゴム操作が取り消されます。

操作をやり直すには(やり直し)をタップします。

ご注意

- 取り消し/やり直しの操作を行えるのは、直前の1回の操作のみです。
- 取り消し/やり直しの範囲は、PDFに埋め込まれるタイミングです。細かく取り消し/やり直しをしたい場合は、ペンを画面から離すタイミングを調整して書くようにしてください。
- ハイライトを削除した場合、取り消しで元に戻すことはできません。

ジェスチャーを無効にする

手書きの記入時に、袖や手が画面に触れてしまい、ページ送りや拡大などのモードに間違って入ってしまうことを防止する機能です。

ジェスチャーを無効にすると、スワイプでのページめくりや、ピンチイン/ピンチアウトでのページ表示変更などの操作が無効になり、ペンでの操作のみが有効になります。

1 ドキュメントを表示中に(メニュー)ボタンを押し、[ジェスチャーを無効にする]をタップする。

ジェスチャーを有効にするには、(メニュー)ボタンを押し、[ジェスチャーを有効にする]をタップします。

ヒント

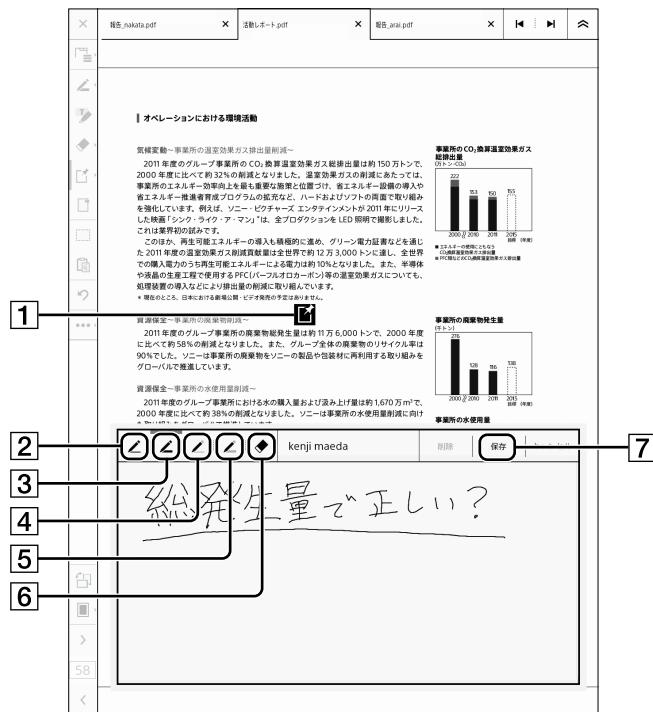
- ジェスチャーを無効にした場合でも、ツールバーやタブリストの操作、オプションメニューの選択などは指で行うことができます。

手書き付箋メモを付ける

文字や絵を手書きし、付箋メモとしてページ内に配置できます。

- ツールバーの  (付箋メモ) をタップする。
-  (手書き付箋メモ) をペンでタップし、ページ上の置きたい場所をタップして、画面からペンを離す。

手書き付箋メモのポップアップが表示されます。



① 手書き付箋メモアイコン

② 手書きアイコン(紺・細線)

③ 手書きアイコン(紺・中線)

④ 手書きアイコン(赤・細線)

⑤ 手書きアイコン(赤・中線)

⑥ 消しゴムアイコン

⑦ [保存]

③ 線や消しゴムのアイコンをタップし、ペンで文字や絵を手書きする。

④ [保存]をタップする。

ご注意

- 手書き付箋メモでは、[太線]は利用できません。

ヒント

- 本機からコンピューターにドキュメントを転送すると、手書き付箋メモはPDFファイルの注釈としてPDFファイルに埋め込まれます。

手書き付箋メモを編集する

- ツールバーの  (付箋メモ) をペンでタップして手書き付箋メモモードにしてから、ページ上の  (手書き付箋メモ) をタップする。

手書き付箋メモが表示されます。

ページ上の付箋メモを指でタップする場合は、モード変更の必要はありません。

ご注意

- 手書き付箋メモモードにせずに  (手書き付箋メモ) をペンでタップすると、アイコンに線などが書かれてしまますのでご注意ください。

- 手書き付箋メモを編集する。

- [保存]をタップする。

手書き付箋メモを削除する

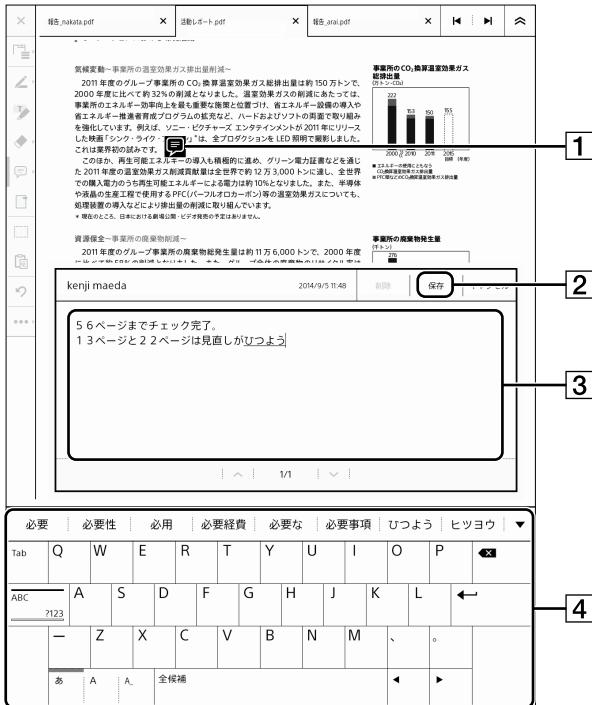
- 手書き付箋メモを表示し、[削除] → [はい]の順にタップする。

テキスト付箋メモを付ける

ドキュメントに追加したいコメントをスクリーンキーボードで入力し、付箋メモとしてページ内に配置できます。

- 1 ツールバーの  (付箋メモ) をタップする。
- 2  (テキスト付箋メモ) をペンでタップし、ページ上の置きたい場所をタップして、画面からペンを離す。

テキスト付箋メモのポップアップとスクリーンキーボードが表示されます。



① テキスト付箋メモアイコン

② [保存]

③ 入力エリア

④ スクリーンキーボード

3 スクリーンキーボードでテキストを入力する。

4 [保存] をタップする。

ヒント

- 本機からコンピューターにドキュメントを転送すると、テキスト付箋メモは注釈のテキストとしてPDFファイルに埋め込まれますので、文字列の検索が可能になります。

テキスト付箋メモを編集する

- 1 ツールバーの  (付箋メモ) をペンでタップしてテキスト付箋メモモードにしてから、ページ上の  (テキスト付箋メモ) をタップする。

テキスト付箋メモが表示されます。

ページ上の付箋メモを指でタップする場合は、モード変更の必要はありません。

ご注意

- テキスト付箋メモモードにせずに  (テキスト付箋メモ) をペンでタップすると、アイコンに線などが書かれてしますのでご注意ください。

2 [編集] をタップする。

スクリーンキーボードが表示されます。

3 スクリーンキーボードでテキストを編集する。

4 [保存] をタップする。

テキスト付箋メモとスクリーンキーボードが閉じます。

テキスト付箋メモを削除する

- 1 テキスト付箋メモを表示し、[削除] → [はい] の順にタップする。

注釈の一覧を表示して検索する

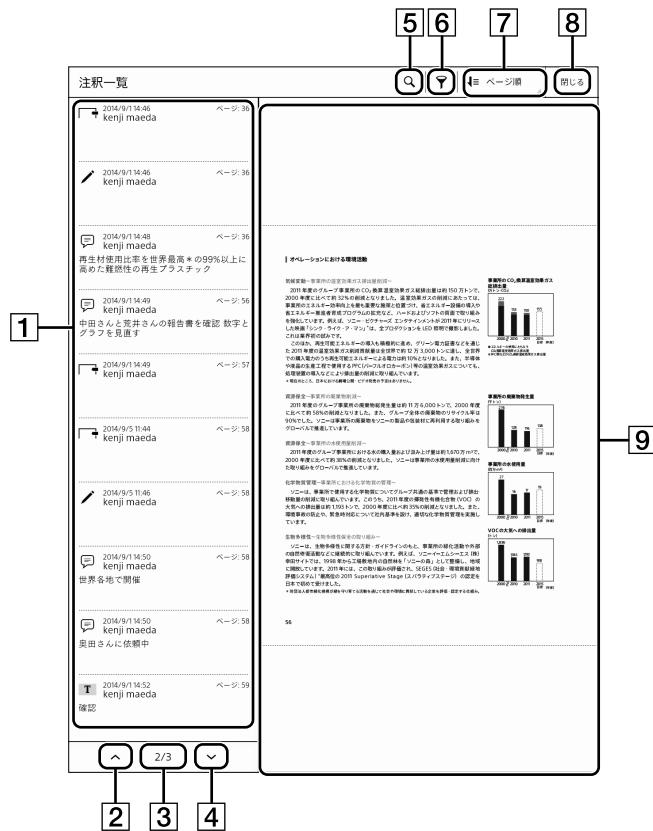
表示中のドキュメント内に付けた注釈(ブックマークやハイライト、テキスト付箋メモ、手書き付箋メモ)の検索、フィルタリング、並び替え、閲覧ができます。

1 ≡(メニュー)ボタンを押し、[注釈一覧]をタップする。

注釈一覧が表示されます。

ご注意

- 注釈一覧を表示するときはドキュメント内の注釈を検索するため、注釈の量によっては時間がかかることがあります。



① 注釈一覧

② 前の一覧表示アイコン

③ ページ数表示

④ 次の一覧表示アイコン

⑤ 検索アイコン

⑥ フィルタリングアイコン

⑦ 並び替えアイコン

⑧ 注釈一覧を閉じる

⑨ プレビューエリア

ヒント

- 前または次の一覧表示アイコンをタップ&ホールドすると、注釈一覧が連続して切り換わります。
- ドキュメントに戻るには ⇡(バック)ボタンを押します。

2 注釈一覧の注釈から表示したいページをタップする。

選択した注釈のページがプレビューエリアに表示されます。

3 プレビューから通常表示に切り換たいときは、[閉じる]またはプレビューエリアをタップする。

注釈一覧が閉じられ、通常表示に切り換わります。

注釈一覧のアイコン

アイコン	説明
	ブックマーク
	手書き
	ハイライト
	テキスト付箋メモ
	手書き付箋メモ

キーワードで注釈を検索する

キーワードを入力して注釈を検索します。注釈の種類をフィルタリングして検索することもできます。注釈の種類によって検索対象が異なります。

検索対象

検索対象は最大140文字です。

- ブックマークを付けたページのテキスト
- ハイライトを付けたテキスト
- 注釈の作成者
- テキスト付箋メモのテキスト

- 1  (検索)をタップする。
- 2 スクリーンキーボードでキーワードを入力する。
- 3 スクリーンキーボードの  をタップする。
キーワードに一致した注釈のみ、注釈一覧に表示されます。

検索を終了するには画面上部の  (閉じる)をタップします。

ヒント

- 注釈一覧の中で検索をすると、検索結果を絞れます。

注釈の種類でフィルタリングする

ブックマークや手書き、ハイライト、テキスト付箋メモ、手書き付箋メモを注釈一覧に表示するかどうか選択します。

- 1  (フィルタリング) \Rightarrow 表示しない注釈のチェックボックスをオフ \Rightarrow [OK] の順にタップする。
チェックボックスがオンの注釈のみ、注釈一覧に表示されます。

注釈を並び替える

ページ順または作成者順、注釈の種類順、更新日順で注釈を並び替えます。

- 1  (並び替え) \Rightarrow 並び替えの種類の順にタップする。
注釈が並び替わります。

他人の書いた注釈を編集／削除できないように設定する

ユーザー名を設定して作成した注釈(書き込み、付箋メモ、ハイライト、ブックマークなど)を、他のユーザー名では編集や削除ができないように設定できます。

- 1  (ホーム)ボタンを押し、[設定]をタップする。
- 2 [アプリケーションの設定] \Rightarrow [ドキュメントの設定] \Rightarrow [注釈の編集制限] の順にタップする。
- 3 [オン]をタップする。

ヒント

- ユーザー名は、[設定] \Rightarrow [一般設定] \Rightarrow [ユーザー名]で設定することができます。

ペンのボタンを設定する

ペンのボタンを押しながら画面をなぞるときの動作は、初期設定では消しゴムに設定されています。ハイライトやオフ(手書きのまま)に変更することもできます。

- 1  (ホーム)ボタンを押し、[設定]をタップする。
- 2 [システム設定] \Rightarrow [ペンの設定] \Rightarrow [ペンのボタン機能] の順にタップする。
- 3 ボタンを押したときの動作をタップする。

ヒント

- ツールバーで消しゴムモードに変更した場合、手書きモードに戻るには手書きアイコンを選択する必要がありますが、ペンのボタンを消しゴムモードにしておくと、ボタンを離すだけで手書きモードに戻れるので便利です。

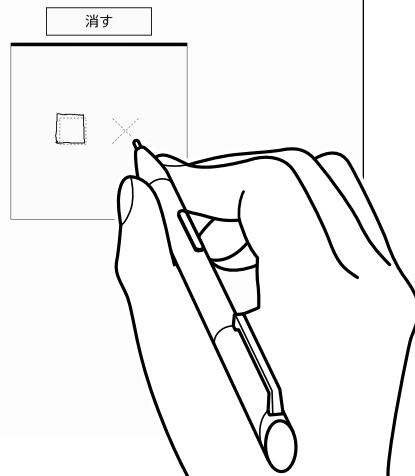
ペン先の位置を調整する

画面にペン先を当てた位置と、実際に書かれる位置のズレを感じる場合は位置調整をしてください。

- 1 **▲(ホーム)ボタンを押し、[設定]をタップする。**
- 2 [システム設定] → [ペンの設定] → [ペン先の位置調整]の順にタップする。
試し書き画面が表示されます。
- 3 ペンを使って、画面中央の□のエリアにある□と×の点線を、いつもの書きかたでなぞる。
なぞっているときは、点線の上に線は表示されません。ペンを離すと線が表示されます。
また、なぞっているときは□のエリアの上辺に黒線が表示されます。

ペン先の位置調整(試し書き)

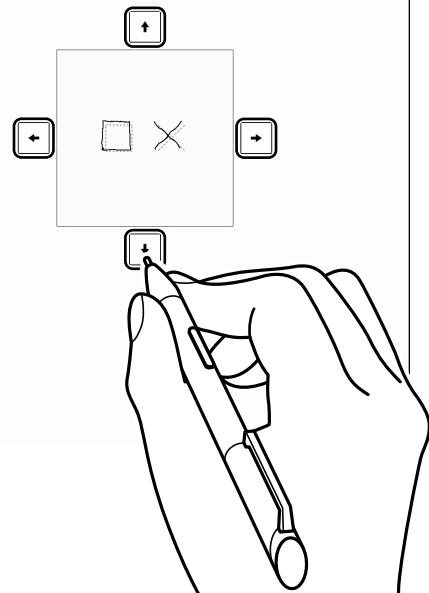
ペンで点線をなぞってください。
描かれた線が点線とずれても気にしないでください。
次の画面で、描かれた線と点線のずれを補正します。
普段と同じペンの持ち方や手首の角度で描くと、補正の効果が高まります。



- 4 [次へ]をタップする。
手動補正画面が表示されます。

- 5 上下左右の矢印アイコンをタップして書いた線を動かし、点線と合うように調整する。

ペン先の位置調整(手動補正)
描いた線と点線が合うように、↑→↓←のボタンで調整してください。



- 6 ほぼ同じ位置になったら[次へ]をタップする。
確認画面が表示されます。
- 7 点線を再度なぞり、点線と書いた線が合うようになったら[保存]をタップする。
ペンの設定メニュー画面に戻ります。ホームメニューに戻るには▲(ホーム)ボタンを押します。
確認画面で[再調整]をタップすると手動補正画面に戻ります。[戻る]をタップすると試し書き画面に戻り、試し書きからやり直しができます。

ご注意

- ・ペンの持ちかたの設定を変更した後に、ペン先の位置を調整してください。
ペン先の位置を調整した後にペンの持ちかたを変更した場合は、ペン先の位置の再調整が必要です。

ペンの持ちかたを設定する

ペンの持ちかたは初期設定で右利きに設定されています。右利き(巻き込み型)、左利き、左利き(巻き込み型)の方は、持ちかたを変更してください。持ち手に合った設定が適用されます。

- 1 **ホーム**ボタンを押し、[設定]をタップする。
- 2 [システム設定] → [ペンの設定] → [ペンの持ち方]の順にタップする。
- 3 4種類のペンの持ちかたから、ご自分の持ちかたに一番近いものを選択し、[OK]をタップする。

ご注意

- ・ペンの持ちかたが合っていないと、ペン先の位置と書かれる線の位置にずれが生じることがあります。その場合はペンの持ちかたの設定をご確認の上、[ペン先の位置調整] (45ページ)をしてください。

PDFフォームを利用する

本機は以下のPDFフォームに対応しています。

- ・チェックボックス
- ・ラジオボタン
- ・ドロップダウンリスト
- ・リストボックス
- ・テキストフィールド

ご注意

- ・PDFフォームフィールドへの入力は、必ず指で操作をしてください。ペンでの選択や入力はできません。
- ・PDFフォームフィールドにペンで直接書き込んだ場合は、手書きとしてPDF上に保存はされますが、入力値としては認識されませんので、自動集計の対象にはなりません。自動集計は指でフィールドを操作した内容のみ有効になります。

チェックボックス(☒/□)

指でタップするとチェックのオン/オフが切り替わります。

ラジオボタン(◎/○)

指でタップすると選択のオン/オフが切り替わります。

ドロップダウンリスト/リストボックス

指でタップするとリストが表示されます。

テキストフィールド

指でタップすると、テキスト入力ボックスとスクリーンキーボードが表示されます。テキストを入力して[保存]をタップすると、テキストの入力が確定されます。



① テキスト入力ボックス

② スクリーンキーボード

ヒント

- ・スクリーンキーボード上ではペンでのキー操作も可能です。
- ・複数行の入力が可能なテキストフィールドでは、文字入力確定後に ← (ENTER) をタップすると改行できます。
- ・テキストフィールドの表示エリアが狭い場合は、本機のPDF上では表示されないことがあります。テキスト入力ボックスには入力値が保存され、自動集計の対象となります。入力されているテキストを確認するには、テキストフィールドを指でタップしてテキスト入力ボックスを起動してください。

ご注意

- セキュリティが設定されているPDFでは、詳細設定でPDFフォームや注釈の入力が許可されている場合のみ入力が可能です。詳しくは、お使いのPDF Viewerの説明書をご確認ください。

ノートを活用する

手書きのノートを本機で作成できます。作成したノートを編集したり、ページを追加／削除したりすることもできます。

ノートを作成する

ノートを新規作成するには、以下の2通りの方法があります。

- アプリケーションの一覧から[ノート]をタップするか、または[ドキュメント] ➔ [一覧]タブをタップして、[ノートを新規作成]をタップする
- アプリケーションの一覧から[ドキュメント] ➔ [フォルダー]タブをタップし、ノートを作成したいフォルダーに移動して[このフォルダーにノートを新規作成]をタップする

[ノート]または[ドキュメント]の一覧から作成する

- 1 [ホーム]ボタンを押し、[ノート]をタップするか、または[ドキュメント]の[一覧]タブをタップする。

以下の画面はノート一覧の例です。



- 1 ノートを新規作成

- 2 ノートのファイル名／詳細表示一覧

- 2 [ノートを新規作成]をタップする。

ノートのテンプレート選択画面が表示されます。

- 3 使用したいテンプレートを選択して[OK]をタップする。

1ページのノートが新規作成されます。

[ドキュメント]からフォルダーを指定して作成する

1 ホームボタンを押し、[ドキュメント]の[フォルダー]タブをタップする。



① フォルダーのパス表示

② [フォルダー]タブ

③ このフォルダーにノートを新規作成

④ フォルダー／ノート一覧

2 ノートを保存したいフォルダーをタップする。

フォルダーのパス表示をタップすると他のフォルダーに移動できます。

保存したいフォルダーを新規に作成したい場合は、≡(メニュー)ボタンを押して[フォルダーを新規作成]→フォルダーナーを入力して[OK]をタップします。

3 [このフォルダーにノートを新規作成]をタップする。

ノートのテンプレート選択画面が表示されます。

4 使用したいテンプレートを選択して[OK]をタップする。

1ページのノートが新規作成されます。

ヒント

- テンプレートの選択画面で「常にこのテンプレートを使う(今後ダイアログは表示しない)」のチェックボックスをオンにすると、選択したテンプレートが設定に反映され、次回の作成時からテンプレートの選択画面は表示されなくなります。

- テンプレートの選択画面を表示したい場合は、アプリケーションの一覧から[設定]→[アプリケーションの設定]→[ノートのテンプレート]の順にタップし、[毎回テンプレートを選択する(ノート作成時にダイアログを表示する)]を選択してください。

- ノート作成時のテンプレートは設定メニューであらかじめ設定しておくこともできます(49ページ)。

- ノートはPDFファイルで保存されます。

- ホームメニューの[ノート]→[ノートを新規作成]をタップしてノートを作成した場合は、内蔵メモリーの[note]フォルダーに保存されます。

ドキュメント一覧で、フォルダーを選択して作成したノートは選択したフォルダーに保存されます。ホームメニューの[ノート]では、ノートがすべて表示されますので、詳細表示の2行目にあるファイルのパス表示でノートの保存場所を確認できます。

ノートのファイル名を変更する

ノートのファイル名は新規作成時に自動的に付けられていますが、ノートを開いている状態でノートのファイル名を変更することができます。

1 ノートを開いているときに≡(メニュー)ボタンを押し、[ファイル名の変更]をタップする。

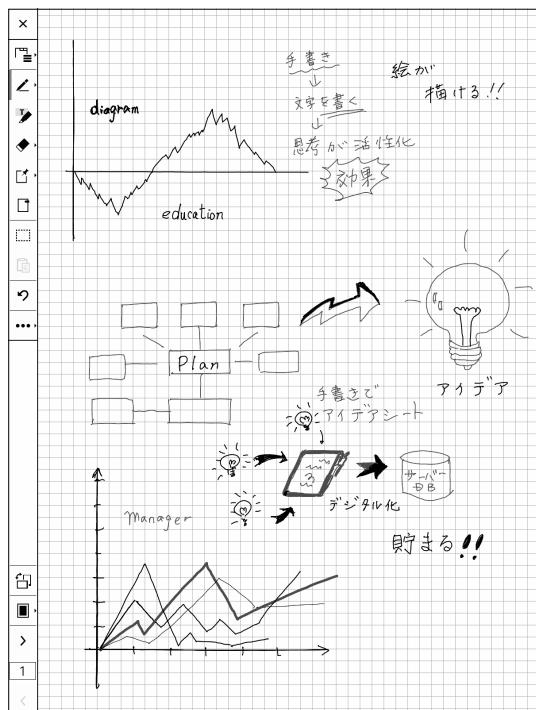
2 スクリーンキーボードでファイル名を入力し、[OK]をタップする。

ヒント

- タブに表示されているファイル名も同時に変更されます。
- ファイルを開かずに、ノート一覧からファイル名を変更する場合は、変更したいノートをタップ＆ホールドし、オプションメニューから[名前変更]をタップします。

ノートにページを追加する

1 作成したノートを開く。



2 ツールバーの ●●● (More) → [新規ページを挿入]をタップする。

現在表示されているページの前に、ノートが1ページ追加されます。

ご注意

- 最終ページで画面をスワイプすると、自動的にノートが追加されます。

ノートのページを削除する

1 ツールバーの ●●● (More) → [現在のページを削除]をタップする。

2 「現在のページを削除しますか？」の画面で[はい]をタップする。

ページが削除されます。

ご注意

- 一度削除したページを元に戻すことはできませんのでご注意ください。

ノートのテンプレートを設定する

ノートを新規作成するときのテンプレートをあらかじめ設定しておくことができます。

1 (ホーム)ボタンを押し、[設定]をタップする。

2 [アプリケーションの設定] → [ノートのテンプレート]の順にタップする。

3 使用するテンプレートをタップする。

ご注意

- 使用するテンプレートの種類をここで設定した場合、ノートの新規作成時のテンプレートは固定になります。テンプレートを固定にせず、毎回、テンプレートの選択画面を表示させる場合は、[毎回テンプレートを選択する(ノート作成時にダイアログを表示する)]をタップしてください。新規作成時に、毎回テンプレートを選択することができます。

ノートのテンプレートを追加する

お好みのPDFをテンプレートとして利用することができます。

1 付属のUSBケーブルで、本機とコンピューターを接続する。

2 本機の内蔵メモリー内の[note_template]フォルダーに、テンプレートとして利用したいPDFを保存する。

- 3 本機の  (ホーム) ボタンを押して [設定] → [アプロケーションの設定] → [ノートのテンプレート] の順にタップし、保存した PDF をタップする。

ご注意

- テンプレートを利用する PDF ファイルは、1 ページのみのファイルを使用してください。
- テンプレートを利用する PDF ファイルは、パスワードのセキュリティをオフにしてください。注釈を許可する設定にしていないと、本機で注釈を書くことができません。

ノートの保存先を選択する(サーバーとの同期)

新規に作成するノートの保存先として、あらかじめネットワークドライブまたはソリューションサーバーのフォルダーを指定しておくことができます。作成したノートを同期することができますので、バックアップとしての利用が可能です(67 ページ)。

ネットワーク

Wi-Fiネットワークの設定

無線LAN(Wi-Fi)でインターネットに接続するには本機のWi-Fiネットワークを設定しておく必要があります。

ヒント

- 本機はWEP、WPA/WPA2 PSK、802.1x EAPのセキュリティ方式に対応しています。

Wi-Fiアイコン

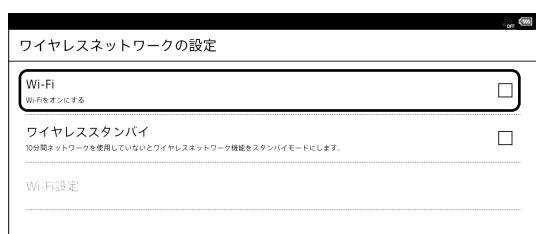
Wi-Fiネットワークの接続状態は、次のアイコンでステータスバーに表示されます。

アイコン	説明
	Wi-Fiネットワークに接続中です。バーの数はWi-Fiの信号強度を示します。
	Wi-Fi機能がスタンバイモードになっています(66ページ)。
	接続可能なWi-Fiネットワークがありません。
	[Wi-Fi]がオフになっています。

Wi-Fi機能をオンにする

無線LANルーターに接続する前に、本機の[Wi-Fi]をオンにします。

- 1 (ホーム)ボタンを押し、[設定] → [ワイヤレスネットワークの設定]の順にタップする。



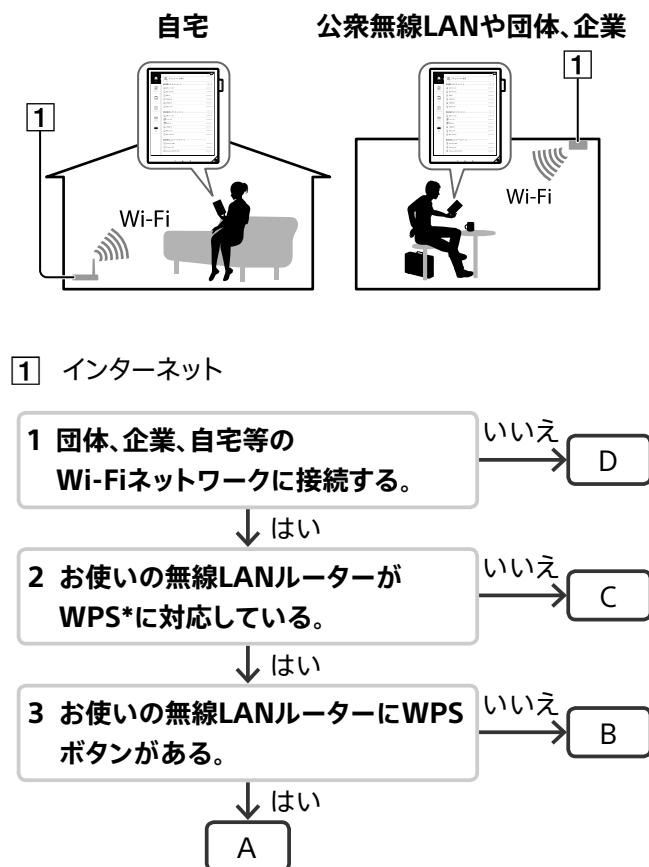
- 2 [Wi-Fi]をタップしてチェックボックスをオンにする。
チェックが付いているときが[Wi-Fi]がオンの状態です。初期設定はオンです。

ヒント

- ステータスバーをタップし、[Wi-Fi]をタップしてチェックボックスをオンにすることもできます(18ページ)。
- ネットワークに接続する必要がないときに[Wi-Fi]をオフにすると電池が長持ちします。
- 電池を長持ちさせるには[ワイヤレススタンバイ]をオンに設定してください(9ページ)。

設定方法を選択する

団体、企業、自宅などWi-Fiネットワークの環境ごとに設定が必要です。次の図からWi-Fiネットワークの接続方法を確認し、設定してください。



* WPS: Wi-Fi Protected Setup

ご注意

- 無線LANルーターをご利用いただく際に必要な通信料および接続料は、お客様のご負担となります。

Aの場合

無線LANルーターのWPSボタンで接続する(52ページ)

Bの場合

WPS PIN方式で接続する(52ページ)

Cの場合

ネットワーク名を選択して接続する(53ページ)

Dの場合

公衆無線LANに接続する(53ページ)

A~D以外の場合(手動設定)

無線LANルーターでSSID(ネットワーク識別名)を表示しない設定にしているときは、手動でWi-Fiネットワークの設定をします(54ページ)。

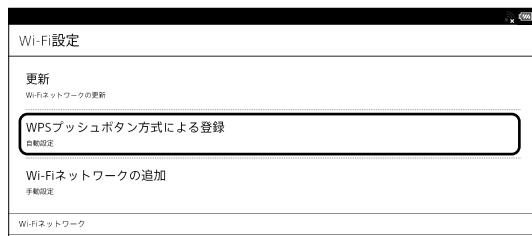
A:無線LANルーターのWPSボタンで接続する

本機はWPS(Wi-Fi Protected Setup)に対応しています。無線LANルーターのWPSボタンを押して、自動でWi-Fiネットワークの設定ができます。

1 Wi-Fi機能をオンにする(51ページ)。

2 [Wi-Fi設定]をタップする。

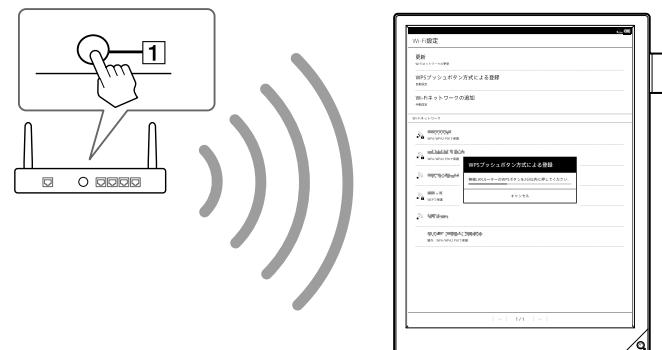
3 [WPSプッシュボタン方式による登録] → [開始]の順にタップする。



4 2分以内に無線LANルーターのWPSボタン*を押す。

Wi-Fiネットワークの設定が自動的に行われます。

* ボタン名はお使いの無線LANルーターによって異なります。



1 WPSボタン

5 本機に設定終了の画面が表示されたら[OK]をタップする。

接続状態は、ステータスバーのWi-Fiアイコンで確認できます(17ページ)。

Wi-Fiネットワーク設定時の注意については、56ページをご覧ください。

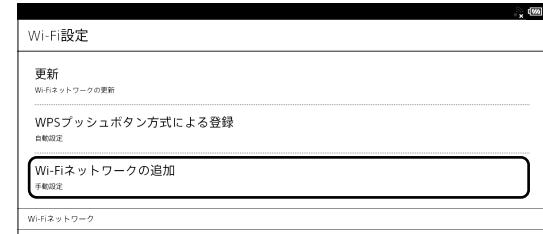
B:WPS PIN方式で接続する

無線LANルーターがWPS(Wi-Fi Protected Setup)に対応していても、WPSボタンが搭載されていない場合は、PINコードを入力して接続します。

1 Wi-Fi機能をオンにする(51ページ)。

2 [Wi-Fi設定]をタップする。

3 [Wi-Fiネットワークの追加] → [WPS PIN方式による登録] → [開始]の順にタップする。



本機の画面にPINコードが表示されます。

4 本機の画面に表示されたPINコードを無線LANルーターに入力する。

詳しくは、無線LANルーターの取扱説明書をご覧ください。

5 本機の画面で[OK]をタップする。

しばらくすると、本機がWi-Fiネットワークに接続されます。

接続状態は、ステータスバーのWi-Fiアイコンで確認できます(17ページ)。

Wi-Fiネットワーク設定時の注意については、56ページをご覧ください。

C: ネットワーク名を選択して接続する

Wi-Fiネットワークの一覧から利用可能なネットワークを選択して接続します。

ご注意

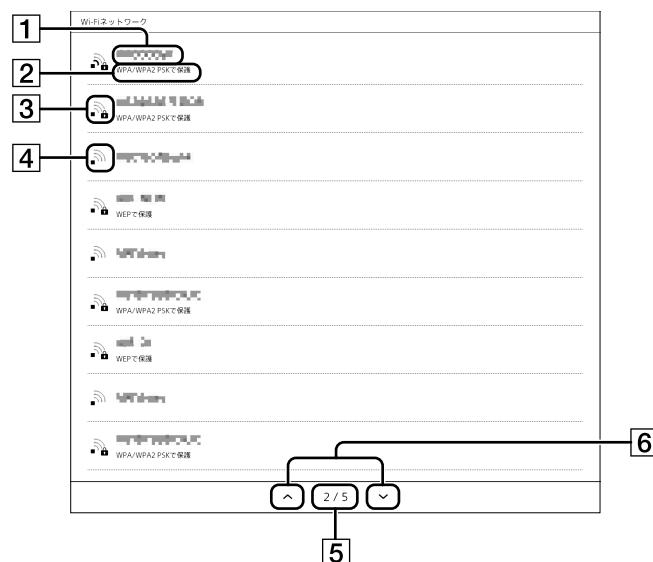
- 接続する無線LANルーターに設定されているセキュリティ方式により、パスワードの入力が必要な場合があります。

1 Wi-Fi機能をオンにする(51ページ)。

2 [Wi-Fi設定]をタップする。

3 [更新]をタップする。

[Wi-Fiネットワーク]の下に、利用可能な無線LANルーターが一覧で表示されます。



番号	説明
1	SSID(ネットワーク識別名)
2	セキュリティ方式
3	セキュリティ対策されているネットワーク この無線LANルーターに接続するときは、パスワードの入力が必要です。パスワードはWEPキーやWPAキー、暗号キー、ネットワークキーなどと呼ばれることがあります。
4	セキュリティ対策されていないネットワーク
5	ページ数表示
6	前または次の一覧表示アイコン

4 [Wi-Fiネットワーク]の一覧から、接続したい無線LANルーターのSSIDをタップする。

無線LANルーターのSSIDについては、無線LANルーターの取扱説明書をご覧ください。

5 パスワードの入力が必要なときは、スクリーンキーボードでパスワードを入力する。

6 [接続]をタップする。

本機がWi-Fiネットワークに接続されます。

接続状態は、ステータスバーのWi-Fiアイコンで確認できます(17ページ)。

Wi-Fiネットワーク設定時の注意については、56ページをご覧ください。

D: 公衆無線LANに接続する

公衆無線LANを選択して接続します。

ご注意

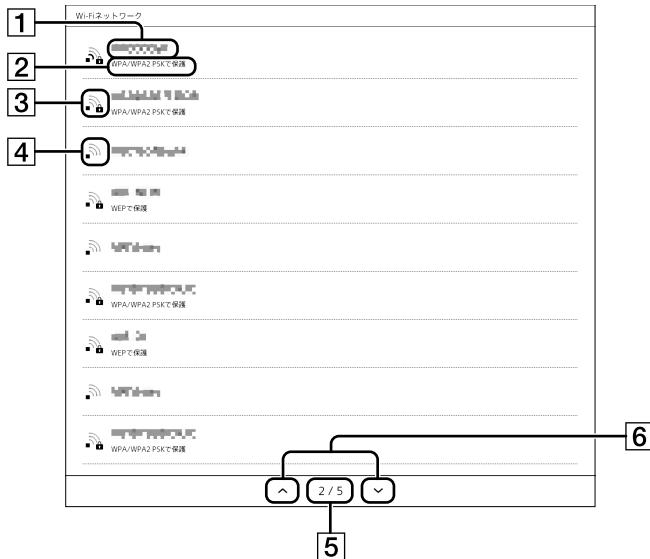
- 公衆無線LANに接続するときに、ユーザー名とパスワードの入力が必要な場合があります。詳しい操作方法はサービス提供者のホームページなどをご覧ください。

1 Wi-Fi機能をオンにする(51ページ)。

2 [Wi-Fi設定]をタップする。

3 [更新]をタップする。

[Wi-Fiネットワーク]の下に、利用可能な無線LANルーターが一覧で表示されます。



番号	説明
①	SSID(ネットワーク識別名)
②	セキュリティ方式
③	セキュリティ対策されているネットワーク この無線LANルーターに接続するときは、パスワードの入力が必要です。パスワードはWEPキーやWPAキー、暗号キー、ネットワークキーなどと呼ばれることがあります。
④	セキュリティ対策されていないネットワーク
⑤	ページ数表示
⑥	前または次の一覧表示アイコン

4 [Wi-Fiネットワーク]の一覧から、接続したい公衆無線LANのSSIDをタップする。

5 パスワードの入力が必要なときは、スクリーンキーボードでパスワードを入力する。

6 [接続]をタップする。

7 [ブラウザー]が自動的に起動しないときは、 (ホーム)ボタンを押し、[ブラウザー]をタップする。

8 サービス提供者のホームページの指示に従って、公衆無線LANの接続を完了する。

接続状態は、ステータスバーのWi-Fiアイコンで確認できます(17ページ)。

Wi-Fiネットワーク設定時の注意については、56ページをご覧ください。

A~D以外:一覧に表示されないルーターに、手動設定で接続する

企業、団体等でWi-Fiネットワークに接続するときは、証明書のインストールやプロキシサーバーの設定など、必要な情報をネットワーク管理者などに確認してください。

自宅でWi-Fiネットワークに接続するときは、証明書のインストールやプロキシサーバーの設定は不要です。「手動でWi-Fiネットワークの設定をする」(55ページ)のみ行ってください。

証明書をインストールする

コンピューターから本機にCA証明書やユーザー証明書を転送し、本機にインストールします。ユーザー証明書は802.1x EAPでTLSを使用するときのみ必要です。

1 付属のUSBケーブルで本機とコンピューターを接続し、CA証明書とユーザー証明書を本機の内蔵メモリーの第1階層に転送する。

転送方法については、21ページをご覧ください。

2 Wi-Fi機能をオンにする(51ページ)。

3 [Wi-Fi設定]をタップする。

4 (メニュー)ボタンを押し、[詳細設定]をタップする。



5 [電子証明書をインストール]をタップする。

6 インストールしたい証明書をタップする。

7 ユーザー証明書を選択したときは、スクリーンキーボードでパスワードを入力し、[OK]をタップする。

8 スクリーンキーボードで証明書の名前を入力し、[OK]をタップする。

設定を終了するには  (バック) ボタンを押します。

プロキシサーバーを設定する

プロキシサーバー経由で接続するときのみ設定します。

1 Wi-Fi機能をオンにする(51ページ)。

2 [Wi-Fi設定]をタップする。

3  (メニュー) ボタンを押し、[詳細設定]をタップする。



1 [プロキシサーバーを使用する]

2 [アドレス]

3 [ポート]

4 [プロキシサーバーを使用する]をタップしてチェックボックスをオンにする。

5 [アドレス]をタップし、スクリーンキーボードでプロキシサーバーのアドレスを入力し、[OK]をタップする。

6 [ポート]をタップし、スクリーンキーボードでポート番号を入力し、[OK]をタップする。

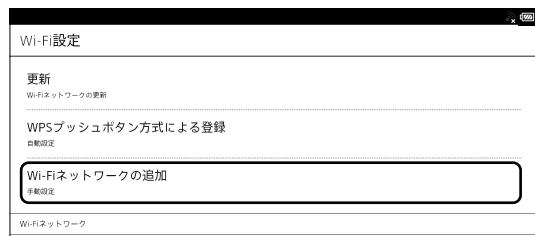
設定を終了するには  (バック) ボタンを押します。

手動でWi-Fiネットワークの設定をする

1 Wi-Fi機能をオンにする(51ページ)。

2 [Wi-Fi設定]をタップする。

3 [Wi-Fiネットワークの追加]をタップする。



4 [手動登録]をタップする。

5 各項目を設定する。

表示される項目や設定はセキュリティ方式により異なります。設定項目や設定に必要な情報は、ネットワーク管理者などに確認してください。

項目	説明
[SSID]	スクリーンキーボードでSSID(ネットワーク識別名)を入力します。
[セキュリティ方式]	無線LANルーターで対応しているセキュリティ方式をタップして選択します。
[EAPの方式]*	認証方式をタップして選択します。
[フェーズ2認証の方式]*	フェーズ2認証方法をタップして選択します。
[CA証明書]*	CA証明書をタップして選択します。
[ユーザー証明書]*	[EAP方式]で[TLS]を選択したときに、ユーザー証明書をタップして選択します。
[ユーザー名]*	スクリーンキーボードでユーザー名を入力します。
[匿名アクセスのユーザー名]*	[EAP方式]で[PEAP]を選択したときに、スクリーンキーボードで匿名アクセスのユーザー名を入力します。
[パスワード]	セキュリティ対策されている無線LANルーターに接続するときは、スクリーンキーボードでパスワードを入力します。パスワードはWEPキー/WPAキー/暗号キー/ネットワークキーなどと呼ばれることがあります。[EAP方式]で[TLS]を選択したときは、入力する必要はありません。

* [セキュリティ方式]で[802.1x EAP]を選択したときのみ表示されます。

6 [保存]をタップする。

本機がWi-Fiネットワークに接続されます。
接続状態は、ステータスバーのWi-Fiアイコンで確認
できます(17ページ)。

- 一度登録されたWi-Fiネットワークは、[Wi-Fiネットワーク]の一覧からSSIDをタップし、[接続]をタップすると、再度接続できます。

Wi-Fi設定時の注意については、56ページをご覧ください。

Wi-Fiネットワーク設定時のご注意

- [Wi-Fiネットワーク]の一覧にあるSSID(ネットワーク識別名)をタップすると、接続情報を表示できます。
- Wi-Fiネットワークの設定をする前に、お使いの無線LANルーターの取扱説明書をご覧になり、SSIDやセキュリティ方式などをご確認ください。
- Wi-Fiネットワークは最大20個まで登録できます。
- 本機では、特定のWi-Fiセキュリティ方式は対応していません。セキュリティ方式については、お使いの無線LANルーターの取扱説明書をご覧ください。
- 接続しているWi-Fiネットワークのパスワードを変更したときは、再度、新しいパスワードを入力して接続し直してください。
- 固定IPアドレスを使用するには[Wi-Fi設定]画面で≡(メニュー)ボタンを押し、[詳細設定] → [IPアドレスを手動で設定]の順にタップします。表示された項目を選択して入力し、設定が完了したら➡(バック)ボタンを押すと[Wi-Fi設定]画面に戻ります。Wi-Fiネットワークに接続できなくなる可能性があるので、ネットワーク管理者による指示がない限り、この設定は変更しないでください。
- 無線LANルーターでSSIDを表示しない設定にしているときは、本機の[Wi-Fiネットワーク]の一覧にSSIDが表示されません。その場合は、手動でWi-Fiネットワークの設定をしてください。
- 無線LANルーターでMACアドレスのフィルタリングを使用するときは、本機で▶(ホーム)ボタンを押し、[設定] → [本体情報] → [機器情報]の順にタップしてMACアドレスを確認してください。その後、無線LANルーターに本機のMACアドレスを登録してください。
- [Wi-Fi設定]画面で≡(メニュー)ボタンを押し、[接続情報]をタップすると、接続中のWi-Fiネットワークの通信速度やセキュリティ方式などを確認できます。

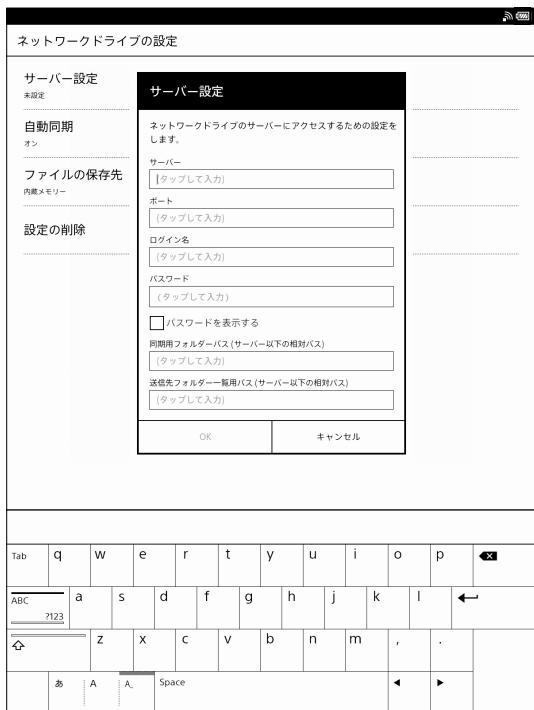
ネットワークドライブの利用

WebDAVプロトコルを利用して、特定のネットワークドライブ(サーバー)にアクセスして本機とネットワークドライブのドキュメントを同期する、本機からネットワークドライブにドキュメントを送信することができます。あらかじめWi-Fiネットワークを設定してください(51ページ)。

本機とネットワークドライブの設定をする

ネットワークドライブへのログイン情報や自動同期のオン／オフ、ドキュメントの保存先などを設定します。設定に必要な情報は、ネットワーク管理者などに確認してください。

- 1 **ホーム**ボタンを押し、[設定] → [サーバーの設定]の順にタップする。
- 2 [ネットワークドライブの設定]をタップする。
- 3 [サーバー設定]をタップし、各項目の入力エリアをタップしてスクリーンキーボードで入力する。



項目	説明
[サーバー]	ネットワークドライブのURL(アドレス)を入力します。 ^{*1}
[ポート]	ポート番号を入力します。 ^{*2}
[ログイン名]	ネットワークドライブにログインするためのユーザー名を入力します。
[パスワード]	ネットワークドライブにログインするためのパスワードを入力します。
[同期用フォルダーパス]	ネットワークドライブの同期フォルダーパス([サーバー]のURL以下の相対パス ^{*3})を設定します。
[送信先フォルダーライフ用パス]	ネットワークドライブにドキュメントを送信するときに選択する、送信先フォルダーライフ用パス([サーバー]のURL以下の相対パス ^{*3})を設定します。

^{*1} サーバー名

「https:」または「http:」で始まるサーバーのURL名を入力してください。

^{*2} ポート番号について(参考)

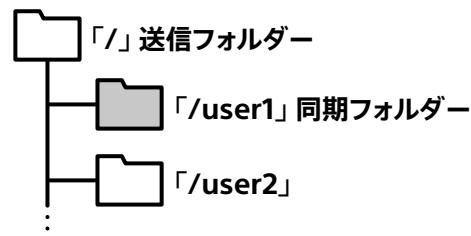
一般的に、WebDAVサーバーに「http:」でアクセスする場合は80、「https:」でアクセスする場合は443を指定してください。

WebDAVサーバーの設定は、サーバー管理者にお問い合わせください。

^{*3} サーバーのURL以下の相対パス

サーバーのURL以下の、フォルダーパスを記載してください。

サーバーの構成が下記の場合



- 送信フォルダーは、「/」を入力して設定します。
- 同期フォルダーは、「/user1」を入力して設定します。

- 4 設定が完了したら[OK]をタップする。
 - 5 [自動同期]をタップし、自動同期のオン／オフを設定する。
- オンにすると、本機とネットワークドライブが約90分ごとに自動同期します。

6 [ファイルの保存先]をタップし、本機の保存先を選択する。

microSDメモリーカードを保存先にするときは、本機にmicroSDメモリーカードを挿入してから設定してください。

ヒント

- ・[サーバー設定]や[ファイルの保存先]を変更すると、変更前の同期ドキュメントは本機から削除されます。変更をする前に、本機のドキュメントをネットワークドライブと同期しておいてください。

本機とネットワークドライブを同期する

ネットワークドライブ設定後1回目の同期では、ネットワークドライブのドキュメントが本機にダウンロードされます。2回目以降の同期では、本機のドキュメントがネットワークドライブにアップロードされ、本機の編集内容によってネットワークドライブのドキュメントが追加／更新／削除されます。

1 Wi-Fiネットワークに接続する。

2 (ホーム)ボタンを押し、[ドキュメント]をタップする。

3 [フォルダー]をタップし、フォルダーのパス表示で[メモリー] → ネットワークを選択する。



1 フォルダーのパス表示

2 同期アイコン

4 (同期)をタップする。

本機とネットワークドライブのフォルダーのドキュメントが同期されます。

同期の状況や結果はステータスバーに表示されます(17ページ)。ステータスバーをタップして通知パネルを表示すると、同期結果の詳細を確認できます。

ヒント

- ・[自動同期]をオンにすると、本機とネットワークドライブが自動同期します(57ページ)。

ご注意

- ・本機は、同期の際にフォルダ名とファイル名の大文字／小文字を区別しません。
(例:「aaa.pdf」と「AAA.pdf」は同一のファイルとして扱われます)
そのため、1つのフォルダー内に名前の大文字／小文字だけで区別されるフォルダーまたはファイルを作らないでください。
- ・以下の文字をフォルダ名またはファイル名に使用すると、同期に失敗することがあります。
「:」(コロン)、「;」(セミコロン)、「/」(スラッシュ)、「\」(¥)」(バックスラッシュ(円記号))、「|」(パイプ)、「,」(カンマ)、「*」(アスタリスク)、「?」(クエスチョンマーク)、「"」(コレーションマーク、引用符)、「<」(小なり)、「>」(大なり)

同期を中断する

1 同期中に (同期中断)をタップする。

自動同期を中断するときは  (ホーム)ボタンを押し、[ドキュメント]をタップしてから  (同期中断)をタップします。

同期ドキュメントを本機で開く

同期ドキュメントは、本機の[ドキュメント]から開けます。

- 1 **ホーム** (ホーム) ボタンを押し、[ドキュメント]をタップする。



- 2 開きたいドキュメントをタップする。

ドキュメントが開きます。

開きかたについて詳しくは、28ページをご覧ください。

ヒント

- [一覧]と[フォルダー]のどちらの表示形式でもドキュメントを開くことができます。
- ドキュメント一覧の操作については23ページ、各ページの操作については29ページをご覧ください。

同期ドキュメントを削除する

本機でドキュメントを削除すると、次回ネットワークドライブと同期したときに、ネットワークドライブのドキュメントが削除されます。

- 1 **ホーム** (ホーム) ボタンを押し、[ドキュメント]をタップする。
- 2 削除したいドキュメントをタップ&ホールドし、オプションメニューから[削除]をタップする。
確認画面が表示されます。
- 3 [はい]をタップする。

ヒント

- 複数のドキュメントをまとめて削除するには≡(メニュー)ボタンを押し、[削除]をタップします。削除方法については、26ページをご覧ください。
- ネットワークドライブ側でドキュメントを削除して同期しても、本機のドキュメントは削除されません。

本機からネットワークドライブにドキュメントを送信する

本機からネットワークドライブの他のユーザーフォルダーを[送信先]で選択し、送信することができます。

送信後のドキュメント名は「元のドキュメント名_from_同期フォルダ名_日付_時間.pdf」になります。

- 1 Wi-Fiネットワークに接続する。
- 2 **ホーム** (ホーム) ボタンを押し、[ドキュメント]をタップする。
- 3 [一覧]または[フォルダー]をタップする。
- 4 送信したいドキュメントをタップ&ホールドし、オプションメニューから[送信]をタップする。
送信先の選択画面が表示されます。
- 5 送信先をタップしてチェックボックス-をオンにする。
すべての送信先を選択するには[すべて]をタップします。

6 [OK]をタップする。

確認画面が表示されます。

7 [はい]をタップする。

[送信先]を指定した送信先フォルダーのすぐ下の階層にドキュメントが送信されます。

ご注意

- 送信先に同名のドキュメントがあると、上書きされます。

ヒント

- ドキュメントを表示中に  (メニュー) ボタンを押し、[送信]をタップして送信することもできます。

複数の同期ドキュメントをまとめて送信する

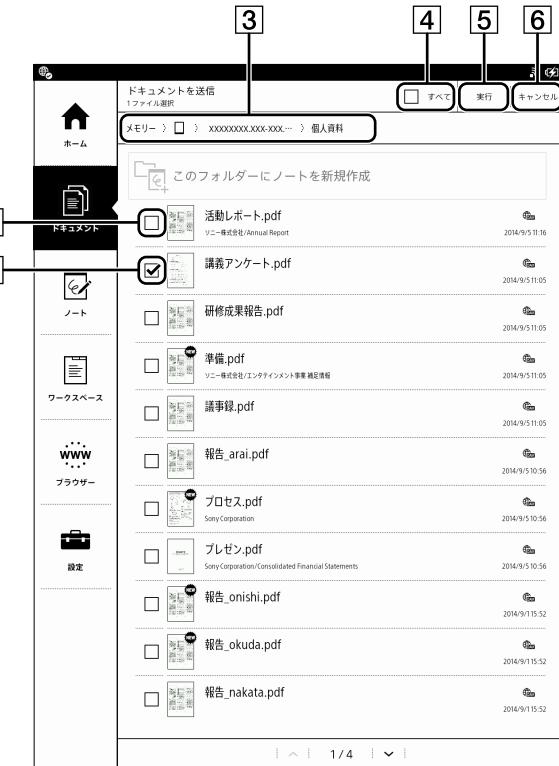
1 Wi-Fiネットワークに接続する。

2 (ホーム) ボタンを押し、[ドキュメント]をタップする。

3 [フォルダー]をタップし、フォルダーのパス表示で [メモリー] → ネットワークを選択し、送信したいフォルダーをタップする。

4 (メニュー) ボタンを押し、[送信]をタップする。

ドキュメントの左側にチェックボックスが表示されます。



1 チェックボックス オフ

2 チェックボックス オン (送信対象)

3 フォルダーのパス表示

4 [すべて]

5 [実行]

6 [キャンセル]

5 送信したいドキュメントをタップしてチェックボックスをオンにする。

すべてのチェックボックスをオンにしたいときは、[すべて]をタップします。

6 [実行]をタップする。

送信先の選択画面が表示されます。

7 送信先をタップしてチェックボックスをオンにする。

すべての送信先を選択するには[すべて]をタップします。

8 [OK]をタップする。

確認画面が表示されます。

9 [はい]をタップする。

ドキュメントを返信する

本機がドキュメント名から送信者を判別できるときは、ドキュメントを返信できます(59ページ)。返信したドキュメントはネットワークドライブに保存され、相手がネットワークドライブと同期したときに返信されます。

- 1 Wi-Fiネットワークに接続する。
- 2  (ホーム)ボタンを押し、[ドキュメント]をタップする。
- 3 [一覧]または[フォルダー]をタップする。
- 4 返信したいドキュメントをタップ&ホールドし、オプションメニューから[返信]をタップする。
確認画面が表示されます。
- 5 [はい]をタップする。

ヒント

- ドキュメントを表示中に  (メニュー)ボタンを押し、[送信]をタップして返信することもできます。

メニューを使用する

ネットワークドライブとの同期ドキュメント一覧で  (メニュー)ボタンを押すと、ドキュメントの送信や削除などの操作ができます。

メニューについて詳しくは、25ページをご覧ください。
また、ドキュメントをタップ&ホールドするとオプションメニューが表示され、ドキュメントの開きかたの選択やドキュメント名の変更などの操作ができます。
オプションメニューについて詳しくは、26ページをご覧ください。

ブラウザー

本機には[ブラウザー]が搭載されています。インターネットにアクセスしてWebページを見たり、PDFファイルをダウンロードしたりできます。あらかじめWi-Fiネットワークを設定してください(51ページ)。

Webページを表示する

- 1 Wi-Fiネットワークに接続する。
- 2  (ホーム)ボタンを押し、[ブラウザー]をタップする。
- 3 次のいずれかの方法でWebページを表示する。
 -  (お気に入り) → 表示したいWebページの順にタップする。
 - URLボックスをタップし、スクリーンキーボードでWebページのURLを入力し、[移動]をタップする。
- 4 Webページを見る。
 - 指でスワイプするか、ペンを使用して上下にスクロールします。
 - ドラッグで表示エリアを移動します。
 -  (バック)ボタンを押すと、直前に表示していたWebページに戻ります。

ご注意

- 初めて[ブラウザー]を使用するときは、表示される使用上の注意をよく読んで[同意する]をタップすると[ブラウザー]が起動します。

ヒント

- [ブラウザー]を閉じ、最後に読んだドキュメントに戻るには  (メニュー)ボタンを押し、[ドキュメントに戻る]をタップします。

Webページの表示を拡大する

拡大表示中にスクロールすると、画面左下にズームアイコンが表示されます。

- ・ピンチアウト(2本の指で画面にタッチして開く)で表示を拡大します。
- ・ピンチイン(2本の指で画面にタッチして閉じる)で表示を縮小します。
- ・拡大された画面でダブルタップすると、画面の横幅にWebページを合わせます。

標準サイズに戻すには再度ピンチインするか、ダブルタップします。

ダウンロードする

ダウンロード用リンクがあるWebページから、リンク先のドキュメントを本機にダウンロードします。本機にダウンロードできるのはPDFファイル(.pdf)のみです。

1 Webページ上のリンクをタップする。

2 確認画面が表示されたら[はい]をタップする。

ダウンロードしたドキュメントは[ドキュメント]に保存されます。

ヒント

- ・Webページ上のリンクをタップ&ホールドし、[リンクを保存]をタップしてダウンロードすることもできます。

ダウンロード状況を確認する

ダウンロード状況やダウンロード結果を確認できます。

1 ステータスバーのアイコンでダウンロード中かどうか確認する。

ステータスバーをタップすると、通知パネルが表示されます(18ページ)。

ダウンロード中のドキュメントは[実行中]の下に表示されます。

ダウンロードが完了したドキュメントやダウンロードに失敗したドキュメントは[通知]の下に表示されます。

Webページに戻るには「(バック)ボタンを押します。

ダウンロードを中断する

ドキュメントのダウンロードを中断できます。

1 ドキュメントをダウンロード中に≡(メニュー)ボタンを押し、[ダウンロード履歴]をタップする。

ダウンロード履歴が表示されます。

ステータスバー→[実行中]一覧のダウンロード中ドキュメントの順にタップして、ダウンロード履歴を表示することもできます。

2 ダウンロードを中断したいドキュメントをタップ&ホールドし、[ダウンロードをキャンセル]をタップする、または≡(メニュー)ボタンを押し、[ダウンロードをすべてキャンセル]をタップする。

Webページに戻るには「(バック)ボタンを押します。

ダウンロードしたドキュメントを表示する

ダウンロードしたドキュメントを表示します。ダウンロードしたドキュメントは本機の[ドキュメント]に保存されています。

1 Webページを表示中に≡(メニュー)ボタンを押し、[ダウンロード履歴]をタップする。

2 開きたいドキュメントをタップするか、開きたいドキュメントをタップ&ホールドし、[開く]をタップする。

ドキュメントが開きます。

ダウンロードしたドキュメントを削除する

ダウンロードしたドキュメントを本機から削除します。

1 Webページを表示中に≡(メニュー)ボタンを押し、[ダウンロード履歴]をタップする。

2 削除したいドキュメントをタップ&ホールドし、[削除]をタップする。

確認画面が表示されます。

3 [OK]をタップする。

本機からドキュメントが削除されます。

複数のウィンドウを使用する

新しいウィンドウを開く

- 1 Webページを表示中に ≡ (メニュー) ボタンを押し、[ウィンドウ] → [新しいウィンドウ] の順にタップする。

ウィンドウは3つまで表示できます。[新しいウィンドウ] が表示されないときは、[閉じる] をタップして他のウィンドウを閉じてください。

Webページ上のリンク先を新しいウィンドウで開く

現在表示しているウィンドウを閉じることなく、新たにウィンドウを開いてリンク先のWebページを表示します。

- 1 Webページ上のリンクをタップ＆ホールドし、[新しいウィンドウで開く] をタップする。

新しいウィンドウが開き、リンク先のWebページが表示されます。

ウィンドウは3つまで表示できます。ウィンドウを3つ開いているときは、新しいウィンドウで開けません。

ウィンドウを切り換える

複数のウィンドウを切り換えてWebページを表示できます。

- 1 Webページを表示中に ≡ (メニュー) ボタンを押し、[ウィンドウ] をタップする。

- 2 表示したいウィンドウをタップする。

ウィンドウを閉じる

開いているウィンドウを閉じます。

- 1 Webページを表示中に ≡ (メニュー) ボタンを押し、[ウィンドウ] をタップする。

- 2 [閉じる] をタップする。

ウィンドウが閉じます。

ヒント

- すべてのウィンドウを閉じると、ブラウザーのホームに設定されたWebページが自動的に開きます。

お気に入りや表示履歴を使用する

Webページをお気に入りに追加する

お気に入りに追加すると、素早く再表示できます。

- 1 お気に入りに追加したいWebページを表示する。

- 2 次のいずれかの方法でお気に入りに追加する。

- ≡ (メニュー) ボタンを押し、[お気に入りへ追加] をタップする。
- URLボックス右側の  (お気に入り) → [現在のページを追加] の順にタップする。

- 3 名前を変更したいときは [名前] の入力エリアをタップし、スクリーンキーボードで名前を入力する。

- 4 [OK] をタップする。

現在表示中のページがお気に入りに追加されます。

お気に入りからWebページを表示する

お気に入りに登録したWebページを素早く表示できます。

- 1 Webページを表示中に URLボックス右側の  (お気に入り) をタップする。

お気に入りの一覧が表示されます。

- 2 表示したいWebページをタップする。

お気に入りを編集する

お気に入りの名前やURLを変更します。

- 1 Webページを表示中に URLボックス右側の  (お気に入り) をタップする。

お気に入りの一覧が表示されます。

- 2 編集したいWebページをタップ＆ホールドし、[編集] をタップする。

3 [名前]または[URL]の入力エリアをタップし、スクリーンキーボードで名前またはURLを変更する。

4 [OK]をタップする。

Webページに戻るには  (バック) ボタンを押します。

お気に入りから削除する

お気に入りからWebページを削除します。

1 Webページを表示中にURLボックス右側の  (お気に入り)をタップする。

お気に入りの一覧が表示されます。

2 削除したいWebページをタップ＆ホールドし、[削除]をタップする。

3 [OK]をタップする。

お気に入りからWebページが削除されます。

Webページに戻るには  (バック) ボタンを押します。

表示履歴からWebページを表示する

過去に表示した履歴からWebページを選択して表示します。

1 Webページを表示中にURLボックス右側の  (お気に入り)をタップする。

2 [履歴]をタップする。

過去に表示したWebページの履歴が表示されます。

3 表示したいWebページをタップする。

表示履歴を消去する

Webページの表示履歴を消去します。

1 Webページを表示中にURLボックス右側の  (お気に入り)をタップする。

2 [履歴]をタップする。

過去に表示したWebページの履歴が表示されます。

3 消去したい履歴をタップ＆ホールドし、[履歴から消去]をタップする。

Webページに戻るには  (バック) ボタンを押します。

ヒント

• すべての履歴を消去するには手順3で  (メニュー) ボタンを押し、[履歴消去]をタップします。

ブラウザの設定をする

ブラウザでは次の項目を設定できます。設定を変更するにはWebページの表示中に  (メニュー) ボタンを押し、[設定]をタップします。

設定項目	説明
[ズームの倍率設定]	Webページを拡大表示するときの倍率を設定します。初期設定は[普通]です。
[ページを全体表示で開く]	Webページを画面に合わせてリサイズして表示します。初期設定は有効です。
[テキストエンコード]	Webページを表示するときの文字コードを設定します。初期設定は[日本語(SHIFT_JIS)]です。
[ポップアップアップウィンドウをブロック]	ポップアップアップウィンドウをブロックします。初期設定は有効です。
[画像の読み込み]	Webページ上の画像を表示します。初期設定は有効です。
[自動レイアウト]	Webページを拡大表示したときに、画面の横幅に合わせて自動で改行します。初期設定は有効です。
[JavaScriptを有効にする]	JavaScriptを有効にします。初期設定は有効です。
[ブラウザホームの設定]	ブラウザのホームとして表示されるWebページを設定します。
[ページ情報]	Webページの情報を表示します。
[キャッシュを消去]	キャッシュを消去します。
[履歴消去]	Webページの表示履歴を消去します。
[Cookieを受け入れる]	Cookie(クッキー)を許可します。初期設定は有効です。
[Cookieをすべて消去]	Cookieをすべて消去します。

設定項目	説明
[フォームデータを保存]	ブラウザーでの検索などフォームへの入力履歴を残すように設定します。初期設定は有効です。
[フォームデータを消去]	フォームへの入力履歴を消去します。
[パスワードを保存]	パスワードの入力履歴を残すように設定します。初期設定は有効です。
[パスワードを消去]	パスワードの入力履歴を消去します。
[初期設定にリセット]	ブラウザーの設定を初期設定に戻します。
[インターネットブラウザーご使用上の注意]	ブラウザー使用上の注意を表示します。

Webページに戻るには  (バック) ボタンを押します。

メニューを使用する

Webページの表示中に  (メニュー) ボタンを押すと、次の項目が表示されます。

項目	説明
[ブラウザーホーム]	ブラウザーのホームに設定したWebページを表示します(64ページ)。
[更新]	表示しているWebページを更新します。
[中止]	Webページの表示を中止します。
[進む]	戻る前に表示していたWebページを表示します。
[ドキュメントに戻る]	[ブラウザー]を閉じ、最後に読んだドキュメントを表示します。
[ウィンドウ]	ウィンドウの一覧を表示します(63ページ)。
[お気に入りへ追加]	Webページをお気に入りに追加します(63ページ)。
[ページ情報]	Webページの情報を表示します。
[ダウンロード履歴]	ダウンロードの履歴を表示します(62ページ)。
[設定]	ブラウザーの各種設定をします(64ページ)。

設定変更

設定を変更する

[設定]では、日時やWi-Fiネットワークなど本機の設定ができます。

一般設定

設定項目	説明
[ユーザー名]	<p>ユーザー名を入力します。設定したユーザー名はホームメニューの右上に表示されます。注釈の作成者はここで設定したユーザー名が使用されます。</p> <p>ヒント</p> <ul style="list-style-type: none"> [注釈の編集制限] (44 ページ) をオンにする場合は、必ずここでユーザー名を設定してください。

ご注意

- 本機でユーザー名を設定していても、ソリューションサーバーにログインした場合は、ソリューションサーバーのユーザー名に変更されます。

ワイヤレスネットワークの設定

設定項目	説明
[Wi-Fi]	Wi-Fi機能のオン／オフを切り替えます (51ページ)。
[ワイヤレススタンバイ]	チェックボックスをオンになると、10分間ネットワークを使用しないときにWi-Fi機能を自動的にスタンバイモードにし、電池の消費を抑えます。
	<p>ご注意</p> <ul style="list-style-type: none"> スタンバイモードからネットワークに接続するときは、接続までに時間がかかります。 チェックボックスをオフになると、Wi-Fi機能が常時有効になるため電池の消費が早くなります。
[Wi-Fi設定]	Wi-Fiネットワークに接続するための設定をします (51ページ)。

サーバーの設定

ネットワークドライブの設定

設定項目	説明
[サーバー設定]	接続するネットワークドライブを設定します (57ページ)。設定に必要な情報は、ネットワーク管理者などに確認してください。
	<p>ヒント</p> <ul style="list-style-type: none"> [サーバー設定] を変更すると、変更前のネットワークドライブのドキュメントは本機から削除されます。変更する前に、本機のドキュメントをネットワークドライブに同期しておくことをおすすめします。
[自動同期]	自動同期のオン／オフを切り替えます。オンにすると、本機とネットワークドライブが約90分ごとに自動同期します。

設定項目	説明
[ファイルの保存先]	同期ドキュメントの保存先として、[内蔵メモリー]または[SDメモリーカード]のいずれかを選択します。
	<p>ヒント</p> <ul style="list-style-type: none"> 変更前の保存先にあるドキュメントはすべて削除されます。変更する前に、本機のドキュメントをネットワークドライブに同期しておくことをおすすめします。
[設定の削除]	ネットワークドライブの設定を削除します。

ソリューションサーバーの設定

デジタルペーパーソリューションを利用する場合の設定になります。詳しくはデジタルペーパーソリューションの各ヘルプガイドをご覧ください。

アプリケーションの設定

設定項目	説明
[ドキュメントの設定]	<p>すべてのドキュメントの表示設定をします。</p> <p>[画面のリフレッシュ]：チェックボックスをオンにすると、ページをめくる際に、毎回、画面を一度白黒反転させて残像を消します。</p> <p>[注釈の編集制限]：他人のユーザー名で作成された注釈の編集や削除を制限する場合はオンにします。</p> <p>[ツールバーの表示位置]：ツールバーの表示位置を左側／右側で切り替えます。</p> <p>ヒント</p> <ul style="list-style-type: none"> ツールバーは初期設定では画面の左側に設定されています。左利きの方など、好みで右側に変更して使用することができます。
[ブラウザーの使用]	本機でブラウザーを使用するかどうかを設定します。
[ブラウザーの設定]	ブラウザーの各種設定をします。

設定項目	説明
[ブラウザーでのダウンロード保存先]	ブラウザーからダウンロードするドキュメントの保存先として、[内蔵メモリー]または[SDメモリーカード]のいずれかを選択します。
[ノートのテンプレート]	ノートの新規作成時は、ここで選択したテンプレートで作られます。テンプレートは、一つのみ選択可能です。
	<p>ヒント</p> <ul style="list-style-type: none"> お好みのPDFファイルをテンプレートとして追加することができます(49ページ)。 [毎回テンプレートを選択する(ノート作成時にダイアログを表示する)]に設定すると、ノートの新規作成時にテンプレートをリストから選択できます。
[ノートの保存先設定]	新規に作成するノートの保存先として、あらかじめネットワークドライブまたはソリューションサーバーのフォルダーを指定しておくことができます。
	<p>ヒント</p> <ul style="list-style-type: none"> ネットワークドライブまたはソリューションサーバーの利用を設定している場合のみ指定できます。

日付と時刻の設定

設定項目	説明
[日付]	日付を設定します。
[時刻]	時刻を設定します。
[24時間表示]	時計の表示を12時間表示または24時間表示に切り替えます。
[タイムゾーン]	タイムゾーンを設定します。

ヒント

- 本機をWi-Fiネットワークに接続すると、自動的に時刻を合わせます。

システム設定

設定項目	説明
[画面の外部出力]*	<p>オンに設定すると、本機をコンピューターにUSB接続したときに、本機の画面をコンピューターのディスプレイに表示させることができます。</p> <p>ご注意</p> <ul style="list-style-type: none">USB接続でコンピューターと本機のドキュメントを送受信する場合は、この機能をオフにしないと接続ができませんのでご注意ください。 <p>ヒント</p> <ul style="list-style-type: none">この機能を利用すると、USBから充電をしながらデジタルペーパーの操作ができるようになります。
[本機のロック]	1桁以上20桁以下の英数字をパスワードとして設定し、本機にロックをかけられます(13 ページ)。
[内蔵メモリーの暗号化]	本機の内蔵メモリーを暗号化します。暗号化をオンにすると、電源を入れるときにパスワードの入力が必要になります(14 ページ)。
[ペンの設定]	<p>[ペンの持ち方] : ペンの持ちかたを選択します。</p> <p>[ペン先の位置調整] : ペンで書いた線とペン先のずれを調整します(45 ページ)。</p> <p>[ペンのボタン機能] : ペンのボタンを押しながら文章をドラッグしたときの動作を、[オン(ハイライト)] / [オン(消しゴム)] / [オフ(手書き)] から設定してください。オフにするとボタンを押しても手書きのままになります。初期設定は [オン(消しゴム)] になっています。</p> <p>[消しゴムの表示] : 消しゴムの操作で、消える範囲を円で表示するかどうかを設定します(39ページ)。</p>
[ソフトウェアのアップデート]	<p>本機のソフトウェアアップデート情報を確認します。</p> <p>ヒント</p> <ul style="list-style-type: none">デジタルペーパーソリューションをご利用の場合は、ソフトウェア更新の有効/無効を設定できます。詳しくはデジタルペーパーソリューションの各ヘルプガイドをご覧ください。

* 画面の外部出力を利用するには、コンピューターに専用アプリケーションのインストールが必要です。詳しくはデジタルペーパーの製品ページでご案内していますのでご確認ください。
<http://www.sony.jp/digital-paper/>

リセット

設定項目	説明
[本機を初期化]	<p>すべての設定を工場出荷時の設定に戻します。</p> <p>ご注意</p> <ul style="list-style-type: none">あらかじめ、管理者により設定されたデータも削除されるため、ご購入時の状態と異なる場合がありますのでご注意ください。初期化完了後は自動的にシャットダウンします。
[ソリューション専用として本機を初期化]	<p>本機を貸し出し専用の設定に変更します。</p> <p>ご注意</p> <ul style="list-style-type: none">切り替えを行うと内蔵メモリーは初期化されます。切り替え完了後は自動的にシャットダウンします。
[キーボード入力履歴]	スクリーンキーボードの入力履歴と変換学習結果を削除します。
[メモリーの初期化]	<p>本機の内蔵メモリーまたはmicroSDメモリーカードを初期化します。</p> <p>ご注意</p> <ul style="list-style-type: none">本機やmicroSDメモリーカードをコンピューターで初期化すると、本機やmicroSDメモリーカードに転送したドキュメントが表示されないことがあります。その場合はこの機能で初期化してください。本機の内蔵メモリーまたはmicroSDメモリーカードを初期化すると、ドキュメントのダウンロードが停止します。本機の内蔵メモリーの初期化を行うと、ノートのテンプレートやプリロードされている取扱説明書を含む、内蔵メモリーのデータがすべて削除されますのでご注意ください。 <p>ヒント</p> <ul style="list-style-type: none">初期化する前に、残したいドキュメントはコンピューターにバックアップすることをおすすめします。

本体情報

設定項目	説明
[機器情報]	空き領域やソフトウェアのバージョン情報、機器番号、MACアドレス、ソリューションサーバーのアドレスを表示します。
[商標/著作権情報]	商標や著作権に関する情報を表示します。
[認証情報]	VCCI自主規制措置運用規程に基づくマーク、電波法／電波通信事業法に基づくマークおよび認証番号を表示します。
[使用許諾契約書]	ソフトウェア使用許諾契約書を表示します。ご使用の前に必ずお読みください。

シャットダウン

本機の電源を完全に切れます(シャットダウン)。

その他

困ったときは

困ったときは

本機が正しく動作しないときは、次の項目を試してください。

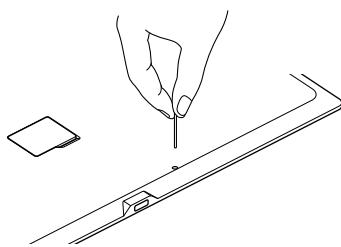
1 本機を充電する。

2 ⓧ(電源)ボタンを押して本機を再起動する。

3 本機をリセットする。

細いピンやクリップなどでRESET(リセット)ボタンを押します。

画面が静止した状態になります。



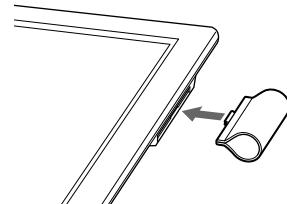
Ⓐ(電源)ボタンを押して本機を再起動すると、ホームメニューが表示されます。

ご注意

- ・ブックマークやハイライト、付箋メモ、設定情報はリセットすると削除されることがあります。
- ・シャープペンシルの芯など先の壊れやすいものでRESET(リセット)ボタンを押さないでください。ボタンに詰まることがあります。

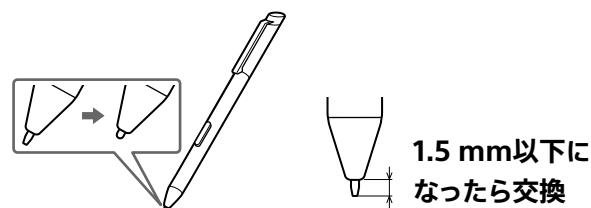
ペンホルダーを再装着する

ペンホルダーがはずれたら、再装着してください。図のようにまっすぐに取り付けてください。

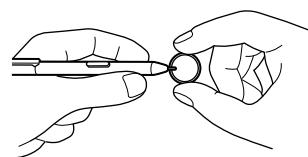


ペン先を交換する

ペン先は使っていく間にすり減ります。ペン先が1.5 mm以下になったときは交換をおすすめします。替え芯と芯抜きは本機に付属しています。

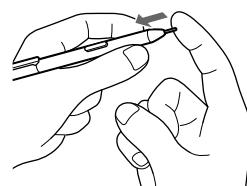


1 付属の芯抜きでペン先の根元をしっかりとはさみ、ペンからまっすぐ引き抜く。



2 替え芯の向きを確認して芯抜きではさみ、ペンにまっすぐ差し込む。

3 ペン先が固定されるまで指でしっかりと押し込む。



ご注意

- ・替え芯の交換時に、お子様が誤って飲み込まないようにしてください。ペンを口中に入れると、ペン先やボタンが抜けて落ちることがあります。
- ・過度な力を加えると、ペン先は早くすり減ります。

ヒント

- ・本機を保護し、快適な操作をするために、ペン先は定期的に交換してください。
- ・付属の替え芯を使い切ったときは、専用アクセサリー(別売)をご用意しています。

本機の症状

電源について

電源が入らない

- ・ドキュメントを転送するため本機をコンピューターに接続しているときは、本機を操作できません。コンピューターで接続を解除した後、本機からUSBケーブルを取りはずしてください。
- ・本機が結露しているときは、電源が入らないことがあります。数時間待ってから電源を入れてください。
- ・電池の残量が完全になくなっているときは、本機の電源を入れることができません。付属のACアダプターを本機に接続、または付属のUSBケーブルで本機をコンピューターに接続し、充電すると本機の電源が入ります。充電するためにACアダプターやUSBケーブルを接続しても電源が入らないときは、 (電源) ボタンを押してください。電源を入れたときに充電ランプが赤色で3回点滅した場合は、そのまましばらくお待ちください。電池の残量が完全になくなっているときは、充電を始めてから電源が入るまでに5分ほどかかることがあります。

自動的にスリープモードに入る／電源が切れる

- ・約1時間操作をしないと、省電力機能により自動的にスリープモードに入ります。さらに3日間*操作をしないと、電源が完全に切れます(シャットダウン)。省電力機能はオフにできません。

* 電池の残量がほとんどないときは、3日以内に電源が切れることができます。

充電について

充電できない

- ・充電には付属のUSBケーブル、およびACアダプターを使用してください(8ページ)。それ以外の使用については、性能および安全性を保証いたしません。

- ・本機とコンピューターは付属のUSBケーブルで直接接続してください。USBハブを使用してコンピューターと接続した場合は、動作を保証いたしません。
- ・充電が完全に完了しているか確認してください。電池アイコンが  から  100% に切り換わったら充電は完了です。(充電中は電池アイコンに残量は表示されません。)
- ・コンピューターに接続して充電するときは、コンピューターの電源が入っていることを確認してください。コンピューターの電源が切れていると充電されません。電源が入っていてもスリープモードやスタンバイモード、休止状態のときは充電されません。充電中はコンピューターがスリープモードなどにならないようにしてください。
- ・[画面の外部出力]をオンに設定し、本機をコンピューターにUSBケーブルで接続して充電するときには、コンピューターに専用ソフトウェアのドライバーがインストールされていることを確認してください(68ページ)。インストールが完了しないとコンピューターから充電ができません。
- ・コンピューターがスリープモードになったまま放置すると、本機の電池が消費して本機がシャットダウンし、充電を継続できません。本機からUSBケーブルを取りはずし、コンピューターのスリープモードを解除してから、本機を再度接続して充電してください。
- ・本機をノート型コンピューターに接続して充電するときは、ノート型コンピューターから充分な電源の供給が必要です。ノート型コンピューターを充電しながら本機を充電してください。
- ・推奨温度の範囲内(5°C ~ 35°C)で充電してください。推奨温度の範囲外のため充電できないときは、本機からUSBケーブルを取りはずし、推奨温度の範囲内に戻してから、再度USBケーブルを接続して充電してください。

電池の消費が早く感じる

- ・充電が完全に完了しているか確認してください。電池アイコンが  から  100% に切り換わったら充電は完了です。
- ・本機を操作している周辺の温度が5°C以下だと、電池の消費が早くなることがあります。故障ではありません。
- ・本機はスリープモードでも電池を消費します。使用しないときは電源を完全に切ることをおすすめします。
- ・ブラウザーを使用していないときは  (ホーム) ボタンを押してブラウザーを閉じてください。

- 電源を切った状態でも本機を長時間放置すると電池は消費します。使用する前に充電してください。
- ネットワークを使用していないときはWi-Fi機能をオフにするか(51ページ)、またはワイヤレススタンバイをオンにしてください(66ページ)。
- コンピューターから本機にドキュメントを転送中に、コンピューターがスリープモードやスタンバイモード、休止状態になると、コンピューターに接続していても本機は充電されず電池を消費します。コンピューターの電源が入っていることを確認し、充電を完了してからドキュメントを転送してください。

画面表示について

画面が表示されるまで時間がかかる

- 極端に寒い場所では表示に時間がかかることがあります。推奨温度の範囲内(5°C ~ 35°C)で通常表示に戻ります。

画面表示がされない

- 本機をリセットしてください(70ページ)。

文字が表示されない

- ユーザー定義の文字や特殊な記号は表示されないことがあります。

タッチパネルの反応が遅い

- 画面が汚れている可能性があります。めがね拭きなどの柔らかい布で画面を軽く拭いてください。

ピンチイン/ピンチアウトができない

- 2本の指以外が画面に触れていると動作しないことがあります。

ペン先と実際に書かれた位置がずれる

- 選択されているペンの持ち方設定が正しいかどうか確認してください。▲(ホーム)ボタンを押し、[設定] → [システム設定] → [ペンの設定] → [ペンの持ち方]の順にタップして確認します(46ページ)。
- ペン先の位置を細かく調整してください。▲(ホーム)ボタンを押し、[設定] → [システム設定] → [ペンの設定] → [ペン先の位置調整]の順にタップして調整します(45ページ)。

ネットワークの症状

Wi-Fiネットワークの接続について

Wi-Fiネットワークに接続できない

- 本機の電池の残量が少ないと、Wi-Fiネットワークに接続できことがあります。本機を充電した後、再度Wi-Fiネットワークに接続してください。
- Wi-Fi機能がオンになっていること、および無線LANルーターが通信圏内にあることを確認してください。
- [Wi-Fi設定]画面で[更新]をタップし、利用可能なネットワークに接続してください。
- セキュリティ方式(WEP、WPA/WPA2 PSK、802.1x EAP)やIPアドレスが本機に正しく設定されているか確認してください。
- 本機のセキュリティ方式が無線LANルーターで対応しているか確認してください。また、無線LANルーターの暗号キーを確認してください。
- 公衆無線LANに接続するときは、ユーザー名やパスワードが必要になります。正しいユーザー名やパスワードを入力してください。
- 無線LANルーターでMACアドレスのフィルタリングを使用するときは、本機で▲(ホーム)ボタンを押し、[設定] → [本体情報] → [機器情報]の順にタップしてMACアドレスを確認してください。その後、無線LANルーターに本機のMACアドレスを登録してください。
- 無線LANルーターのネットワーク設定が正しいか確認してください。無線LANルーターの設定については、無線LANルーターの取扱説明書をご覧になるか、ネットワーク管理者に確認してください。
- 本機と無線LANルーターとの距離が離れすぎている可能性があります。本機を無線LANルーターに近いところへ移動してください。
- 本機と無線LANルーターとの間に壁や金属、コンクリートなどの障害物があり、接続に悪影響を与える可能性があります。本機を別の場所に移動してください。
- 本機の周りにある2.4 GHz帯の無線機器(コードレス電話や電子レンジ、Bluetooth機器など)から電波の影響を受けている可能性があります。それらの機器の無線機能をオフにするか、本機を別の場所に移動してください。
- 接続先のネットワークに障害が発生している可能性があります。ネットワーク管理者に確認してください。

Wi-Fiネットワークの一覧に無線LANルーターが表示されない

- 無線LANルーターでSSID(ネットワーク識別名)を表示しない設定(ステルス設定)にしているときは、無線LANルーターのSSIDが本機に表示されません。[Wi-Fiネットワークの追加]をタップして手動で設定してください(55ページ)。

ネットワークドライブについて

送信先が見つからない

- ネットワークに接続していることを確認してください(72ページ)。
- [送信先フォルダ一覧用パス]の設定、またはネットワークドライブ側に問題があります。ネットワーク管理者にお問い合わせください。
- [返信]を選択した場合は、ファイル名を元に送信先が自動判別されます。ファイル名に含まれる送信先(59ページ)が送信先フォルダ一覧に存在しているか確認してください。

ブラウザについて

Webページが正しく表示されない

- ネットワークが切断されるなどして、正しく読み込めなかった可能性があります。Wi-Fi機能がオンになっていることを確認し、ステータスバーでネットワークの電波状況を確認してからWebページを表示し直してください。
- 本機でサポートしていない機能を使用しているWebページの可能性があります。
- Webページの表示を拡大／縮小すると、画面が一時的に明るくなり、表示が見えづらくなることがあります、故障ではありません。

ドキュメントについて

ドキュメントを表示できない

- ドキュメントのファイル形式が本機で表示できる形式かどうか確認してください(80ページ)。

[ドキュメントに戻る]が効かない／ブックマークが記憶されない

- 前回ドキュメントを閉じた後にドキュメントが変更・上書きされた可能性があります。

ドキュメントが見つからない

- 本機をコンピューターで初期化すると、転送したドキュメントが表示されないことがあります。本機の[メモリーの初期化]で初期化してください(69ページ)。
- コンピューターに接続しているときに、コンピューターで「DPT-S1」ドライブ内の「database」、「.dps_device_system」、「note_template」のフォルダーは削除しないでください。また、microSDメモリーカードをご利用の場合は、microSDメモリーカード内にある「PRIVATE/SONY/Digital_Paper」フォルダーを削除しないでください。上記のフォルダーを編集すると、ドキュメントやノートが削除されることがあります。
- ソリューションサーバーをご利用の場合は、「DPT-S1」の内蔵メモリー内に、サーバーのドメイン名のフォルダーが作成されます。そのフォルダーの削除はしないでください。

また、そのフォルダーの下に作成されている[.activity]のフォルダーおよび、[.activity]フォルダーにあるファイルを削除すると、ソリューションサーバーとの同期に影響が出ますのでご注意ください。

注釈が付けられない

- ドキュメントが保護されているか(36ページ)、読み取り専用で開いているときは、注釈を付けたり、編集／保存／削除したりすることはできません。
- 以下の場合、ドキュメントは読み取り専用で開きます。
 - ファイルが「読み取り専用」になっている。
 - PDFファイルのセキュリティ設定で、[注釈]が[許可しない]に設定されているファイルは、デジタルペーパーでは、タブのファイル名表示の前に(保護)が表示され、手書きの注釈を書くことができません。
 - 内蔵メモリーまたはmicroSDメモリーカードの空き容量が少ない。
 - 電池の残量が少ない。

注釈の編集や削除ができない

- [注釈の編集制限]がオンになっている場合は他人の注釈の編集や削除ができません。詳しくは44ページをご覧ください。

付箋メモをペンで開くことができない

- 付箋メモを開くときは、指で付箋メモをタップする、またはツールバーで付箋メモモードにしてから指またはペンでタップしてください。

コンピューターとの接続に関する症状

コンピューターが本機を認識しない

- 本機を認識するのに時間がかかることがあります。
- ステータスバーをタップし、通知パネルの[USB接続中]をタップしてください。
- 本機とコンピューターは付属のUSBケーブルで直接接続してください。USBハブを使用してコンピューターと接続した場合は、動作を保証いたしません。
- 接続しているUSB端子に不具合がある可能性があります。コンピューターの別のUSB端子に接続してみてください。
- 本機をコンピューターからいったん取りはずし、再度接続してください。
- 上記の項目を試しても解決しない場合は、本機をリセットしてください(70ページ)。

コンピューターから本機にドキュメントを転送できない

- 本機の内蔵メモリーやmicroSDメモリーカードの空き領域が不足している可能性があります。[本体情報]で空き領域を確認してください(69ページ)。空き領域が不足しているときは、不要なデータを削除してください。
- ホームメニューの[設定]→[システム設定]→[画面の外部出力]がオンに設定されている場合は、ファイルの転送はできません。ファイルを転送する際には、必ずオフに設定を変更してからUSB接続をしてご利用ください(68ページ)。

本機で直前に書いた注釈が、コンピューターに転送すると表示されない

- 注釈を書いたドキュメントを本機上で開いている場合は、タブの (閉じる)をタップするか、ホームメニューに戻ってから再度転送してください。ドキュメントが保存されるタイミングにより、直前に書いた注釈が反映されないことがあります。

microSDメモリーカードについて

microSDメモリーカードが認識されない／microSDメモリーカード内のドキュメントが開けない

- コンピューターで初期化したmicroSDメモリーカードは本機で認識できないことがあります。本機で初期化してください(69ページ)。
- microSDメモリーカードのデータを読み込むのに時間がかかることがあります。
- 本機で使用可能なmicroSDメモリーカードかどうか確認してください(77ページ)。
- microSDメモリーカードが正しい向きでセットされているか確認してください(13ページ)。
- microSDメモリーカードの端子が汚れているときは柔らかい布でやさしく拭いてください。

microSDメモリーカードにドキュメントを移動できない

- 本機の内蔵メモリーやmicroSDメモリーカードの間でドキュメントを直接移動することはできません。本機をコンピューターに接続して、コンピューターで移動してください。

ご使用上の注意

充電について

- 充電時間は電池の使用状態により異なります。
- 電池を充分に充電しても使える時間が通常の半分くらいになったときは、電池が劣化していると思われます。ソニーの相談窓口へお問い合わせください。
- 充電中は本体が温かくなることがあります、故障ではありません。
- 充電中の本機やACアダプターに長時間ふれないでください。長時間皮膚がふれたままになっていると、低温やけどの原因となります。また、衣類の上からでも長時間ふれたままになっていると、低温やけどの可能性があります。

本機の取り扱いについて

- 本機を分解しないでください。感電の原因になります。充電式電池の交換、内部の点検および修理はソニーの相談窓口にご依頼ください。
- 本機の内部を改造して使用することは法律で禁じられています。
- 本機を落としたり、重いものを乗せたり、強いショックを与える、圧力をかけないでください。本機の故障の原因となります。
- クリップなどの金属物を、RESET(リセット)ボタン以外の端子部分に入れないでください。
- 以下のような場所に置かないでください。
 - 直射日光があたる場所や暖房器具の近くなど温度が非常に高いところ
変色したり、変形したり、故障したりすることがあります。
 - ダッシュボードや、炎天下で窓を閉め切った自動車内(とくに夏季)
 - ホコリの多いところ
 - ぐらついた台の上や傾いたところ
 - 振動の多いところ
 - 風呂場など、湿気の多いところ
 - 磁石、スピーカーボックス、テレビなど、磁気を帯びたものの近く
- 本機やACアダプターを布や布団などでおおった状態で使用しないでください。熱がこもってケースが変形したり、火災の原因となることがあります。

- 本機を不安定な場所に置かないでください。
- ラジオやテレビの音に雑音が入るときは、本機の電源を切って、本機をラジオやテレビから離してください。
- 本機に水がかからないようご注意ください。本機は防水仕様ではありません。特に以下の場合ご注意ください。
 - 雨や雪、湿度の多い場所での使用
 - 汗をかく状況での使用
濡れた手でさわると水濡れの原因となる場合があります。
- 本機をカバンやバッグの中に入れるときは、鍵などの突起物や硬い物の角が直接本体に当たらないようにご注意ください。持ち運ぶときは同梱のスリーブケースをご利用ください。
- 画面表示部に強い力を加えると、電子ペーパー内部の表示素子が壊れ、表示不良となるおそれがあります。

ご使用について

- 本機は国内専用です。海外では国によって電波使用制限があるため、本機を使用した場合、罰せられることがあります。
- 本機を心臓ペースメーカーの装着部位から22cm以上離してご使用ください。電波によりペースメーカーの動作に影響を与えるおそれがあります。
- 本機を医療機器の近くで使わないでください。
- 満員電車などの混雑した場所や医療機関の屋内では使わないでください。
- 飛行機内で使用する際は、離着陸時など、機内のアナウンスに従ってご使用をお控えください。
- ワイヤレス機能の航空機内でのご利用についてはご利用の航空会社に使用条件などをご確認ください。
- 本機を寒い場所から急に暖かいところに持ち込んだときや、冬の朝など暖房を入れたばかりの部屋などで、本機の表面や内部に結露が生じことがあります。結露とは、空気中の水分が金属の板などに付着し、水滴となる現象です。結露が生じたときは、結露がなくなるまで電源を入れずに放置してください。そのままご使用になると故障の原因になります。
- 付属のUSBケーブル、ACアダプター以外の使用については、性能および安全性を保証いたしません。

- 本機は、VCCI自主規制措置運用規程に基づくマーク、および電波法／電波通信事業法に基づくマークおよび認証番号を画面に電子的に表示しています。これらのマークおよび認証番号は、下記の手順で表示することができます。
- ホームメニューにある[設定]をタップ ➔ [本体情報] ➔ [認証情報]
- 本機の故障などにより表示できない場合はソニーの相談窓口までお問い合わせください。

本機での使用許諾契約書の表示について

- ソフトウェアの使用許諾契約書は本機の[設定]画面より表示することができます。
- ホームメニューにある[設定]をタップ ➔ [本体情報] ➔ [使用許諾契約書]の順にタップして表示してください。

ディスプレイについて

- 薄型軽量化実現のためディスプレイの材料には、プラスチックフィルムを使用しています。このため、光を当てると歪みのようなものが見える場合がありますが、故障ではありません。
- ディスプレイを強く押さないでください。画面にムラが出たり、故障の原因になります。
- 寒い場所でご使用になると、画像が尾を引いて見えることがあります。異常ではありません。

Wi-Fi機能について



- 本機内蔵の無線LAN機能はWFA(Wi-Fi Alliance)で規定された「Wi-Fi(ワイファイ)仕様」に適合していることが確認されています。

無線の周波数について

- 本機は2.4 GHz帯を使用しています。他の無線機器も同じ周波数を使っていることがあります。他の無線機器との電波干渉を防止するため、下記事項に注意してご使用ください。

本機の使用上の注意事項

- 本機の使用周波数は2.4 GHz帯です。この周波数帯では電子レンジ等の産業・科学・医療用機器のほか、他の同種無線局、工場の製造ライン等で使用される免許を要する移動体識別用構内無線局、免許を要しない特定の小電力無線局、アマチュア無線局等(以下「他の無線局」と略す)が運用されています。
- 1. 本機を使用する前に、近くで「他の無線局」が運用されていないことを確認してください。
- 2. 万一、本機と「他の無線局」との間に電波干渉が発生した場合には、速やかに本機の使用場所を変えるか、または機器の運用を停止(電波の発射を停止)してください。
- 3. 不明な点その他お困りのことが起きたときは、ソニーの相談窓口までお問い合わせください。

2.4DS/OF4

この無線製品は2.4 GHz帯を使用しています。

変調方式としてDS-SS変調方式およびOFDM変調方式を採用し、与干渉距離は40 mです。

タッチパネルについて

- 画面や画面の枠を強く押したり、こすったりせず、軽くふれるように操作してください。
- 画面上に手を置いた状態で、ペンでの操作を行うことができます。そのため、画面にペンが近づくと、指でのタッチパネル操作が無効になります。

専用のスタイラスペンについて

- 必ず付属のスタイラスペンをお使いください。スタイラスペンはペンホルダーに入れて保管してください。
- ・ペンで人を突かないでください。
- ・強い衝撃や振動を与えないでください。
- ・ペン先やペンのボタンに強い圧力をかけないでください。
- ・ペンを曲げたり、ペン先を押しつけたままにすると、誤動作および故障の原因になりますので、おやめください。
- ・磁石など、磁気を帯びたものの近くには置かないでください。
- ・本機のタッチパネル操作以外の用途に使用しないでください。

- ・破損したペンは使用しないでください。

本機を廃棄するときのご注意



機器に内蔵されている充電式電池はリサイクルできます。この充電式電池の取りはずしはお客様自身では行わず、ソニーの相談窓口にご相談ください。(ソニーの相談窓口の連絡先は最終ページに記載されています。)

お手入れについて

- ・汚れたときは、柔らかい布(市販のめがね拭きなど)で軽く拭いてください。
-拭き取る際にめがね拭きなどの布に埃が付いていると本体に傷が付く場合がありますのでご注意ください。
- ・汚れがひどいときは、薄い中性洗剤溶液をしめらせた布で拭いてください。内部に水が入らないようにご注意ください。
- ・シンナー、ベンジン、アルコールなどは表面の仕上げを傷めますので使わないでください。
- ・汚れたペンで本機の画面を操作すると、画面に傷が付くことがあります。ペンは柔らかい布(市販のめがね拭きなど)で軽く拭いてください。

microSDメモリーカードについて

- ・本機で使用できるSDメモリーカードはmicroSDメモリーカード(著作権保護機能(CPRM)には非対応)となります。また、本機では32 GBまでのmicroSDメモリーカードでのみ動作確認を行っています。ただし、すべてのmicroSDメモリーカードでの動作を保証するものではありません。

microSDメモリーカードについてのご注意

microSDメモリーカードをお使いになるときは、以下の点にご注意ください。

- ・microSDメモリーカードを挿入するときは、正しい挿入方向でスロットに入れてください(13ページ)。

- ・下記の場合、記録したデータが消えたり壊れたりすることがあります。

-データの読み込み中や書き込み中(microSDメモリーカードアクセスランプ点灯中)にmicroSDメモリーカードを取り出したり、本機の電源を切った場合
-静電気や電気的ノイズの影響を受ける場所で使用した場合

-コンピューターに接続しているときに、コンピューター上でmicroSDメモリーカードにある「PRIVATE/SONY/Digital_Paper」フォルダーを削除した場合

- ・microSDメモリーカードスロットの中に異物を入れないようにしてください。
- ・microSDメモリーカードが取り出せないときは、もう一度奥まで押し込んでいったん離し、取り出してください。
- ・microSDメモリーカードを持ち歩く場合には、必ず専用ケースに入れるなどして、静電気の影響を受けることのないようご注意ください。
- ・microSDメモリーカードのフォーマット(初期化)は必ず本機で行ってください(69ページ)。コンピューターで初期化すると、本機で使用できなくなる場合があります。すでにデータが書き込まれているmicroSDメモリーカードを本機で初期化すると、そのデータは消去されるので、誤って大切なデータを消去することができないように、ご注意ください。
- ・microSDXCカードはサポートしていません。
- ・ファイルシステムはFATに対応しています。exFATはサポートしていません。
- ・小さいお子様の手の届くところに置かないようにしてください。誤って飲み込むことがあります。
- ・端子部には手や金属でふれないでください。
- ・強い衝撃を与えたり、曲げたり、落としたりしないでください。
- ・分解したり、改造したりしないでください。
- ・水にぬらさないでください。
- ・次のような場所でのご使用や保存は避けてください。
-高温になった車の中や炎天下など気温の高い場所
-直射日光のあたる場所
-湿気の多い場所や腐食性のある場所

同梱のACアダプター使用上の注意

置いてはいけない場所

使用中、保管中にかかわらず、次のような場所に置かないでください。故障の原因になります。

- 異常に高温になる場所

炎天下や夏場の窓を閉めきった自動車内は特に高温になり、放置すると変形したり故障したりすることがあります。

- 直射日光のあたる場所、熱器具の近く
変形したり故障したりすることがあります。

- 激しい振動のある場所

- ACアダプターを本棚や組み込み式キャビネットなどの狭い場所に設置しないでください。

使用について

- ACアダプターを使用する前には、必ず接続する機器の定格電圧、定格電流を確認のうえ、ご使用ください。

- ACアダプターの使用状態によって定格電流より過大な電流が流れた場合は、安全のためにACアダプターの出力電圧が一時的に途切れ、使用されている機器の電源が切れる場合があります。

- 火災や感電の危険を避けるために、ACアダプターを水のかかる場所や湿気のある場所で使用しないでください。

- ACアダプターは容易に手が届くような電源コンセントに接続し、異常が生じた場合は速やかにコンセントから抜いてください。

- 強い衝撃を与えることなく、落としたりしないでください。

- 使用後は必ずACアダプターをコンセントから抜いてください。

- コンセントから抜くときはACアダプターを持って抜いてください。

- ACアダプターの接点部に他の金属類が触れないようにしてください。ショートすることがあります。

商標について

本機に収録されているデータの一部または全部および本書に記載されている著作物(イラストや関連ドキュメント等)の一部または全部を無断で複写することは、著作権法で禁止されています。

また、個人としてご利用になるほかは、当社に無断では使用できませんのでご注意ください。

- "Sony"はソニー株式会社の登録商標です。
- 日本語変換は、オムロンソフトウェア(株)のiWnnを使用しています。
iWnn © OMRON SOFTWARE Co., Ltd. 2008-2013
All Rights Reserved.
- 本製品は、フォントワークス株式会社のフォントを使用しています。
- 本製品は、株式会社リコーのフォントを使用しています。
- MS明朝、MSゴシックはMicrosoft社のフォント名です。
- Microsoft およびWindows、Windows Vista、
Windows Mediaは、米国Microsoft Corporation の
米国およびその他の国における登録商標、または商標
です。
- "Macintosh"、"Mac"、"Mac OS"、"Lion"、
"Mountain Lion"は、米国Apple Computer社の米国
およびその他の国における登録商標または商標です。
- This product includes software developed by
the OpenSSL Project for use in the OpenSSL
Toolkit.
OpenSSL Licenseについて詳しくは、本機に収録されて
いる「使用許諾契約書」をご覧ください。
- Wi-Fi, the Wi-Fi CERTIFIED logo, WPA, WPA2
and Wi-Fi Protected Setup are trademarks or
registered trademarks of Wi-Fi Alliance.
- Googleは Google Inc.の商標です。
- Foxit PDF SDK Copyright © 2013, Foxit
Corporation www.foxitsoftware.com, All rights
reserved
- Portions of this software are Copyright ©2005
The FreeType Project (www.freetype.org). All
rights reserved.
- This software is based in part on the work of
the Independent JPEG Group.

その他、本書で登場するシステム名、製品名は、一般に各開発メーカーの登録商標あるいは商標です。なお、本文中では™、®マークは明記していません。

Program © 2015 Sony Corporation
Documentation © 2015 Sony Corporation

主な仕様

主な仕様

本機の主な仕様は以下の通りです。ただし、デジタルペーパーソリューションと組み合わせて利用する場合は、一部仕様が異なる場合があります。

モデル

DPT-S1

基本情報

ディスプレイ	13.3型フレキシブル電子ペーパー 解像度 1200×1600ドット 16階調グレースケール
タッチパネル	電磁誘導方式ペン入力対応タッチパネル クリアタッチパネル(光学式)
内蔵メモリー容量／使用可能領域	約4 GB／約2.8 GB
内蔵メモリーに保存可能なPDFの枚数	約2,800ファイル ¹
インターフェース	microSDメモリーカードスロット ² 、 マイクロUSB端子

電源関係

充電池	内蔵型リチウムイオン充電池	
USB充電時間	約3.5時間(コンピューターとの接続時)	
ACアダプター充電時間	約2.5時間(付属のACアダプター使用時)	
充電池持続時間	動作時間	Wi-Fi機能オフ時:最長3週間 ³ Wi-Fi機能オン時:最長2週間 ⁴
	ページめくり数	約24,000ページ ⁵
動作および充電推奨温度	5°C～35°C	

無線LAN⁶

通信方式	IEEE 802.11b/g/n
使用周波数帯	2.4 GHz帯
暗号化	WEP、WPA/WPA2 PSK、802.1x EAP
接続方式	WPS (Wi-Fi Protected Setup) / 手動
Wi-Fi認証	対応

外形寸法／質量

外形寸法 (幅×高さ×奥行)	約233×310×6.8 mm
質量(充電池含む)	約358 g
USBケーブル	約1.5 m
主な付属品	スタイラスペン、ACアダプター、USBケーブル、スリーブケース、替え芯、芯抜き、ご使用になる前に、基本操作ガイド ⁷ 、取扱説明書 ⁷ 、本機の使い方 ⁸ 、保証書

本製品の仕様および外観は、改良のため予告なく変更することがあります。ご了承ください。

¹ 約1 MBのPDFファイルを1ファイルとし、PDFファイルのみを内蔵メモリーに保存した場合。

² microSDメモリーカード(2 GB以下)、microSDHCメモリーカード(32 GB以下)を使用できますが、著作権保護機能(CPRM)には非対応です。
microSDXCカードはサポートしていません。ファイルシステムはFATに対応しています。exFATはサポートしていません。

³ 以下の条件で使用した場合。

• テキストベースのPDFドキュメントを約2分／1ページで1日60分閲覧し、電池の残量が  ~  の間1ページあたり10秒間、ペンによる手書き入力
実際の充電池持続時間は使用環境や機器の設定状態によります。

⁴ 以下の条件で使用した場合。

• テキストベースのPDFドキュメントを約2分／1ページで1日60分閲覧し、1ページあたり10秒間、ペンによる手書き入力
• ワイヤレススタンバイをオン
• 自動同期設定をオフ
• 1日に2度ネットワークドライブとドキュメントを同期

- 1週間に1度ネットワークドライブへドキュメントを送信

実際の充電池持続時間は使用環境や機器の設定状態によります。電波の弱い場所では、充電池持続時間が短くなる場合があります。

実際の使用時間は、お客様の通信のご利用環境や商品の設定によります。

⁵ 以下の条件で使用した場合。

- 約1.2秒／1ページの速度で継続してページをめくる
- Wi-Fi機能オフ

実際の充電池持続時間は使用環境や機器の状態によります。

⁶ 通信速度は、通信機器間の距離や障害物、電波状況、回線の混雑状況などにより変化します。DPT-S1は国内専用です。

Webページの閲覧や利用に制限が生じることがあります。また、Flashコンテンツの表示、動画の再生には対応していません。

サポートファイルフォーマットのコンテンツのダウンロードが可能です。

Webページによってはダウンロードできないことがあります。

⁷ 本機に収録されています。

⁸ ソリューション専用の端末のみ表示が可能です。

サポートしているファイル形式

本機では、以下のファイル形式のデータを表示できます。ただし、ファイルサイズやデータの形式によっては、表示ができない場合もあります。()内はファイル形式の拡張子です。

ドキュメント

- PDF (.pdf)*

* PDF 1.7の仕様に準拠しています。

ご注意

- 重要なPDFファイルにはパスワードを設定してください。

動作環境

OS*	バージョン
Microsoft Windows 8.1 (32/64 bit)	Windows 8.1 Update
	Windows 8.1 Pro Update
	Windows 8.1 Enterprise Update
Microsoft Windows 8 (32/64 bit)	Windows 8
	Windows 8 Pro
	Windows 8 Enterprise
Microsoft Windows 7 (32/64 bit)	Windows 7 Starter (SP1 以降)
	Windows 7 Home Premium (SP1 以降)
	Windows 7 Professional (SP1 以降)
	Windows 7 Enterprise (SP1 以降)
	Windows 7 Ultimate SP1
Microsoft Windows Vista (32/64 bit)	Windows Vista Home Basic (SP2 以降)
	Windows Vista Home Premium (SP2 以降)
	Windows Vista Business (SP2 以降)
	Windows Vista Enterprise (SP2 以降)
	Windows Vista Ultimate (SP2 以降)
Mac OS X	OS X v10.10 Yosemite (64 bitのみ)
	OS X v10.9.1 Mavericks (64 bitのみ)
	OS X v10.8.5 Mountain Lion
	OS X v10.7.5 Lion (64 bitのみ)

* 日本語版標準インストールのみ。

以下のシステム環境での動作保証はいたしません。

- 自作コンピューター
- 標準インストールされているOSから他のOSへのアップグレード環境
- マルチブート環境

保証書とアフターサービス

保証書

- この製品には保証書が添付されていますので、所定事項の記入および記載内容をお確かめのうえ、大切に保管してください。
- 保証期間については、保証書をご確認ください。

アフターサービス

調子が悪いときはまずチェックを

本書の「困ったときは」をご覧になってお調べください。

それでも具合の悪いときは

ソニーの相談窓口にご相談ください。お問い合わせの際は、次のことをお知らせください。

- 型名(本体裏面に記載)
- 製造(シリアル)番号(microSDメモリーカードのスロットカバーの内部に記載)
- お買い上げ年月日

保証期間中の修理は

保証書の記載内容に基づいて修理させていただきます。ただし、本機には消耗部品が含まれております。保証期間中でも長時間使用による消耗部品の交換は、有料になる場合があります。詳しくは保証書をご覧ください。

記録内容の補償はできません

お客様の記録したデータの破損(消滅)については、弊社は一切の責任を負いかねますのでご容赦ください。

バックアップのおすすめ

万一の誤消去やデジタルペーパーの故障による、データの消滅や破損に備え、大切な記録内容は必ずコンピューターなどにバックアップしてください。

よくあるお問い合わせ、窓口業務などはホームページをご利用ください。

<http://www.sony.jp/professional/support/>

業務用商品相談窓口

フリーダイヤル **0120-788-333**

携帯電話・PHS一部のIP電話など

フリーダイヤルがご利用になれない場合 **050-3754-9550**

FAX **0120-884-707**

受付時間 9:00～18:00(土・日・祝日、および休業日は除く)